

次世代育成支援に関するニーズ調査

調査結果報告書

西条市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 報告書の見方.....	2
II 調査結果 <就学前児童>	3
1. 子どもと家族の状況について.....	3
2. 保護者の就労状況について.....	8
3. 保育サービスの利用について.....	16
4. 病児・病後児保育について.....	30
5. 一時預かりについて.....	32
6. 宿泊を伴う一時預かりについて.....	34
7. 小学校入学以降の放課後の過ごし方について.....	36
8. ベビーシッターの利用について.....	37
9. ファミリー・サポート・センターの利用について.....	38
10. 地域子育て支援拠点事業の利用について.....	40
11. 子育て支援サービスの認知度・利用意向について.....	43
12. 育児休業制度の利用について.....	46
13. 子育て全般について.....	49
III 調査結果 <就学児童>	55
1. 子どもと家族の状況について.....	55
2. 保護者の就労状況について.....	60
3. 放課後児童クラブの利用状況について.....	67
4. 病児・病後児保育について.....	74
5. 一時預かりについて.....	76
6. 宿泊を伴う一時預かりについて.....	78
7. ベビーシッターの利用について.....	80
8. ファミリー・サポート・センターの利用について.....	81
9. 子育て全般について.....	83

I 調查概要

I 調査概要

1. 調査目的

平成16年度の「次世代育成支援行動計画」の策定以降、少子高齢化は進行し続けており、本格的な人口減少社会が到来するとの見通しが示されている。

このような現状を踏まえ、西条市では、次世代育成支援対策推進法に基づく、「次世代育成支援対策行動計画（後期計画）」を平成21年度中に策定する予定としているが、計画策定の参考に資するため、小学生までの児童を持つ保護者を対象に、子育て支援に対するニーズや意見を把握することを目的として調査を行った。

2. 調査設計

(1) 調査地域

西条市

(2) 調査対象

① 就学前児童

市内に在住の0～5歳の就学前の子どものいる家庭

② 就学児童

市内に在住の6～11歳の就学している子どものいる家庭

(3) 標本数

① 就学前児童 1,874人

② 就学児童 2,123人

(4) 有効回収数

① 就学前児童 984人（回収率 52.5%）

② 就学児童 1,075人（回収率 50.6%）

※ 有効回収数とは、回収数の内、無記入や拒否等の無効票数を除いた数

(5) 調査方法

郵送配布－郵送回収

(6) 調査期間

平成21年1月30日～2月13日

3. 報告書の見方

- (1) 回答率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、比率の数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (3) グラフ中の「N (Number of caseの略)」は基数で、その質問に回答すべき人数を表す。

Ⅱ 調查結果

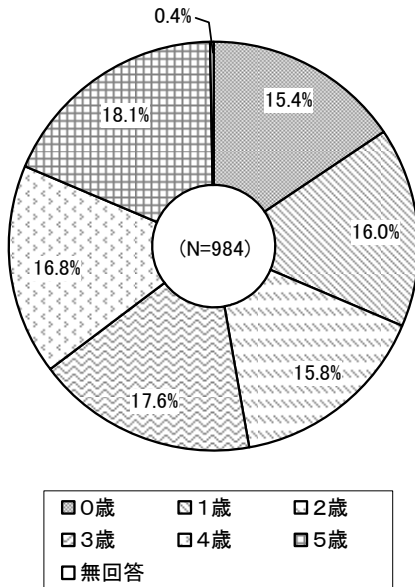
<就学前児童>

子どもと家族の状況について

問1 子ども（調査対象児童）の年齢（平成20年4月1日現在）

【問1 調査対象児童の年齢】

（平成20年4月1日現在）



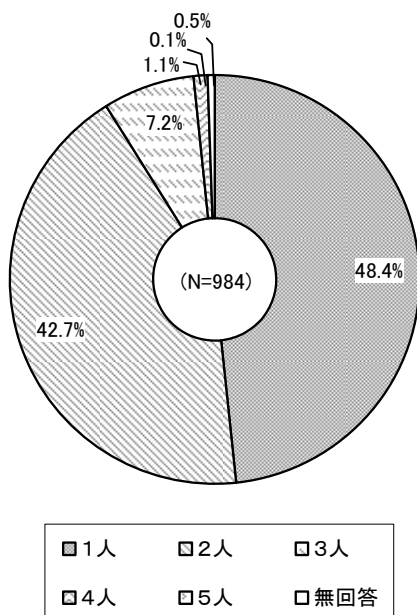
項目	回答数(人)	構成比(%)
0歳	152	15.4
1歳	157	16.0
2歳	155	15.8
3歳	173	17.6
4歳	165	16.8
5歳	178	18.1
無回答	4	0.4
計	984	100.0

問2 子どもの人数および一番小さい子の年齢（平成20年4月1日現在）

子どもの人数について、「1人」が48.4%と半数近くを占め最も多く、次いで「2人」(42.7%)となっており、子どもの平均人数は1.61人となっている。

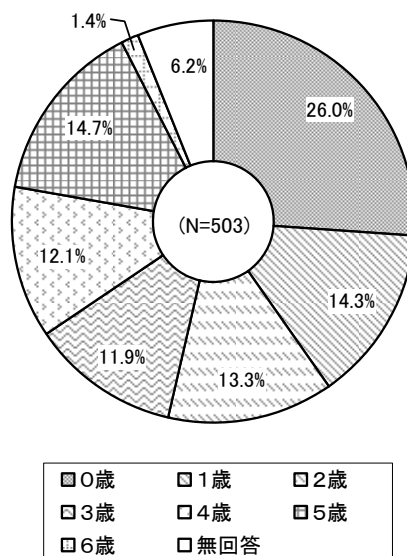
また、子どもが2人以上いる場合の一番小さい子の年齢（平成20年4月1日現在）について、「0歳」が26.0%と最も多く、一番小さい子の平均年齢は2.21歳となっている。

【問2 子どもの人数】



【問2 一番小さい子の年齢】

（平成20年4月1日現在）

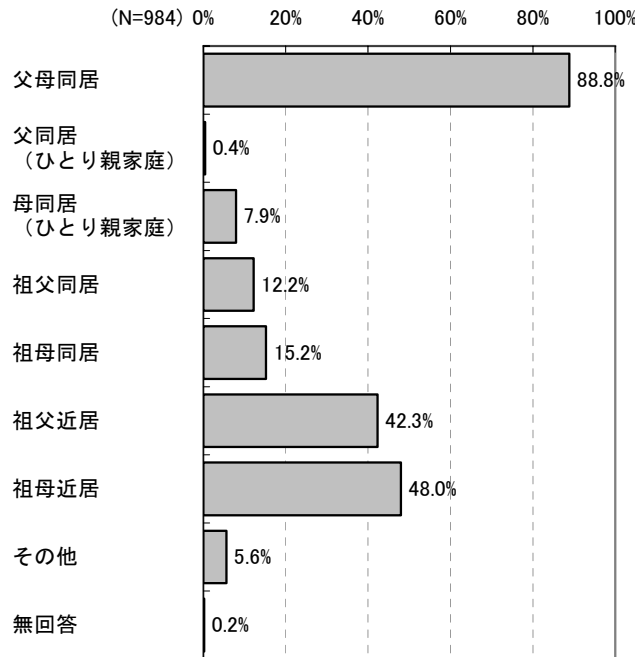


問3 同居・近居の状況

(あてはまるものすべてに○)

同居している家族については、「父母同居」が88.8%と最も多く、次いで「祖母近居」(48.0%)、「祖父近居」(42.3%)の順となっており、「祖父同居」および「祖母同居」等の回答は2割以下となっており、核家族化していることが分かる結果となっている。

【問3 同居・近居の状況】



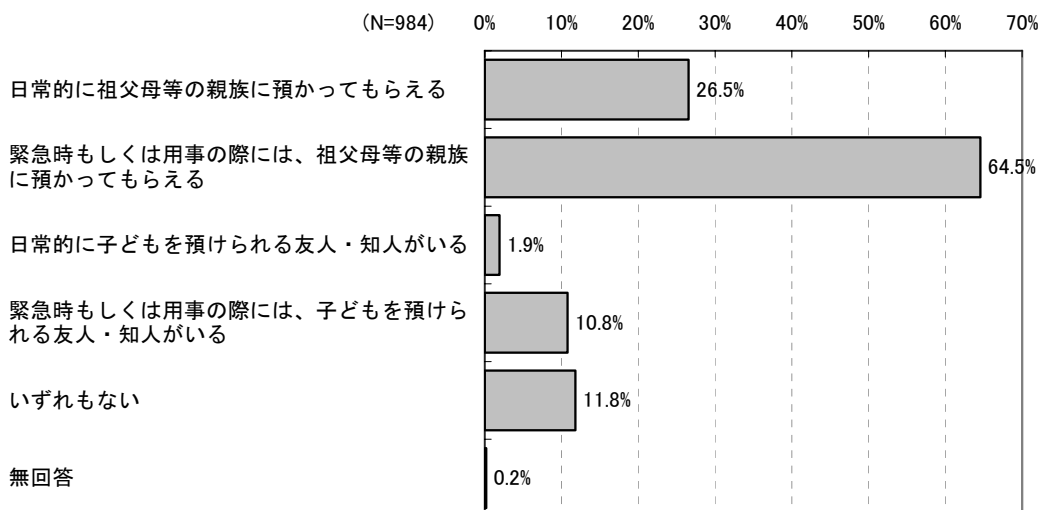
問4 日ごろ、お子さんを預かってもらえる人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

子どもを預かってもらえる人については、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」が64.5%と6割を超え最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(26.5%)となっており、祖父母等の親族に預かってもらう人が多いことが分かる。

一方で、「いずれもない」と回答した人が11.8%と1割以上を占める結果となっている。

【問4 日ごろ、子どもを預かってもらえる人の有無】

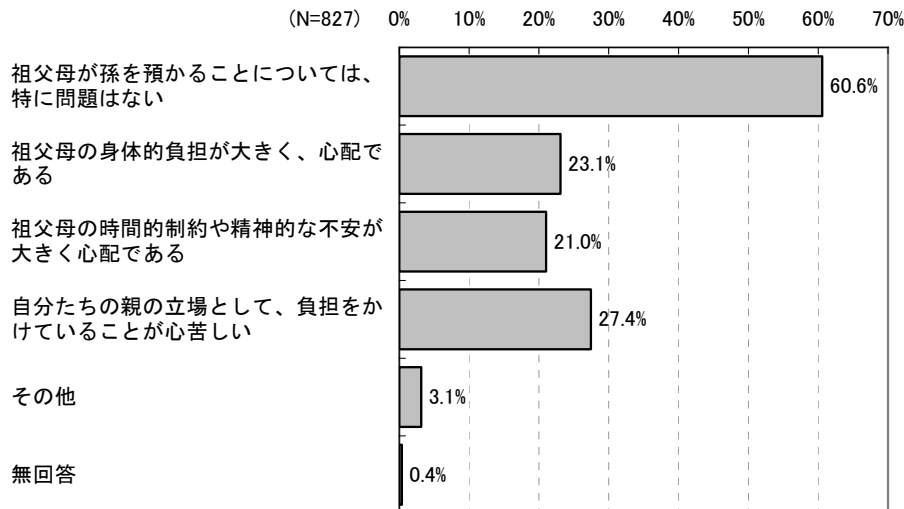


問4-1 【問4で『親族に預かってもらえる』と回答した人のみ】

祖父母等の親族に預かってもらっている状況について、あてはまることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもを祖父母等の親族に預かってもらえると回答した人の預かってもらっている状況については、「特に問題はない」が60.6%と最も多くなっているものの、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が27.4%と3割近くを占め多くなっている。

【問4-1 祖父母等の親族に預かってもらっている状況について】

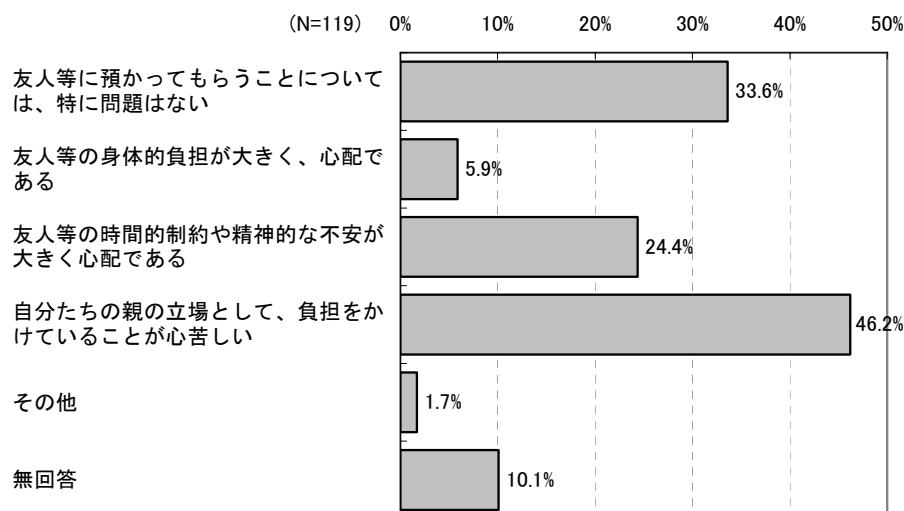


問4-2 【問4で『預けられる友人・知人がいる』と回答した人のみ】

友人や知人に預かってもらっている状況について、あてはまることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもを預けられる友人や知人がいると回答した人の預かってもらっている状況については、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が46.2%と4割以上を占め最も多くなっている。次いで「特に問題はない」が33.6%と3割を超え多くなっているものの、「時間的制約や精神的な不安が大きく心配である」との回答も24.4%を占め多くなっている。

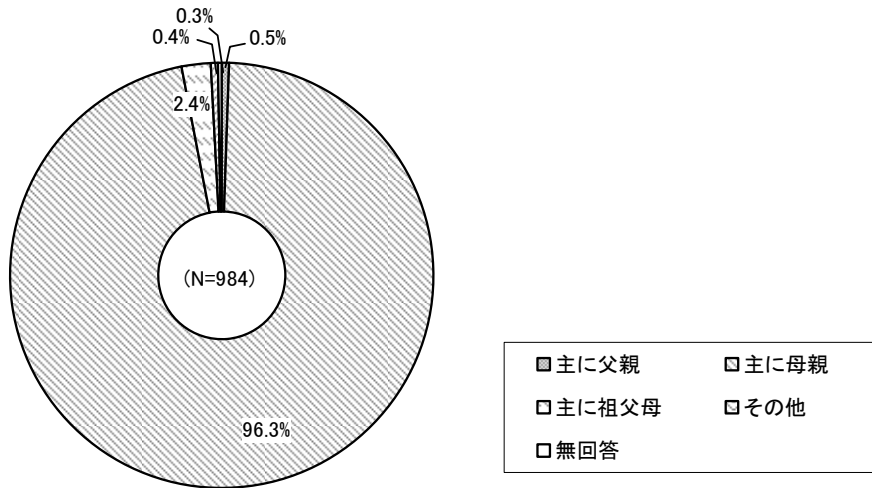
【問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について】



問5 お子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。 (○は1つだけ)

子どもの身の回りの世話を主にしている人については、「主に母親」が 96.3%と大半を占めている。

【問5 子どもの身の回りの世話を主にしている人】

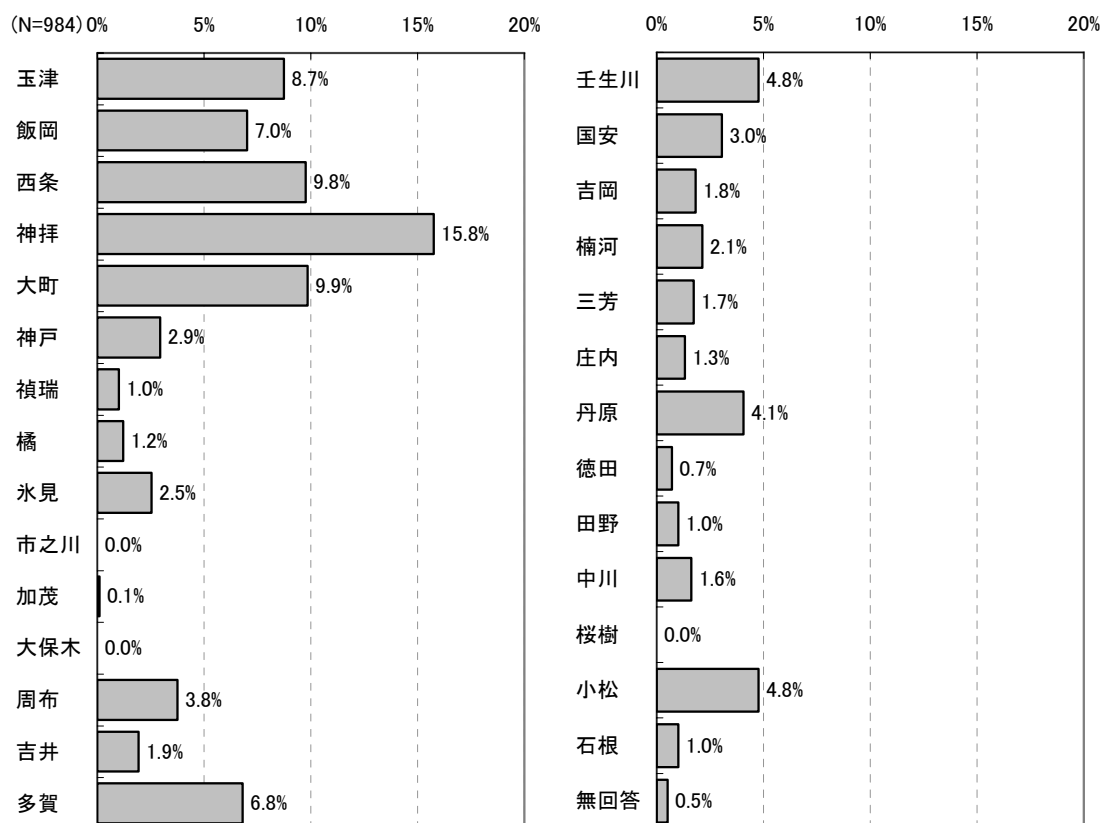


問6 お住まいの地区はどちらですか。

(○は1つだけ)

住まいの地区については、「神拝」が15.8%と最も多く、次いで「大町」(9.9%)、「西条」(9.8%)、「玉津」(8.7%)となっている。

【問5 住まいの地区】



項目	回答数(人)	構成比 (%)	項目	回答数(人)	構成比 (%)
玉津	86	8.7	壬生川	47	4.8
飯岡	69	7.0	国安	30	3.0
西条	96	9.8	吉岡	18	1.8
神拝	155	15.8	楠河	21	2.1
大町	97	9.9	三芳	17	1.7
神戸	29	2.9	庄内	13	1.3
禎瑞	10	1.0	丹原	40	4.1
橘	12	1.2	徳田	7	0.7
氷見	25	2.5	田野	10	1.0
市之川	0	0.0	中川	16	1.6
加茂	1	0.1	桜樹	0	0.0
大保木	0	0.0	小松	47	4.8
周布	37	3.8	石根	10	1.0
吉井	19	1.9	無回答	5	0.5
多賀	67	6.8	計	984	100.0

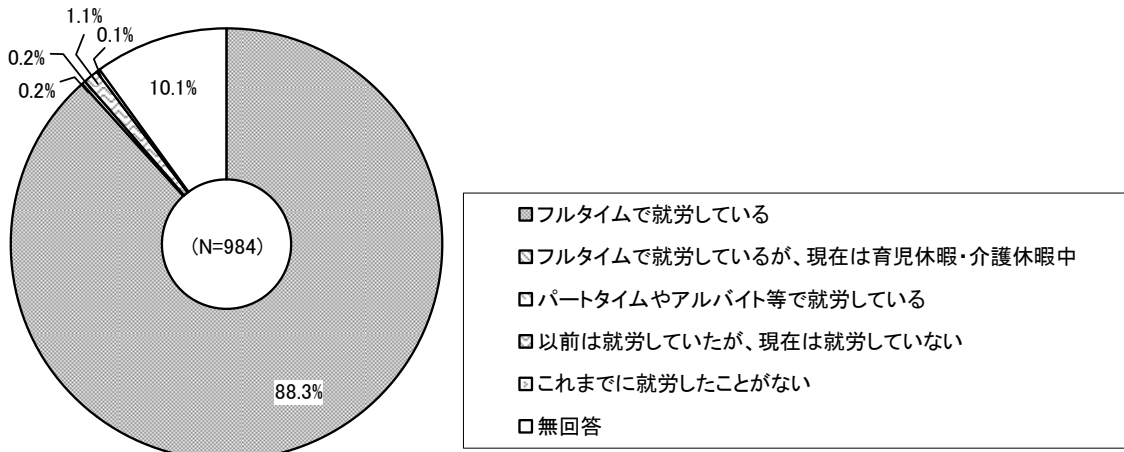
保護者の就労状況について

問7 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

（1）父親の就労状況

父親の就労状況については、「フルタイムで就労している」が88.3%と大半を占めている。

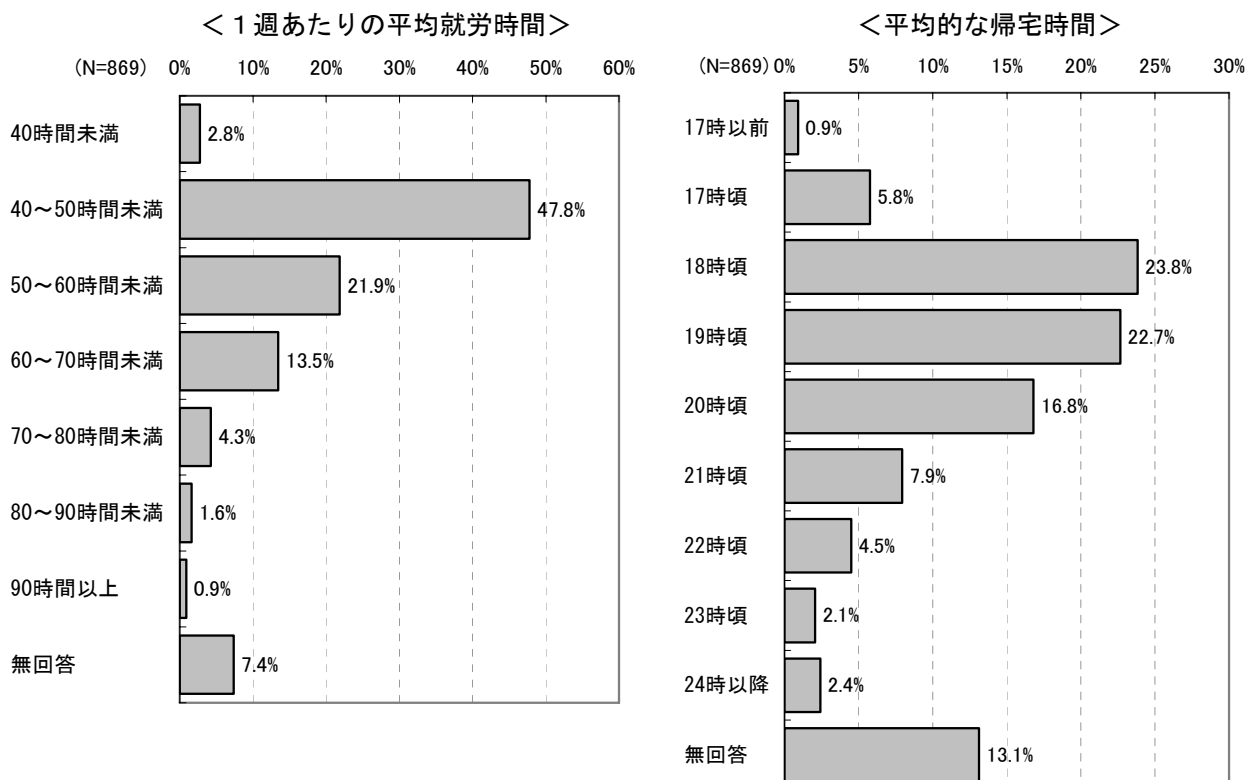
【問7（1） 父親の就労状況】



① フルタイム就労者の就労状況

フルタイムで就労している父親の、1週あたりの就労時間については、「40～50 時間未満」が47.8%と最も多く、次いで「50～60 時間未満」(21.9%)となっており、平均就労時間は 50.03 時間となっている。また、帰宅時間については、「18 時頃」が23.8%と最も多く、次いで「19 時頃」(22.7%)となっており、平均帰宅時間は 19.04 時となっている。

【問7（1）① フルタイム就労者の就労状況】



② パートタイム・アルバイト就労者の就労状況

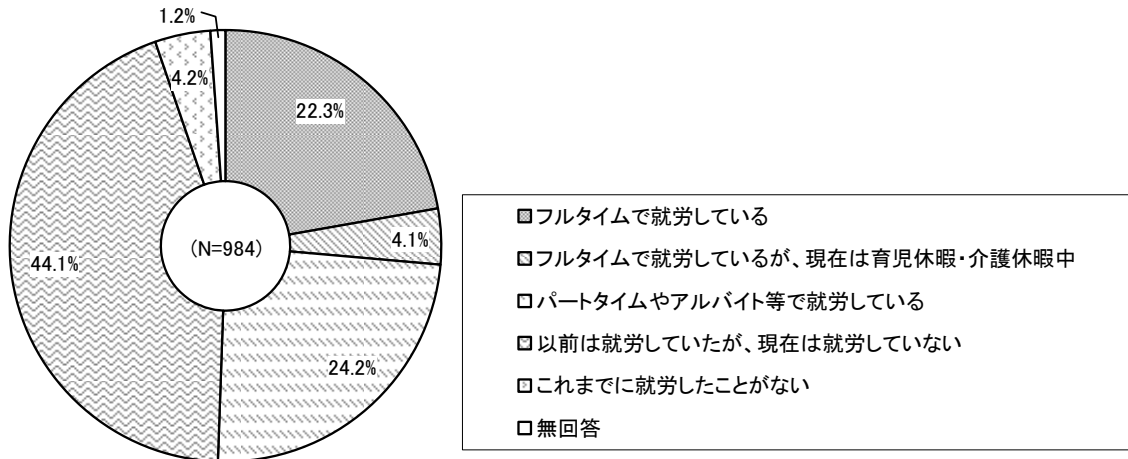
パートタイム・アルバイトで就労しているとの回答があったのは2人で、1週あたりの就労日数については、それぞれ「週5日」、「週6日」の回答となっており、平均就労日数は週5.50日となっている。また、1日あたりの勤務時間については、それぞれ「6時間」、「7時間」の回答となっており、平均就労時間は6.50時間となっている。

フルタイムへの転換希望については、それぞれ「希望はあるが予定はない」「希望はない」との結果となっている。

(2) 母親の就労状況

母親の就労状況については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が44.1%と4割以上を占めているものの、「フルタイムで就労している」(22.3%) および「パートタイムやアルバイト等で就労している」(24.2%) と合わせると、現在就労している人は46.5%となっている。

【問7(2) 母親の就労状況】

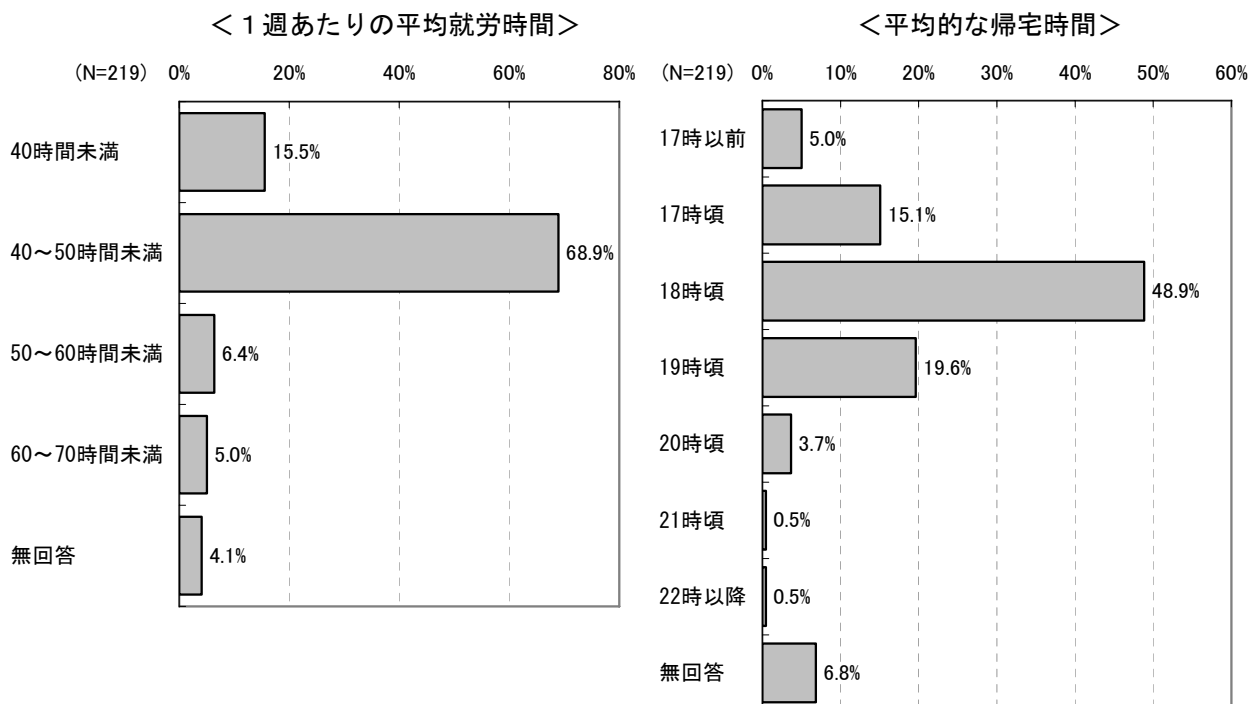


① フルタイム就労者の就労状況

フルタイムで就労している母親の1週あたりの就労時間については、「40～50時間未満」が68.9%と7割近くを占めており、平均就労時間は41.78時間となっている。

また、帰宅時間については、「18時頃」が48.9%と半数近くを占め最も多く、次いで「19時頃」(19.6%) となっており、平均帰宅時間は18.03時となっている。

【問7(2)① フルタイム就労者の就労状況】

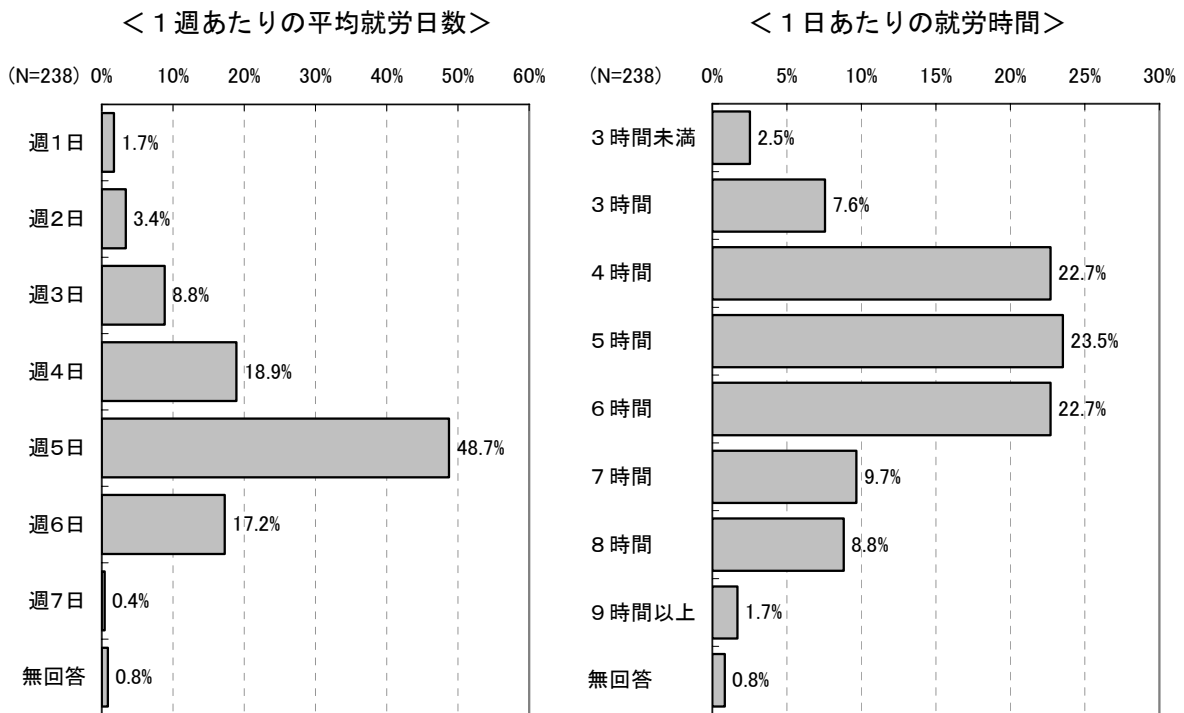


② パートタイム・アルバイト就労者の就労状況

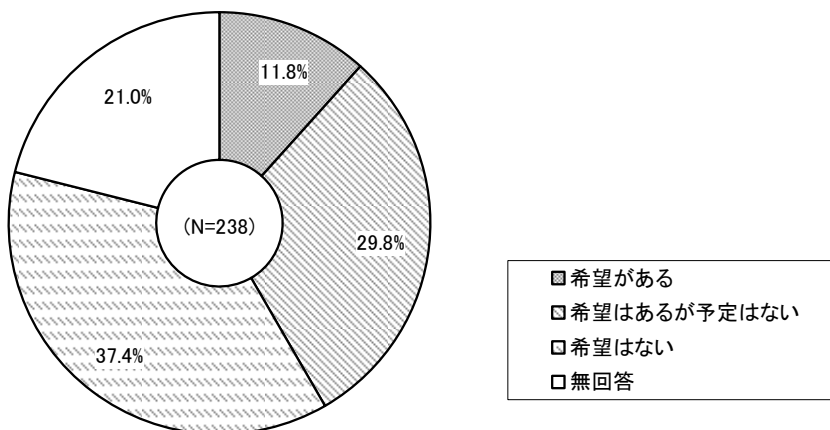
パートタイム・アルバイトで就労している母親の、1週あたりの就労日数については、「週5日」が48.7%と半数近くを占め最も多く、次いで「週4日」(18.9%)、「週6日」(17.2%)となっており、平均就労日数は週4.64日となっている。また、1日あたりの勤務時間については、「5時間」が23.5%と最も多く、次いで「4時間」および「6時間」(22.7%)となっており、平均就労時間は5.31時間となっている。

フルタイムへの転換希望については、「希望はない」が37.4%と最も多くなっているものの、「希望がある」(11.8%)と「希望はあるが予定はない」(29.8%)を合わせると、パートタイム・アルバイト就労の母親の4割以上がフルタイムへの転換を希望しているとの結果となっている。

【問7(2)② パートタイム・アルバイト就労者の就労状況】



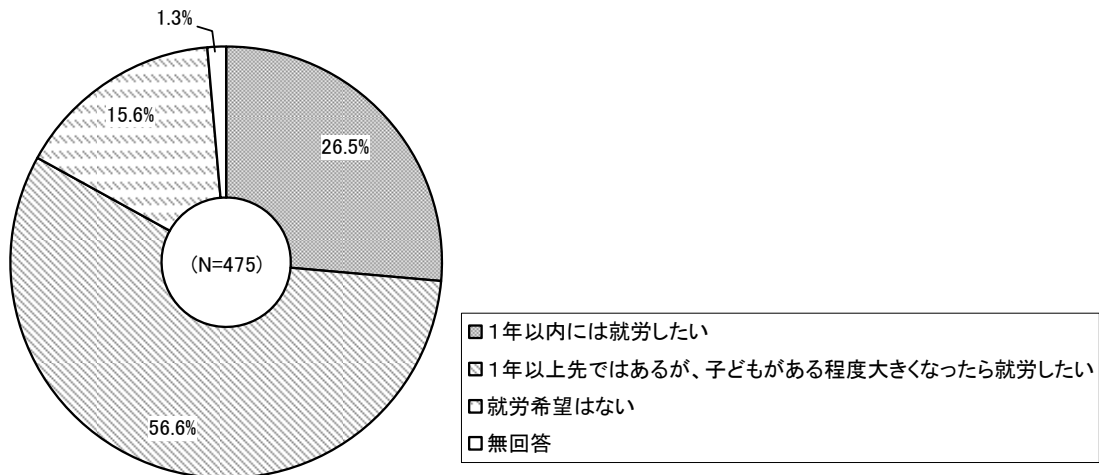
【問7(2)② パートタイム・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望】



問8 【問7(2)で「現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」と回答した人のみ】
 今後の就労希望はありますか。 (○は1つだけ)

以前は就労していたが現在は就労していない、またはこれまでに就労したことがない母親の今後の就労希望については、「1年以上先ではあるが、子どもがある程度大きくなったら就労したい」が56.6%と半数以上を占めており、「1年以内には就労したい」(26.5%)と合わせると、8割以上の人が就労を希望しているという結果となっている。

【問8 現在働いていない母親の今後の就労希望】



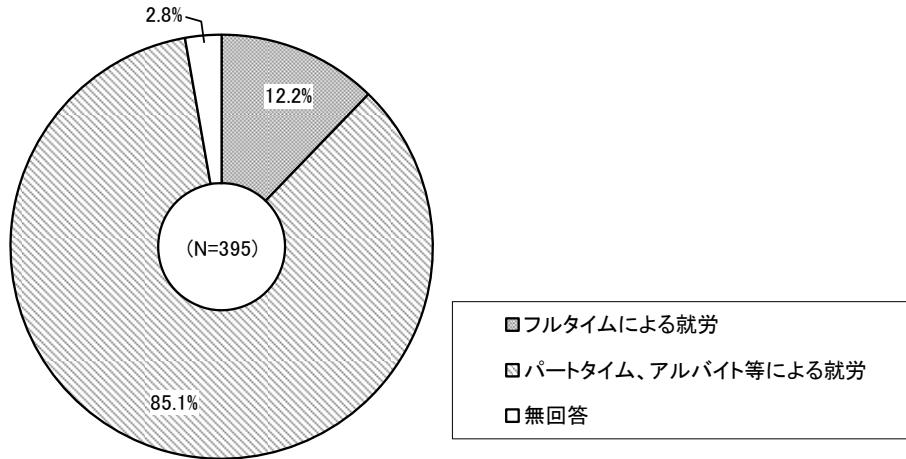
問8-1 【問8で『就労したい』と回答した人のみ】

希望する就労形態はどのようなものですか。

(○は1つだけ)

今後の就労希望があると回答した母親の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等による就労」が85.1%と大半を占めている。

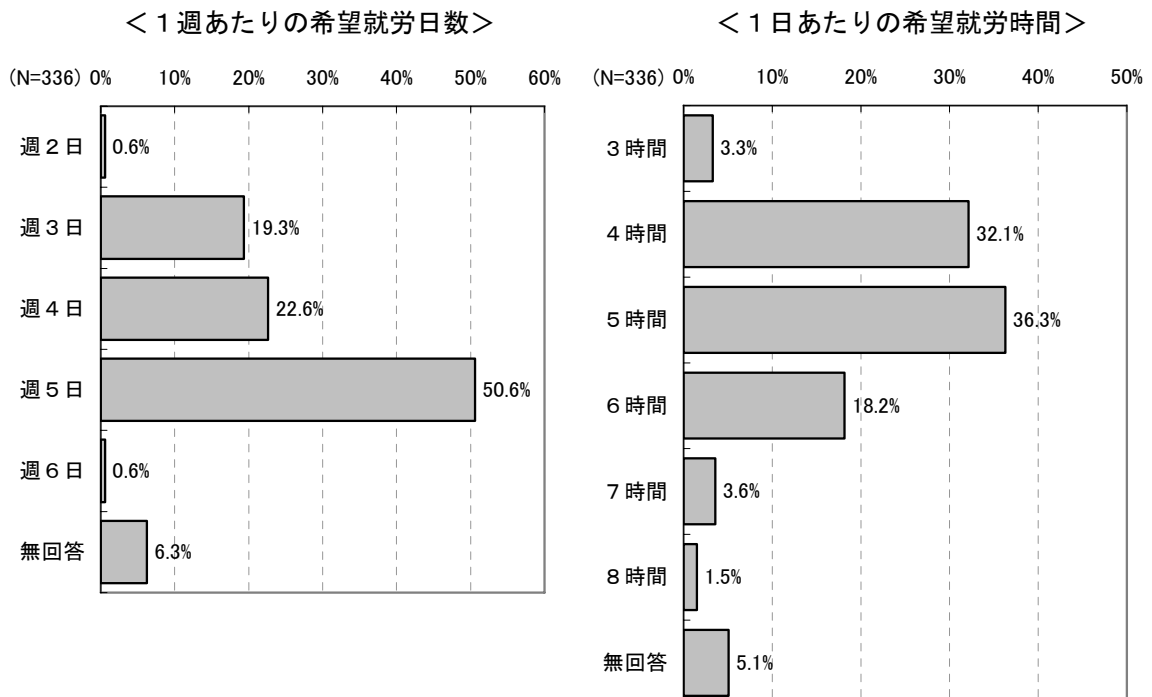
【問8-1 今後の就労希望がある母親の希望就労形態】



◇ パートタイム・アルバイト等による就労希望者の希望条件

今後、パートタイム・アルバイト等で就労したいと回答した母親の、1週あたりの希望就労日数については、「週5日」が50.6%と最も多く、平均希望就労日数は週4.33日となっている。また、1日あたりの希望就労時間については、「5時間」が36.3%と最も多く、次いで「4時間」(32.1%)となっており、平均希望就労時間は4.91時間となっている。

【問8-1 パートタイム・アルバイト就労希望者の就労条件】

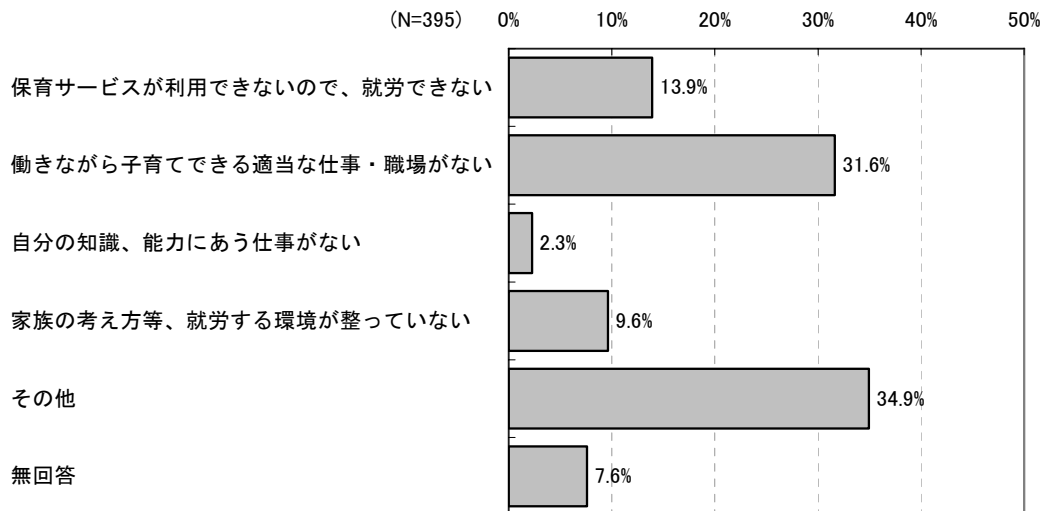


問8-2 【問8で『就労したい』と回答した人のみ】

就労希望がありながら、現在働いていない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つだけ)

今後の就労希望がある母親の、現在働いていない理由については、「働きながら子育てできる適当な仕事・職場がない」が31.6%と3割以上を占め多く、次いで「保育サービスが利用できないので、就労できない」(13.9%)、「家族の考え方等、就労する環境が整っていない」(16.2%)の順となっている。

【問8-2 就労希望がありながら現在働いていない最も大きな理由】

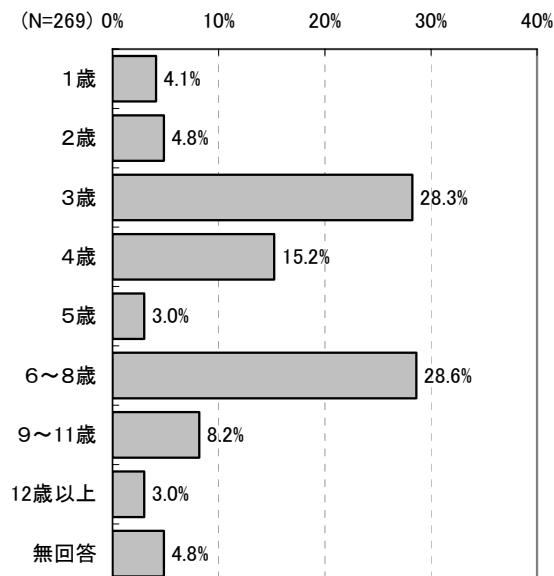


問8-3 【問8で「子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した人のみ】

子どもが何歳になったときに、就労を希望されますか。

子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人の就労希望時期については、一番小さい子の年齢が「6～8歳」になった時が28.6%と最も多く、次いで「3歳」(28.3%)となっており、平均では一番小さい子の年齢が5.13歳になった時となっている。

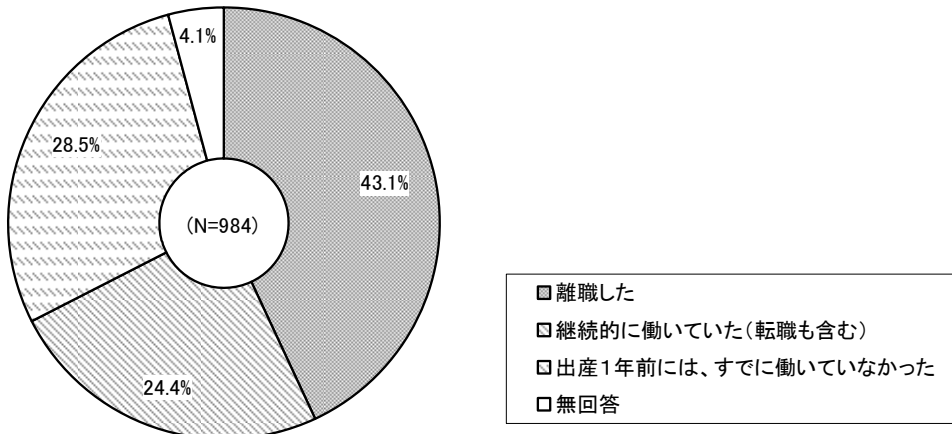
【問8-3 就労を希望する時期（一番小さい子どもの年齢）】



問9 お子さんを出産した前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。（○は1つだけ）

母親の子どもの出産前後（前後それぞれ1年以内）の離職状況については、「離職した」が43.1%と最も多く、「継続的に働いていた（転職も含む）」は24.4%となっており、「出産1年前には、すでに働いていなかった」および無回答を除いた『出産1年前に就労していた』母親のうち6割以上が離職したという結果となっている。

【問9 子どもを出産した前後1年以内の離職の有無】

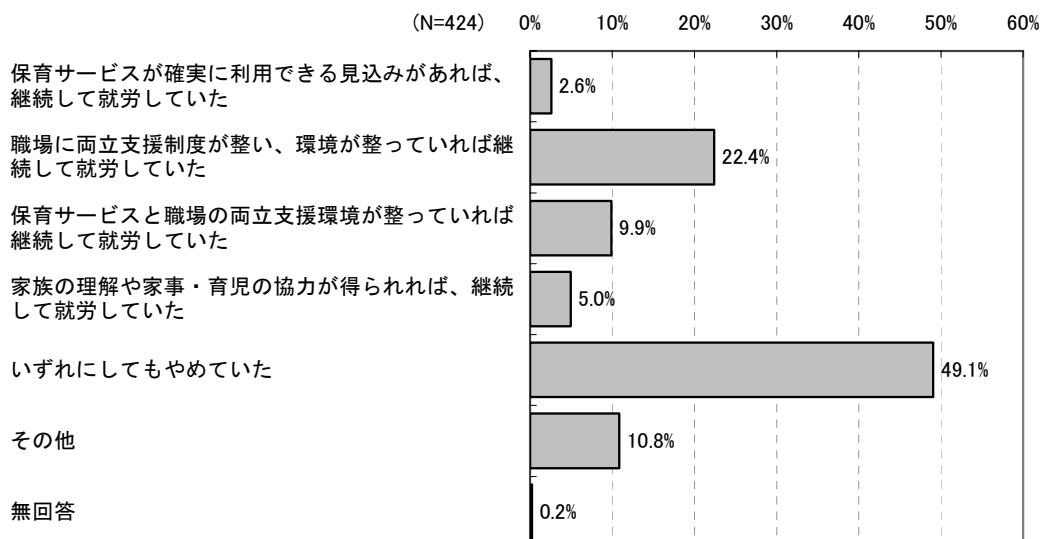


問9-1 【問9で「離職した」と回答した人のみ】

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。（○は1つだけ）

仕事と家庭の両立を支援する保育サービス等の環境整備状況による就労継続意向については、「いずれにしてもやめていた」が49.1%と約半数を占め最も多くなっているものの、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立を支援する制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が22.4%と次いで多く2割以上を占め、職場における両立支援環境の整備状況が就労の継続に影響していることが分かる。

【問9-1 保育サービス等の環境整備状況による就労継続意向】

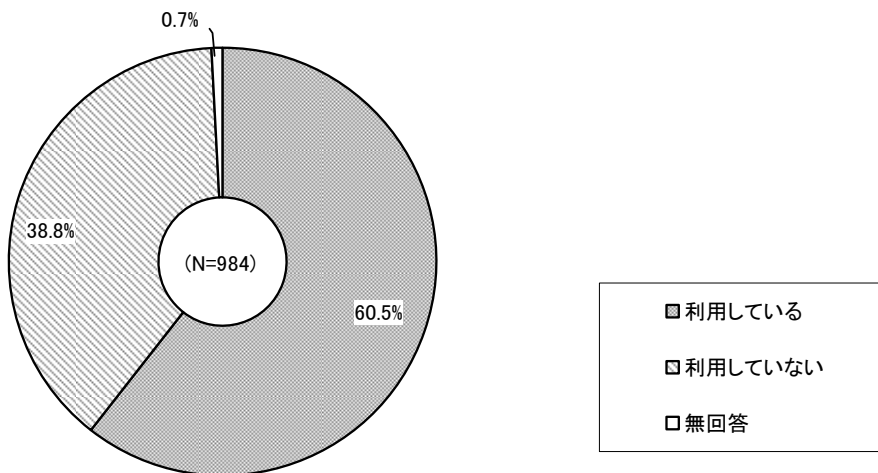


保育サービスの利用について

問 10 現在の保育サービス利用の有無についておたずねします。日ごろ、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していますか。 (○は1つだけ)

子どもの現在の保育サービス等の利用状況については、「利用している」が60.5%となっており、「利用していない」(38.8%)を21.7ポイント上回る結果となっている。

【問 10 現在の保育サービスの利用有無】

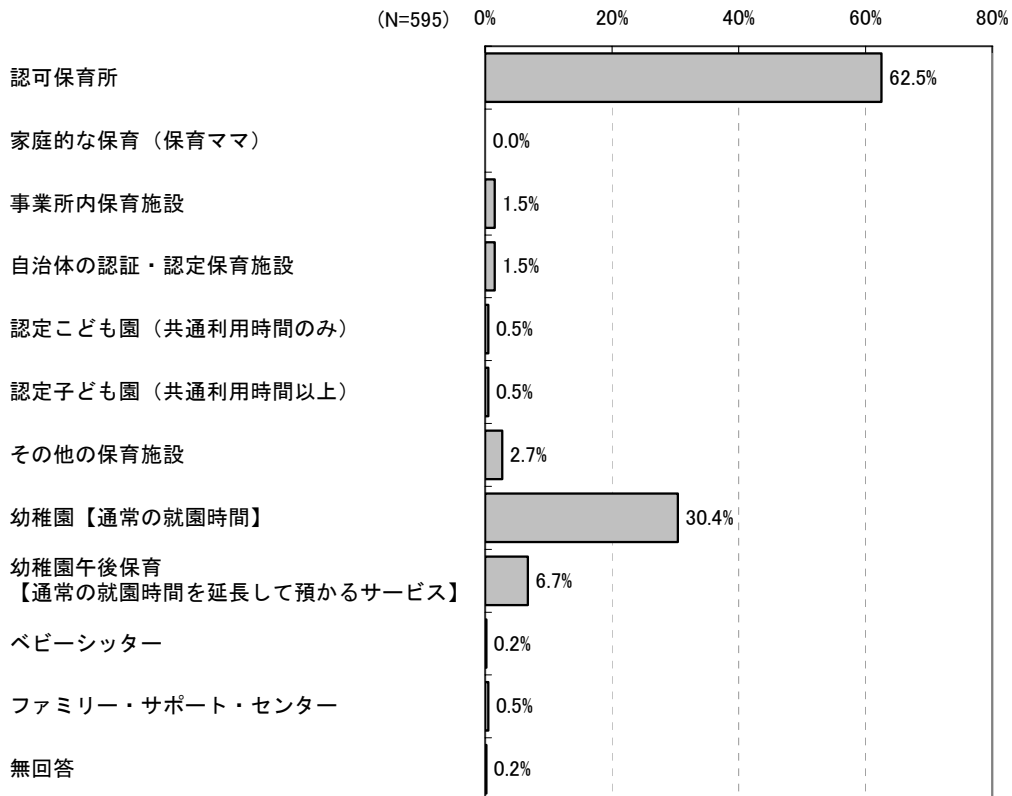


問 10-1 【問 10で「利用している」と回答した人のみ】

現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されているものも含めてお答えください。
(○は1つだけ)

現在利用している子育て支援サービスについては、「認可保育所」が 62.5%と大半を占め、次いで「幼稚園（通所の就園時間）」(30.4%) となっている。

【問 10-1 利用している子育て支援サービス】

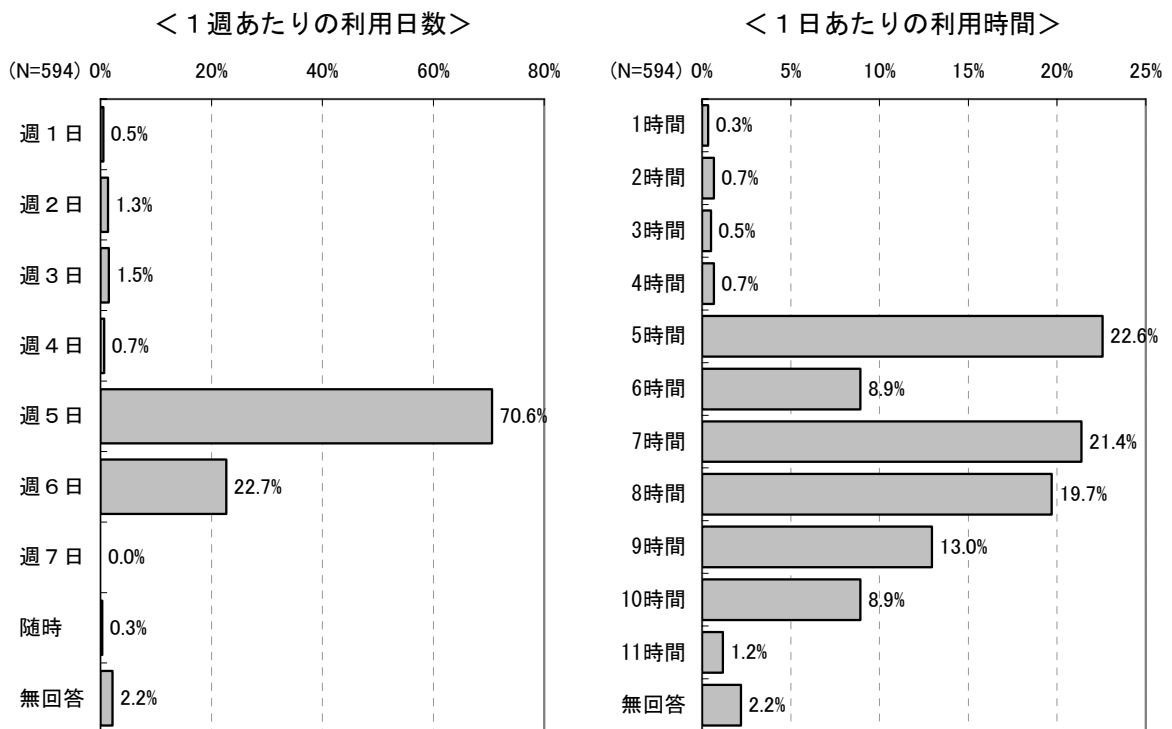


問 10-2 【問 10-1 で「ベビーシッター」および「ファミリー・サポート・センター」と回答した人以外（無回答も除く）】

保育サービスの利用状況について、1 週あたりの利用日数および、1 日あたりの利用時間をお答えください。

現在の保育サービスの利用状況について、1 週あたりの利用日数については、「週 5 日」が 70.6% と最も多くなっている。1 日あたりの利用時間については、「5 時間」が 22.6% と最も多く、次いで「7 時間」(21.4%)、「8 時間」(19.7%) となっている。

【問 10-2 保育サービスの利用状況】



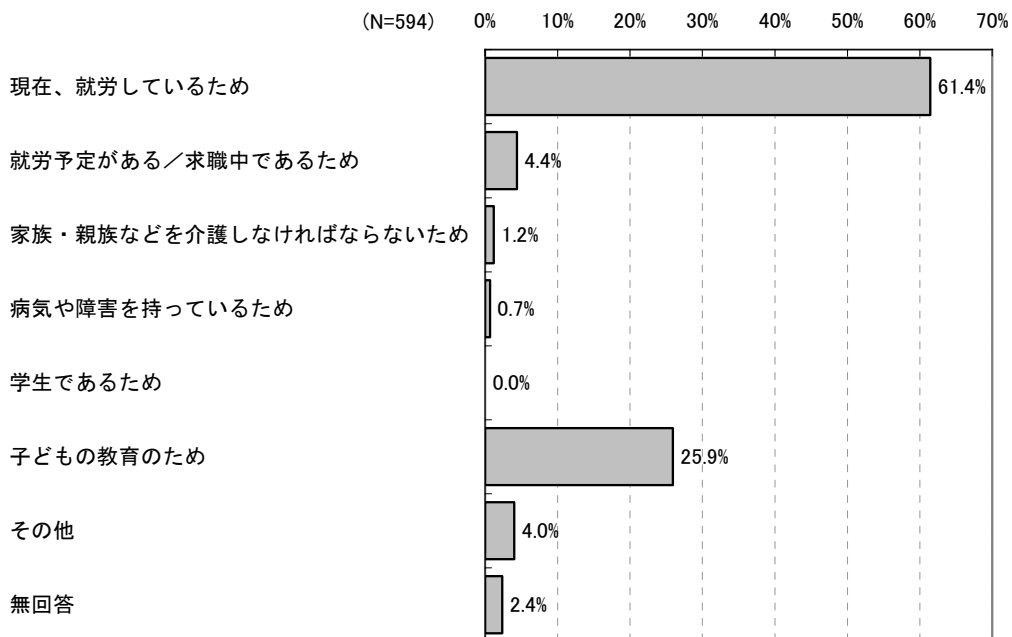
問 10-3 【問 10-1 で「ベビーシッター」および「ファミリー・サポート・センター」と回答した人以外（無回答も除く）】

保育サービスを利用している最も大きな理由は何ですか。

（○は1つだけ）

現在、保育サービスを利用している理由については、子どもの身の回りの世話を主にしている人が「現在、就労しているため」が 61.4%と最も多く、「就労予定がある／求職中であるため」(4.4%)と合わせると、65.8%の人が就労を理由に保育サービスを利用しているという結果となっている。また、「子どもの教育のため」との回答も 25.9%と次いで多くなっている。

【問 10-3 保育サービスを利用している最も大きな理由】



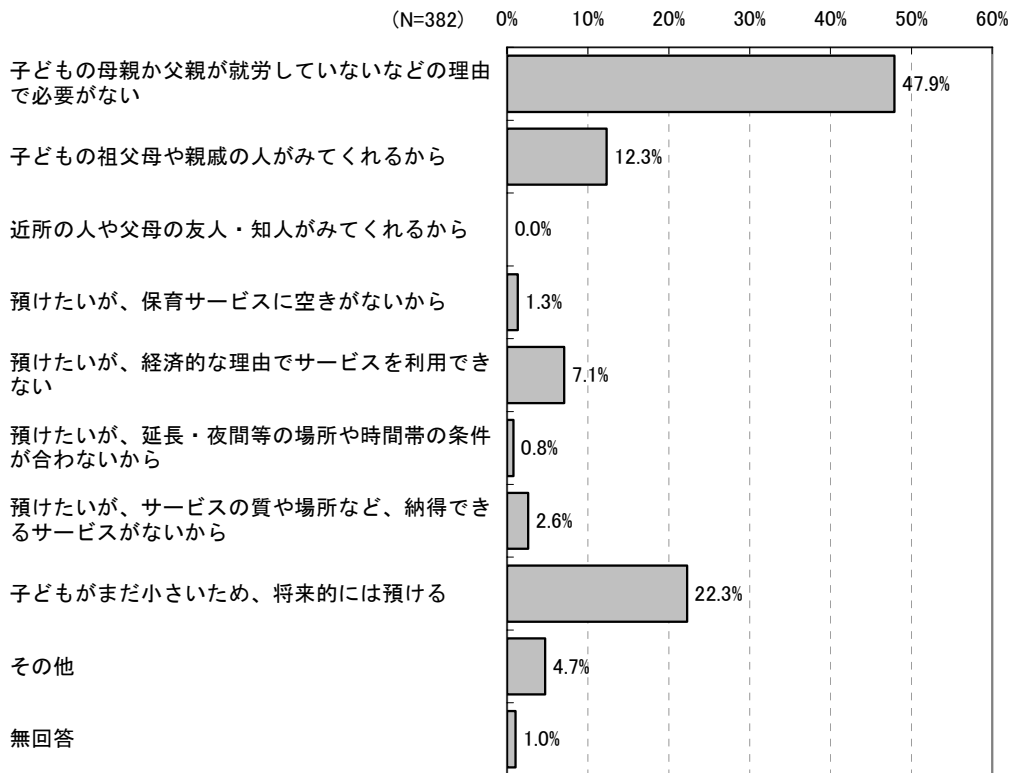
問 10-4 【問 10で「利用していない」と回答した人のみ】

保育サービスを利用していない主な理由は何ですか。

(○は1つだけ)

現在、保育サービスを利用していない理由については、「母親か父親が就労していないなどの理由で必要がない」が47.9%と半数近くを占め最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため、将来的には預ける」(22.3%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみてるから」(12.3%)の順となっている。

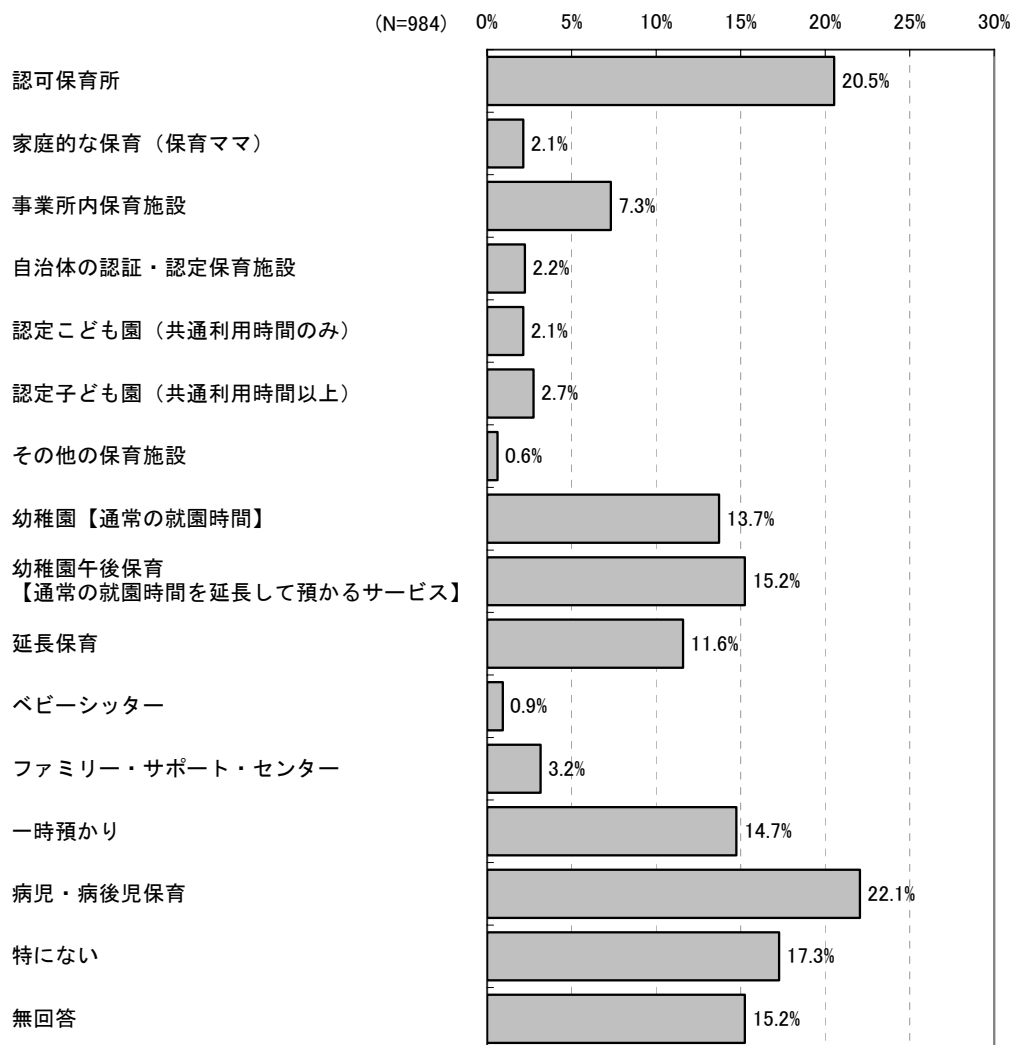
【問 10-4 保育サービスを利用していない主な理由】



問 11 今は利用していないが、今後利用したい、あるいは利用日数・回数が足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

今は利用していないが、今後利用したい、あるいは利用日数・回数が足りていないと思う保育サービスについては、「病児・病後児保育」が22.1%と最も多く、「認可保育所」についても20.5%と2割を超える利用意向がある。次いで、「幼稚園午後保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）」(15.2%)、「一時預かり」(14.7%)、「幼稚園（通常の就園時間）」(13.7%)の順となっている。また、「特にない」が17.3%と2割近くを占める結果となっている。

【問 11 今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたい保育サービス】



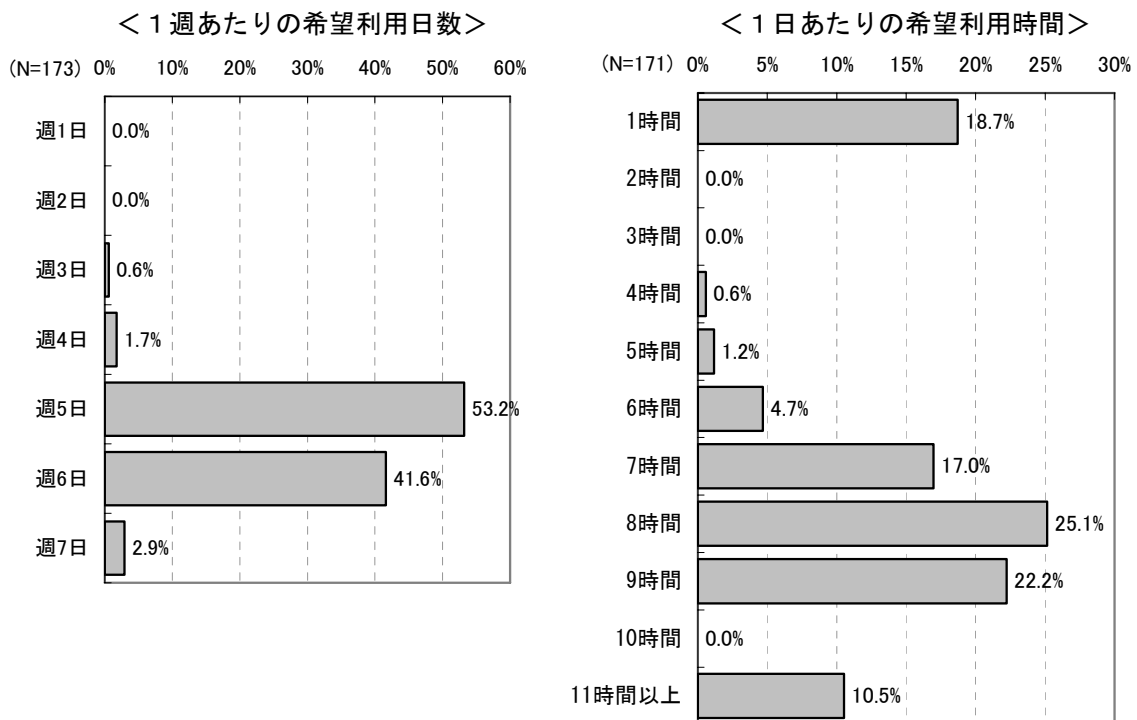
問 11-1 今後の利用希望についておたずねします。1週あたりの希望利用日数および、1日あたりの希望利用時間（延長保育なども含めます）をお答えください。（有効回答のみ集計）

（1）認可保育所

認可保育所の希望利用頻度については、1週あたりの利用日数では、「週5日」が53.2%と最も多く、平均希望利用日数は週5.45日となっている。

また、1日あたりの利用時間については、「8時間」が25.1%と最も多く、次いで「9時間」(22.2%)となっており、平均希望利用時間は6.94時間となっている。

【問 11-1 ①認可保育所の希望利用頻度】



（2）家庭的な保育（保育ママ）

家庭的な保育（保育ママ）の希望利用頻度については、有効回答が14人となっており、その1週あたりの利用日数については、「週5日」の回答が7人と最も多く、次いで「週2日」(2人)となっており、平均希望利用日数は週3.93日となっている。

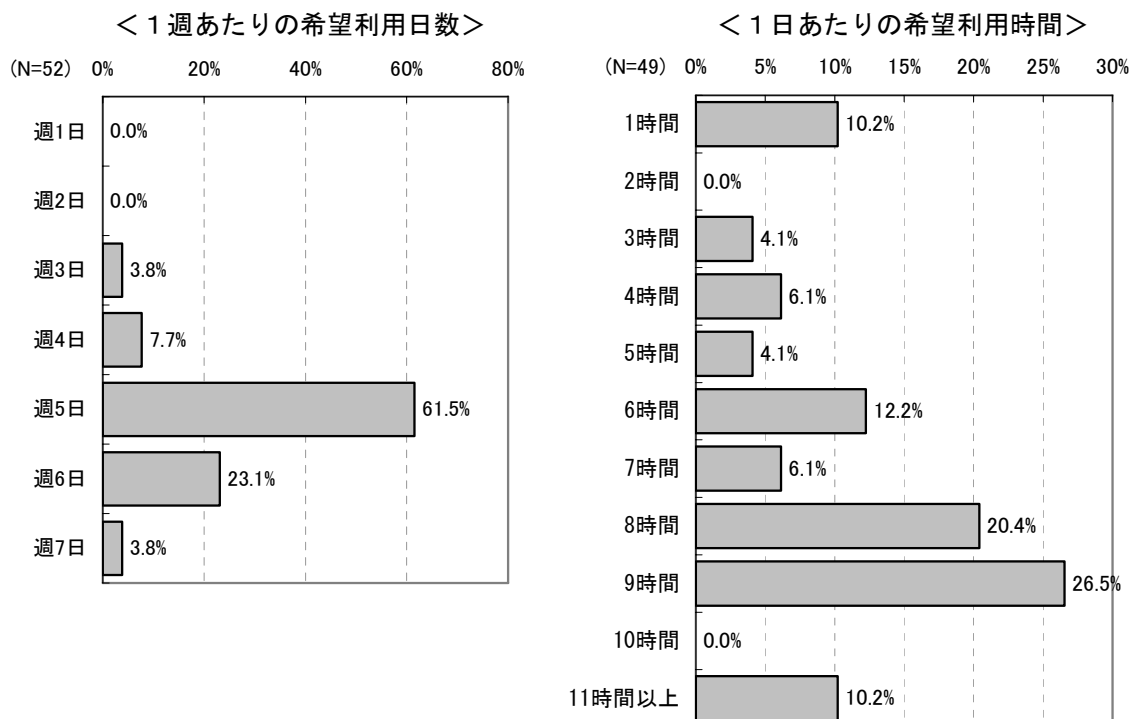
また、1日あたりの利用時間については、「3時間」が3人と最も多く、次いで「4時間」「5時間」「11時間以上」(2人)となっており、平均希望利用時間は5.86時間となっている。

(3) 事業所内保育施設

事業所内保育施設の希望利用頻度については、1週あたりの利用日数では、「週5日」が61.5%と最も多く、平均希望利用日数は週5.15日となっている。

また、1日あたりの利用時間については、「9時間」が26.5%と最も多く、次いで「8時間」(20.4%)となっており、平均希望利用時間は7.00時間となっている。

【問11-1 ③事業所内保育施設の希望利用頻度】



(4) 自治体の認証・認定保育施設

自治体の認証・認定保育施設の希望利用頻度については、有効回答が11人となっており、その1週あたりの利用日数については、「週5日」が5人と最も多く、次いで「週6日」(4人)となっており、平均希望利用日数は週5.27日となっている。

また、1日あたりの利用時間については、「7時間」が4人と最も多く、次いで「8時間」(2人)となっており、平均希望利用時間は7.45時間となっている。

(5) 認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】

認定こども園（共通利用時間のみの保育の利用）の希望利用頻度については、有効回答が13人となっており、その1週あたりの利用日数については、「週6日」が6人と最も多く、次いで「週5日」（4人）となっており、平均希望利用日数は週4.62日となっている。

また、1日あたりの利用時間については、「7時間」が4人と最も多く、次いで「1時間」「8時間」「11時間以上」（2人）となっており、平均希望利用時間は6.23時間となっている。

(6) 認定こども園【共通利用時間（4時間程度）以上の保育の利用】

認定こども園（共通利用時間（4時間程度）以上の保育の利用）の希望利用頻度については、有効回答が18人となっており、その1週あたりの利用日数については、「週5日」が10人と最も多く、次いで「週6日」（6人）となっており、平均希望利用日数は週5.28日となっている。

また、1日あたりの利用時間については、「8時間」が7人と最も多く、次いで「7時間」（4人）、「1時間」「11時間以上」（3人）となっており、平均希望利用時間は7.17時間となっている。

(7) その他の保育施設

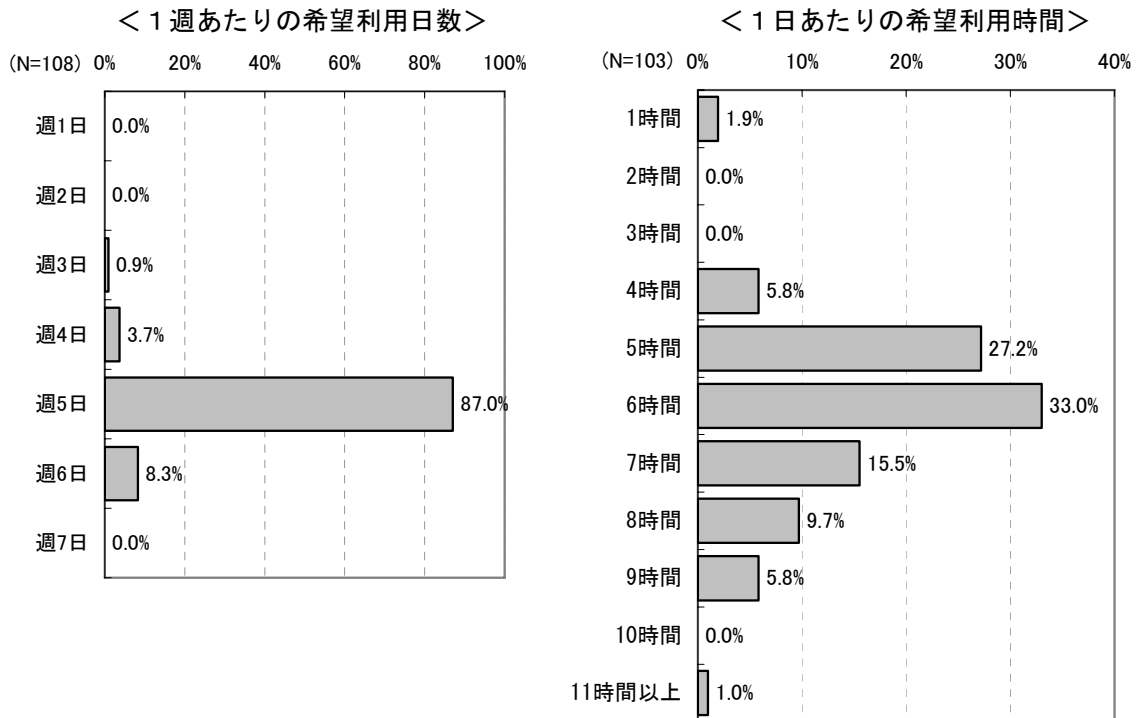
その他の保育施設の希望利用頻度については、有効回答が4人となっており、その1週あたりの利用日数については、「週5日」が3人と最も多く、その他「週3日」の回答となっており、平均希望利用日数は週4.50日となっている。

また、1日あたりの利用時間については、「8時間」が3人と最も多く、その他「9時間」の回答となっており、平均希望利用時間は8.25時間となっている。

(8) 幼稚園（通常の就園時間）

幼稚園（通常の就園時間）の希望利用頻度については、1週あたりの利用日数では、「週5日」が87.0%と大半を占め、平均希望利用日数は週5.03日となっている。

また、1日あたりの利用時間については、「6時間」が33.0%と最も多く、次いで「5時間」(27.2%)となっており、平均希望利用時間は6.10時間となっている。

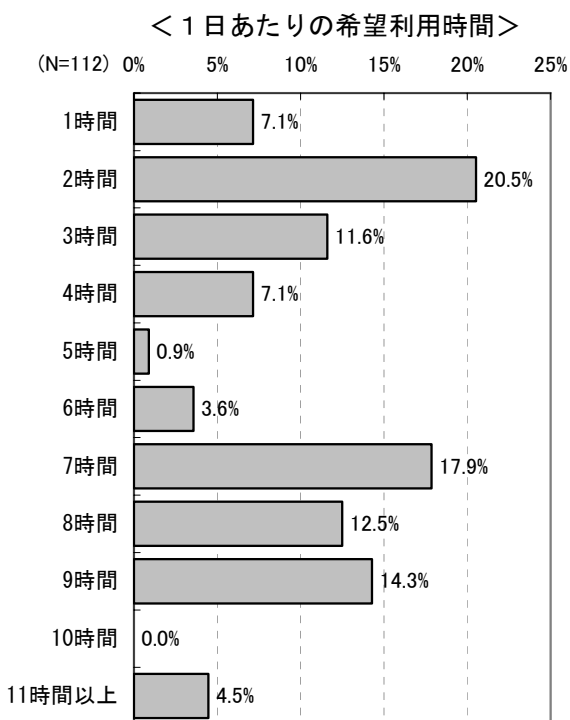
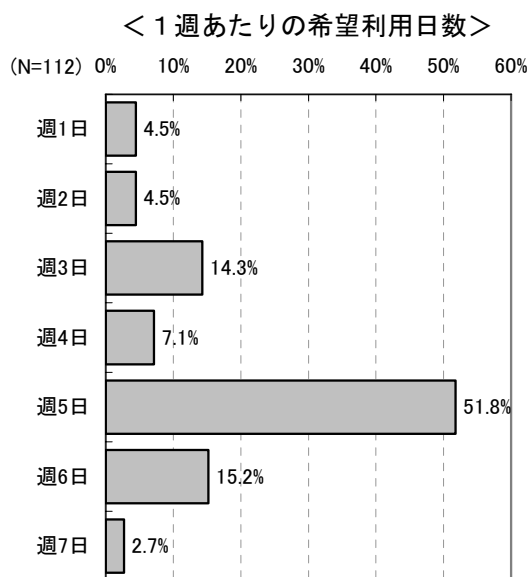
【問11-1 ⑧幼稚園（通常の就園時間）の希望利用頻度】

(9) 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）

幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）の希望利用頻度については、1週あたりの利用日数では、「週5日」が51.8%と最も多く、平均希望利用日数は週4.57日となっている。

また、1日あたりの利用時間については、「2時間」が20.5%と最も多く、平均希望利用時間は5.41時間となっている。

【問11-1 ⑨幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）の希望利用頻度】

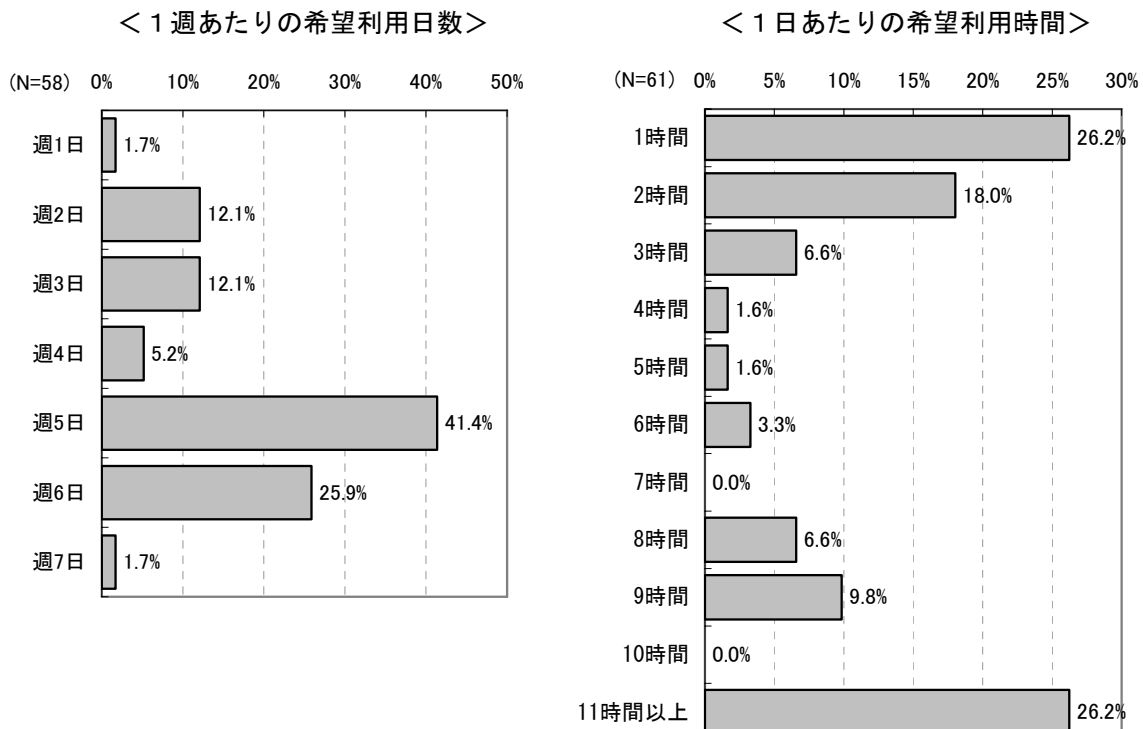


(10) 延長保育

延長保育の希望利用頻度については、1週あたりの利用日数では、「週5日」が41.4%と4割以上を占め最も多く、次いで「週6日」(25.9%)となっており、平均希望利用日数は週4.63日となっている。

また、1日あたりの利用時間については、「1時間」が26.2%と多く、平均希望利用時間は5.67時間となっている。

【問11-1 ⑩延長保育の希望利用頻度】



(11) ベビーシッター

ベビーシッターの希望利用頻度については、有効回答が3人となっており、その1週あたりの利用日数は「週1日」、1日あたりの利用時間についてそれぞれ「2時間」、「3時間」、「8時間」の回答となっており、平均希望利用時間は4.33時間となっている。

問 11-2 【問 11 で「1」～「11」と回答した人のみ】

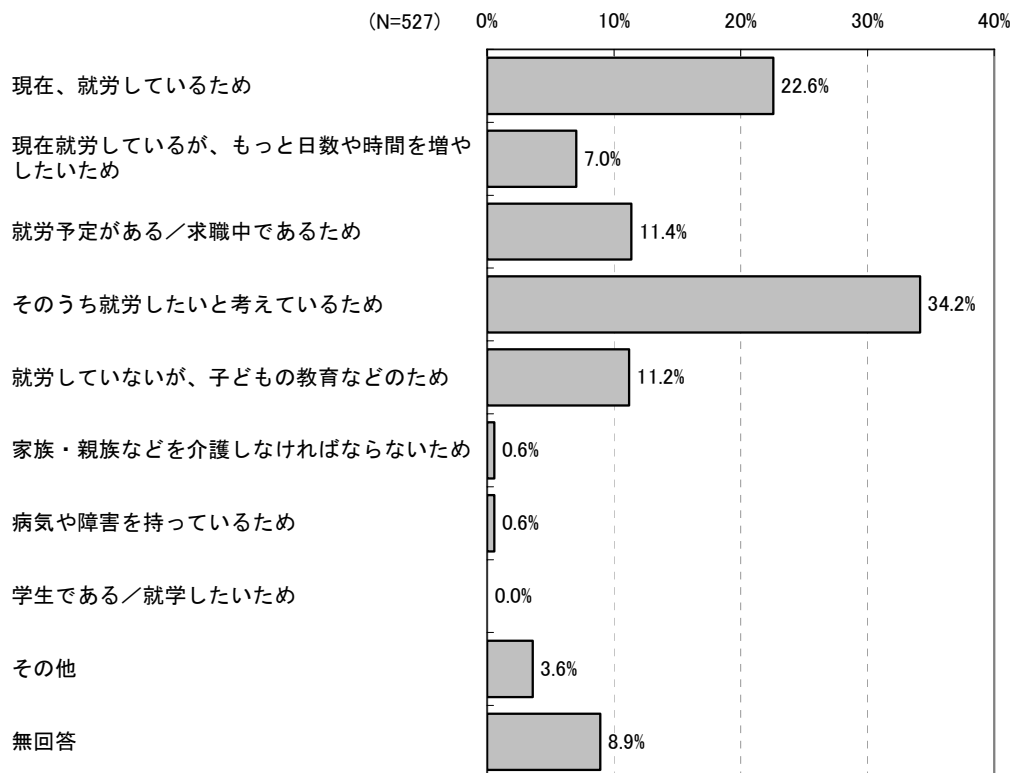
サービスを利用したいと思う最も大きな理由は何ですか。

(○は1つだけ)

保育サービスを利用したいと考えている理由については、子どもの身の回りの世話を主に行っている人が「そのうち就労したいと考えているため」が 34.2%と 3 割以上を占め最も多く、次いで「現在、就労しているため」(22.6%)、「就労予定がある／求職中であるため」(11.4%) の順となっている。「現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたいため」(7.0%) と合わせると、7 割以上の方が就労を理由に保育サービスを利用したいという結果となっている。

また、「子どもの教育などのため」の回答も 11.2%と 1 割以上を占め多くなっている。

【問 11-2 保育サービスを利用したいと思う最も大きな理由】

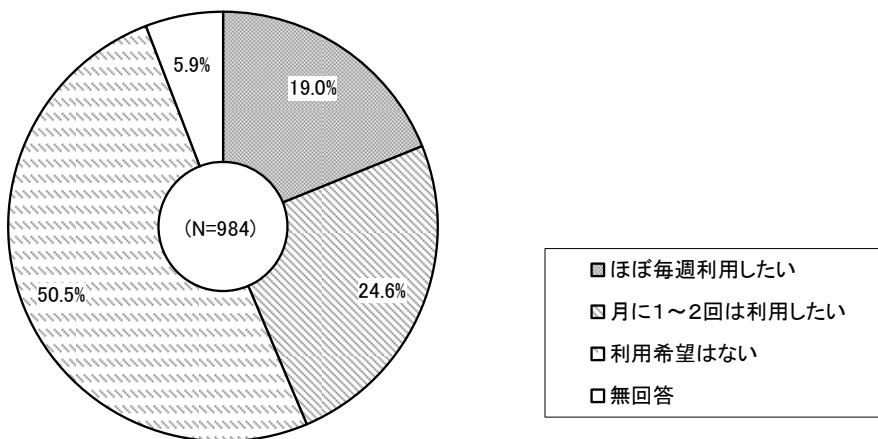


問 12 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に保育サービス（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。
（土曜日と日曜日・祝日それぞれ〇は1つだけ）

（1） 土曜日

土曜日の保育サービスの利用希望については、「利用希望はない」が 50.5%と約半数を占め最も多くなっているものの、次いで「月に1～2回は利用したい」が 24.6%と多くなっており、「ほぼ毎週利用したい」（19.0%）と合わせると、『利用したい』が4割以上を占める結果となっている。

【問 12（1） 土曜日の保育サービスの利用意向】

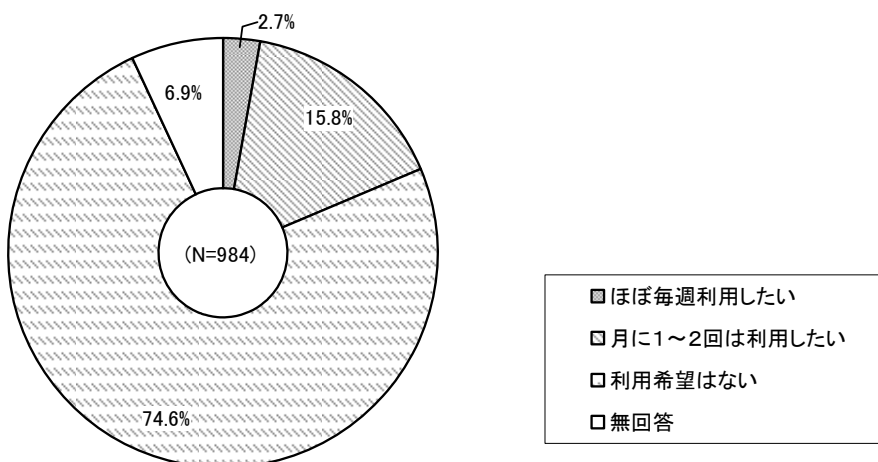


（2） 日曜日・祝日

日曜日・祝日の保育サービスの利用希望については、「利用希望はない」が 74.6%と7割以上を占め最も多く、『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた割合：18.5%）を56.1ポイント上回る結果となっている。

土曜日の利用意向と比べると、利用希望自体は少ない結果となっている。

【問 12（2） 日曜日・祝日の保育サービスの利用意向】



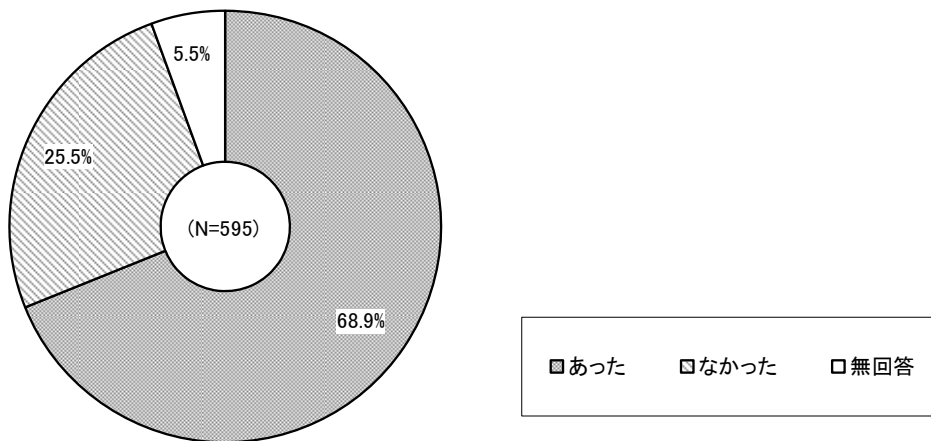
保育サービスを利用している人のみ

病児・病後児保育について

問 13 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったことはありますか。 (○は1つだけ)

この1年間で、子どもが病気やケガで保育サービスが利用できなかったことについては、「あった」が68.9%と7割近くを占め、「なかった」(25.5%)を43.4ポイント上回る結果となっている。

【問 13 子どもが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったこと】



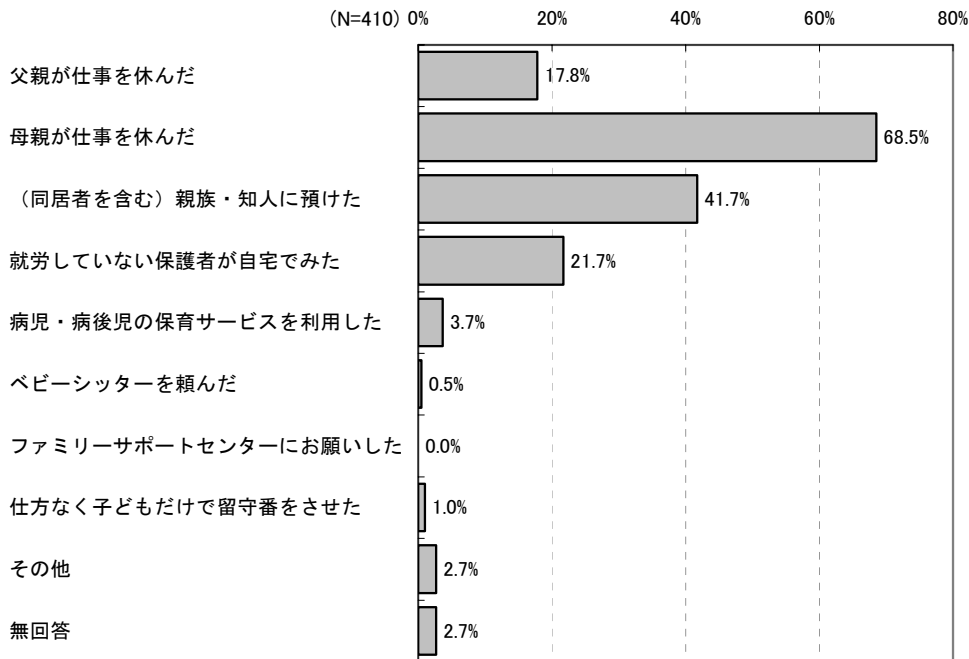
問 13-1 【問 13で「あった」と回答した人のみ】

この1年間の対処方法はどうされましたか。

(あてはまるものすべてに○)

この1年間で、子どもが病気やケガで保育サービスが利用できなかったことがあったと回答した人の対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が68.5%と7割近くを占め最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に預けた」(41.7%)、「就労していない保護者が自宅でみた」(21.7%)の順となっている。

【問 13-1 病気やケガで保育サービスが利用できなかった時の対処方法】

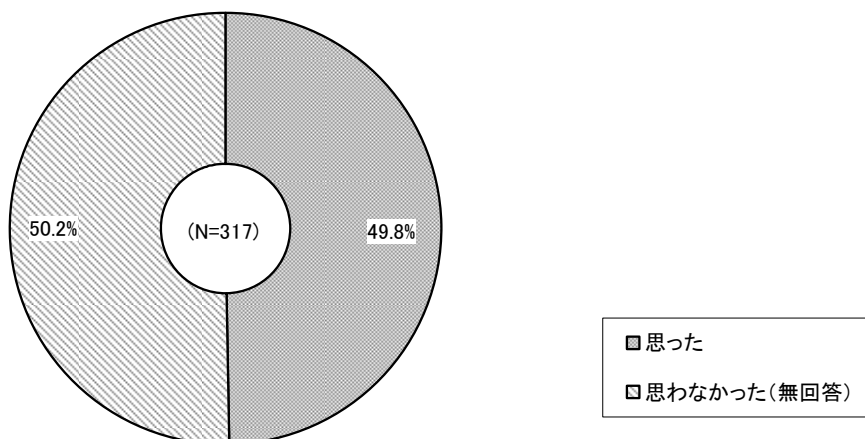


問 13-2 【問 13-1で「父親・母親が仕事を休んだ」または「(同居者を含む)親族・知人に預けた」と回答した人のみ】

その際、病児・病後児保育サービス対応の専門施設を利用したいと思われましたか。

この1年間で、子どもが病気やケガで保育サービスが利用できなかった時に、父親または母親が仕事を休んだ、もしくは親族・知人に預けた人の専門施設への利用意向については、約半数の人が専門施設への要望があるという結果となっている。

【問 13-2 病児・病後児保育サービス対応の専門施設の利用意向】



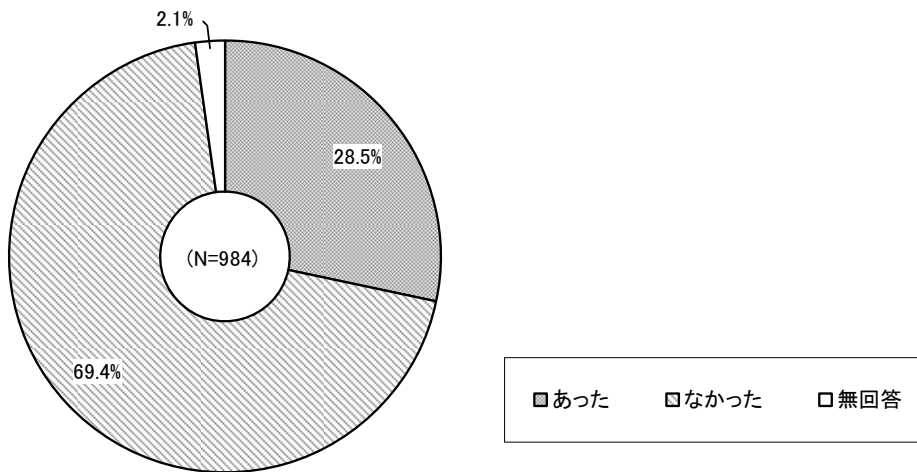
一 時 預 かり に つ い て

問 14 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。 (〇は1つだけ)

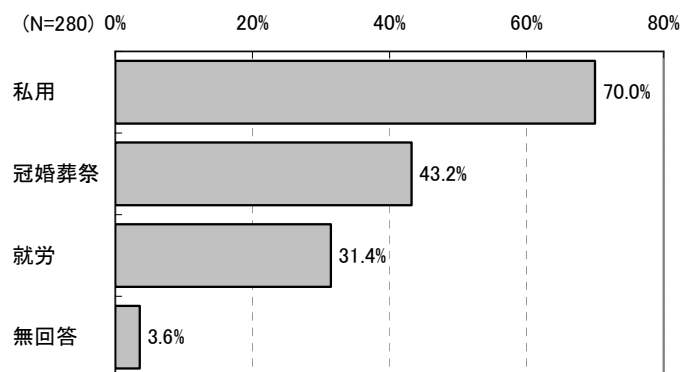
この1年間で、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことについては、「なかった」が69.4%と大半を占めており、「あった」(28.5%)を40.9ポイント上回る結果となっている。

また、その理由については、「私用」を理由とした一時預かりが70.0%と最も長く、次いで「冠婚葬祭」(43.2%)、「就労」(31.4%)の順となっている。

【問 14 子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無】



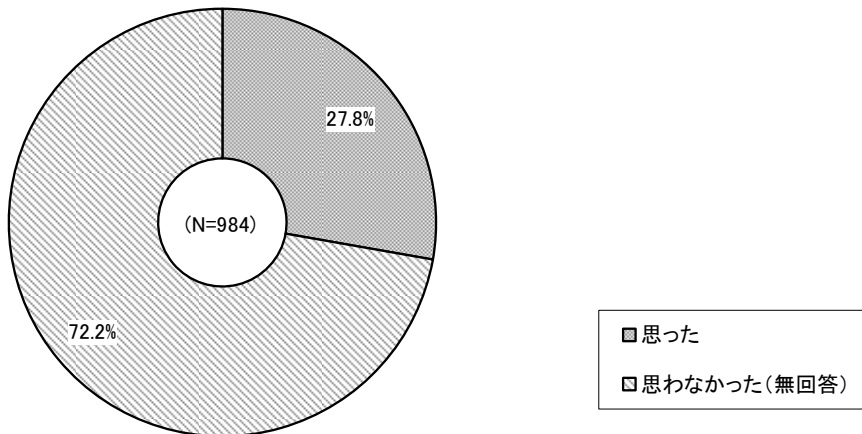
【問 14 子どもを家族以外の誰かに一時的に預けた理由】



問 15 今は利用していないが今後は利用したい、あるいは利用日数や回数を増やしたいと思いませんか。その場合、月に何日くらい利用したいですか。

また、今後利用したい、もしくは利用日数や回数を増やしたいと回答した人は27.8%と、「(今後は利用したい、あるいは利用日数や回数を増やしたい) 思わなかった」が大半を占める結果となっている。

【問 15 一時預かりの今後の利用意向】

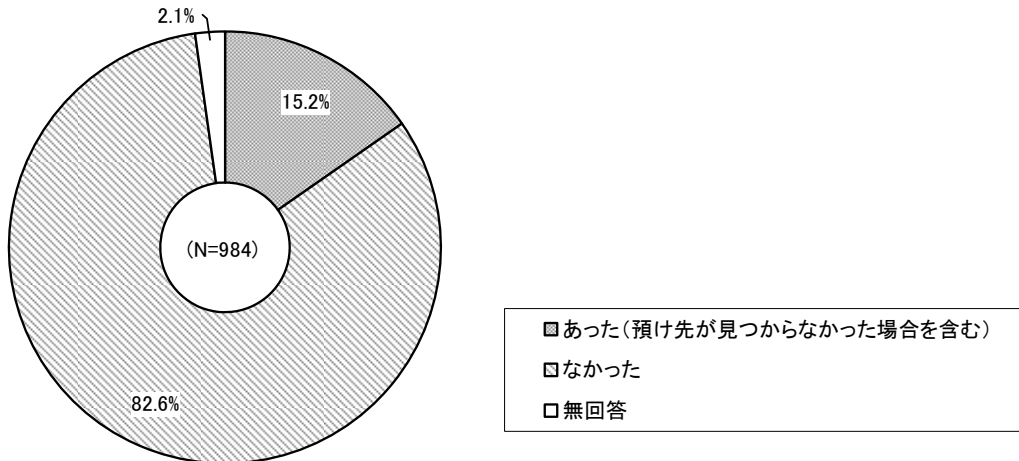


宿泊を伴う一時預かりについて

問 16 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。 (○は1つだけ)

この1年間に子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったことについては、「なかった」が82.6%と大半を占めており、「あった」(15.2%)を67.4ポイント上回る結果となっている。

【問 16 子どもを泊りがけで家族以外の誰かに預けたことの有無】



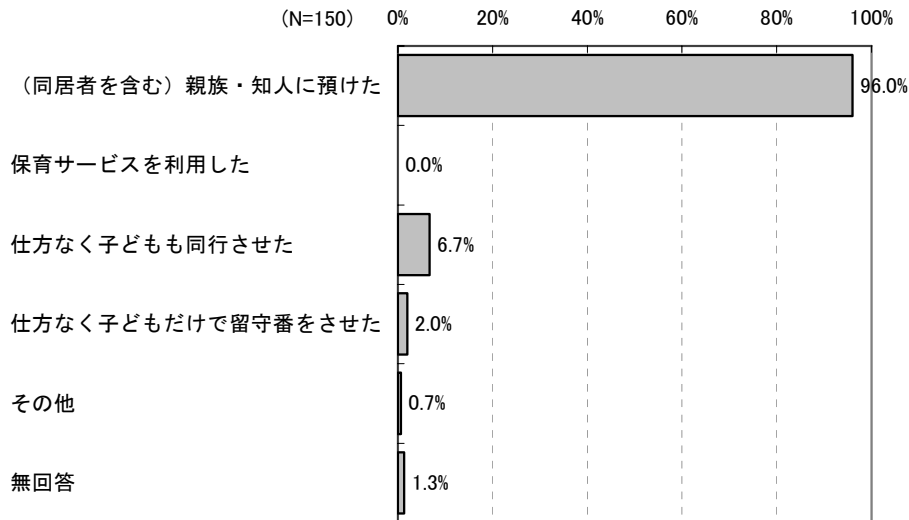
問 16-1 【問 16で「あった」と回答した人のみ】

この1年間の対処方法とどうされましたか。

(あてはまるものすべてに○)

子どもを泊りがけで家族以外に預けた場合の対処方法について、「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」が96.0%と大半を占め最も多く、次いで多い回答の「仕方なく子どもも同行させた」は6.7%と1割未満にとどまっており、ほとんどの人が身近な人に預けているという結果となっている。

【問 16-1 子どもを泊りがけで家族以外の誰かに預けた時の対処方法】



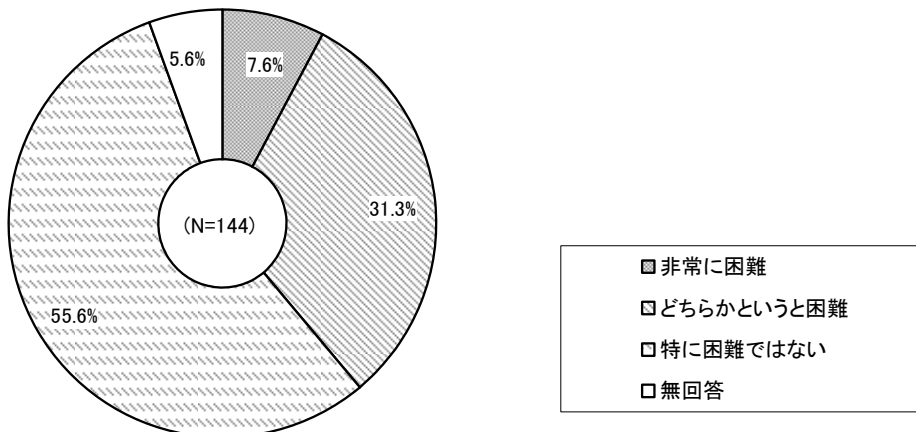
問 16-2 【問 16-1で「親族・知人に預けた」と回答した人のみ】

親族や知人に預けた場合の困難度はどの程度でしたか。

(○は1つだけ)

子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかった時の対処方法として、親族や知人に預けた場合の困難度については、「特に困難でもない」が55.6%と半数以上を占め最も多くなっているものの、「非常に困難」(7.6%)と「どちらかという困難」(31.3%)を合わせると38.9%と、4割近くの人が親族や知人に預けることについて『困難である』という結果となっている。

【問 16-2 親族や知人に預けた場合の困難度】



来年度就学予定の児童を持つ方のみ【無回答を除いた有効回答のみの集計】

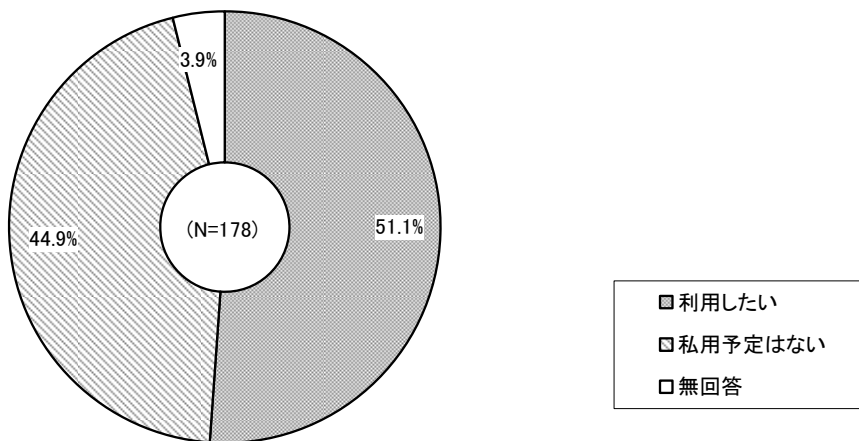
小学校入学以降の放課後の過ごし方について

問 17 小学校入学以降の放課後の過ごし方について、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと思いませんか。 (○は1つだけ)

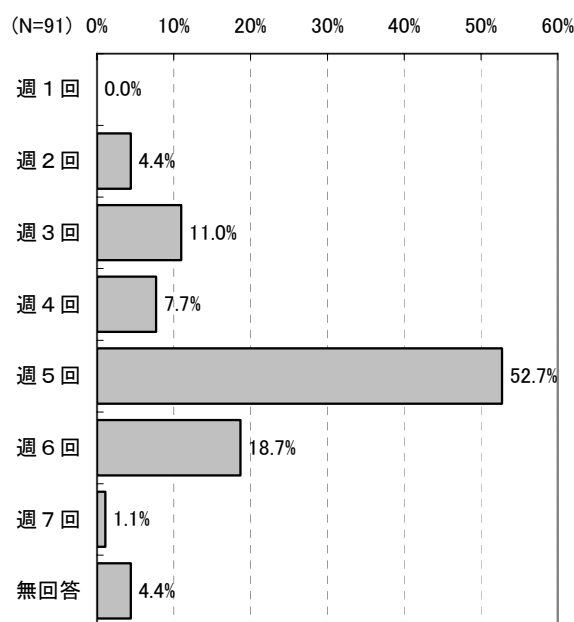
小学校入学以降の放課後の過ごし方として放課後児童クラブの利用意向については、「利用したい」が51.1%と半数を超えており、「利用予定はない」(44.9%)を6.2ポイント上回る結果となっている。

また、利用したいと回答した人の放課後児童クラブの1週あたりの利用希望日数については、「週5回」が52.7%と半数を超え最も多くなっており、次いで「週6回」(18.7%)の順となっている。

【問 17 小学校入学以降の放課後児童クラブの利用意向】



【問 17 小学校入学以降の放課後児童クラブの利用意向（頻度）】



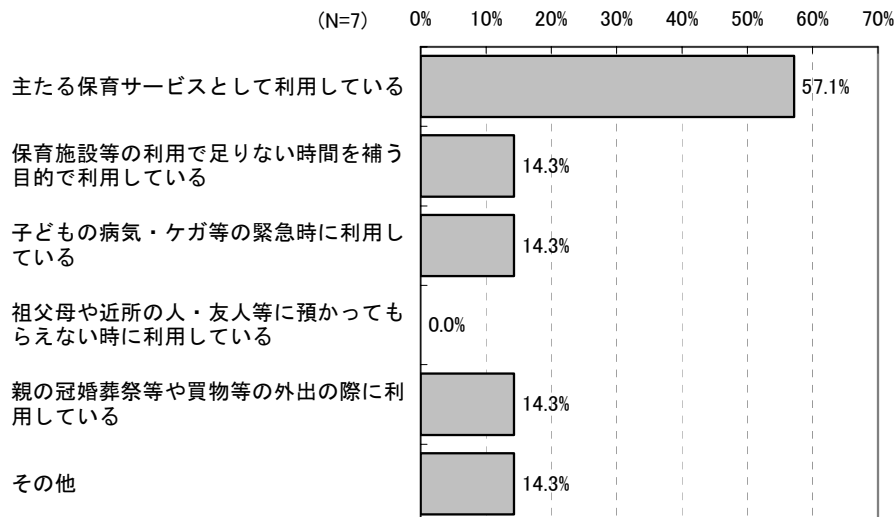
ベビーシッターを利用している人のみ

ベビーシッターの利用について

問 18 どのような目的でベビーシッターを利用していますか。 (あてはまるものすべてに○)

ベビーシッターの利用目的については、「主たる保育サービスとして利用している」が 57.1%と 6割近くを占め最も多くなっている。

【問 18 ベビーシッターの利用目的】



問 18-1 どのくらいの頻度で利用していますか。

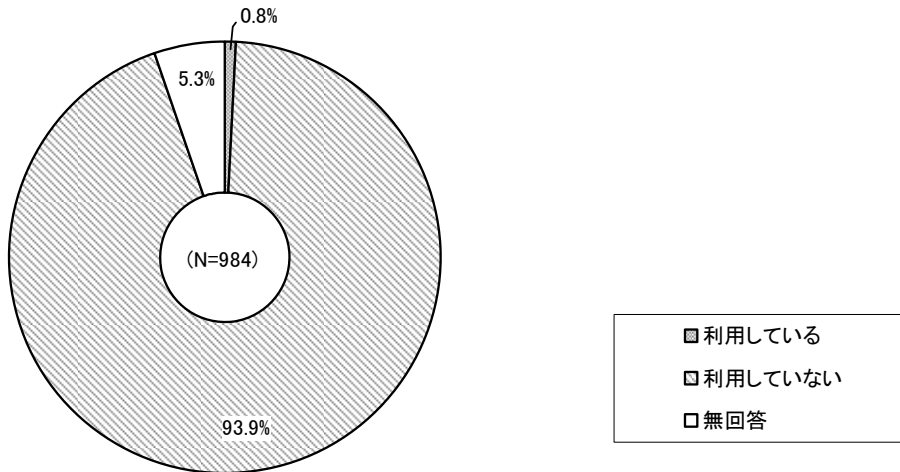
ベビーシッターの利用頻度については、4人の有効回答となっており、ひと月あたりの利用日数は2.75日、1回あたりの平均利用時間は4.50時間となっている。

ファミリー・サポート・センターの利用について

問 19 ファミリー・サポート・センターを利用していますか。 (○は1つだけ)

ファミリー・サポート・センターの利用については、「利用していない」が93.9%と大半を占め、「利用したい」はわずか0.8% (8人) となっている。

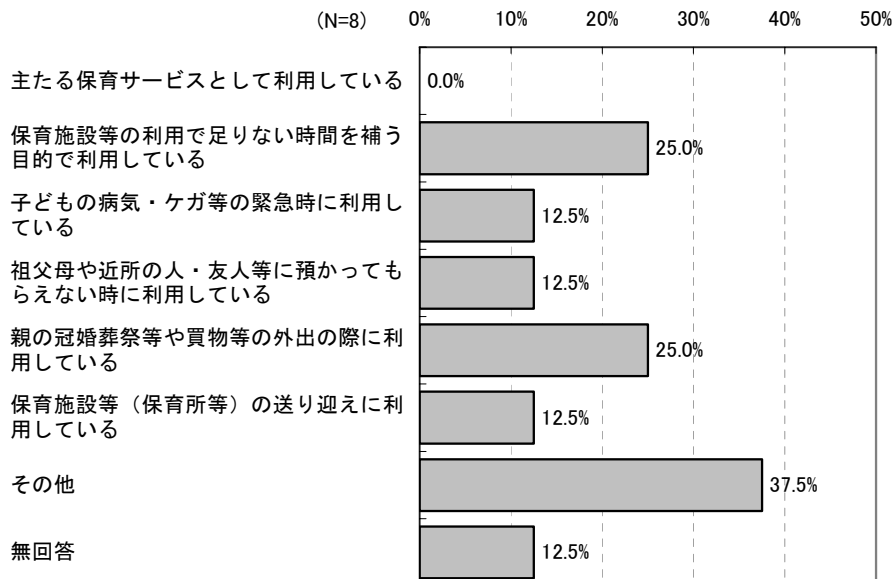
【問 19 ファミリー・サポート・センターの利用意向】



問 19-1 【問 19で「利用している」と回答した人のみ】
 どのような目的で利用していますか。 (あてはまるものすべてに○)

ファミリー・サポート・センターの利用目的については、「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している」および「親の冠婚葬祭等や買物等の外出の際に利用している」が25.0%と多くなっている。

【問 19-1 ファミリー・サポート・センターの利用目的】



問 19-2 【問 19 で「利用している」と回答した人のみ】

どのくらいの頻度で利用していますか。

ファミリー・サポート・センターの利用頻度については、有効回答は5人となっており、「月に1日」が2人と最も多く、その他「月に3日」、「月に4日」、「随時」との回答となっている。また、1回あたりの利用時間については、平均2.83時間となっている。

問 19-3 【問 19 で「利用している」と回答した人のみ】

利用日数・回数を増やしたいと思いますか。

ファミリー・サポート・センターの利用日数および回数の増加希望については、有効回答は2人となっており、月に平均2.00時間の増加希望となっている。

問 19-4 【問 19 で「利用していない」と回答した人のみ】

今は利用していないが、できれば利用したいと思いますか。

ファミリー・サポート・センターを利用していない人の利用希望については、月に平均9.42時間となっている。

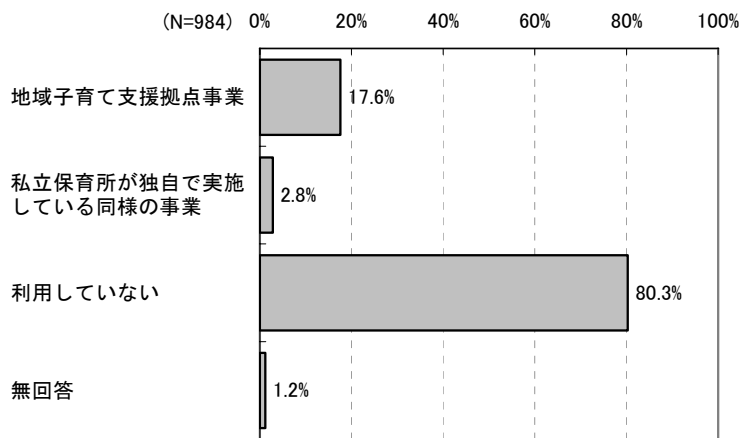
地域子育て支援拠点事業の利用について

問 20 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、つどいのひろば・子育て支援センター等と呼ばれています）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

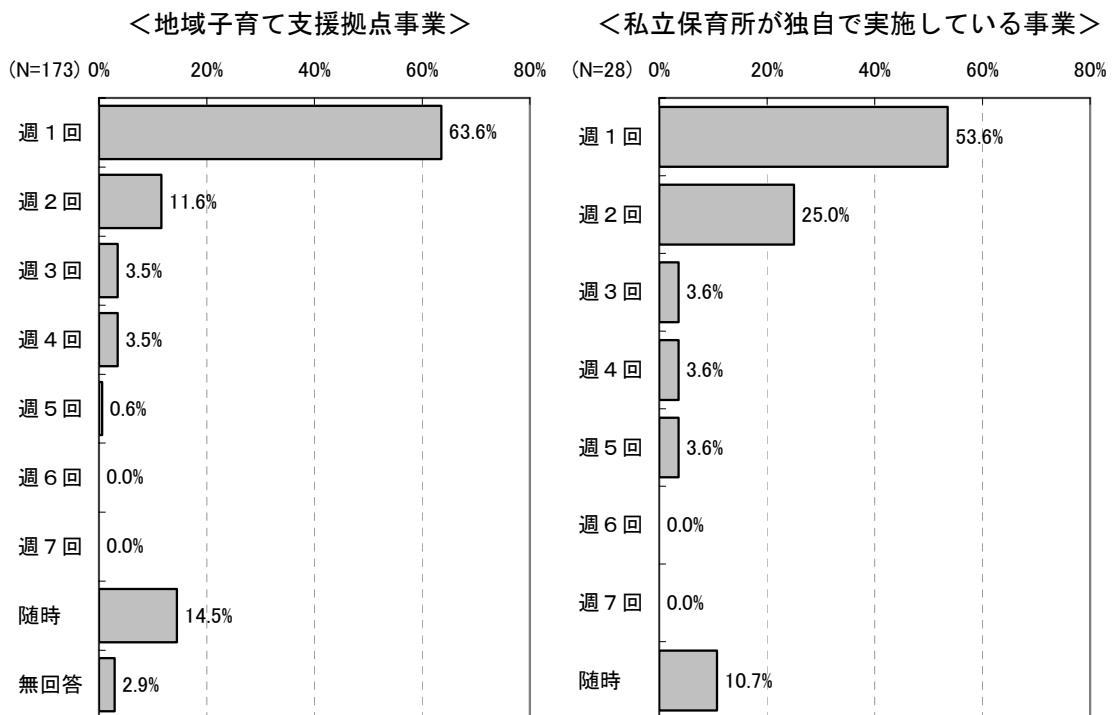
地域子育て支援拠点事業の利用については、「利用していない」が80.3%と大半を占めており、「地域子育て支援拠点事業」（17.6%）および「私立保育所が独自で実施している同様の事業」（2.8%）ともに2割未満の利用率となっている。

また、利用している人の利用頻度については、ともに「週1回」が最も多くなっている。

【問 20 地域子育て支援拠点事業の利用有無】



【問 20 地域子育て支援拠点事業の利用頻度】

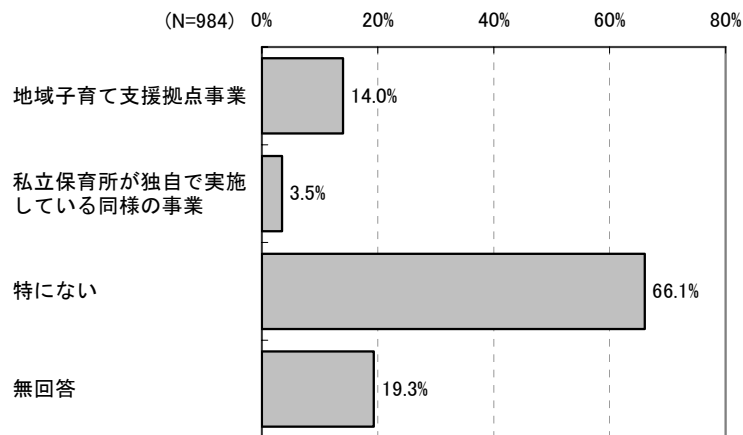


問 21 今は利用していないが今後は利用したい、あるいは、利用日数や回数を増やしたいと思いませんか。希望がある場合、週に何日くらい利用したいですか。

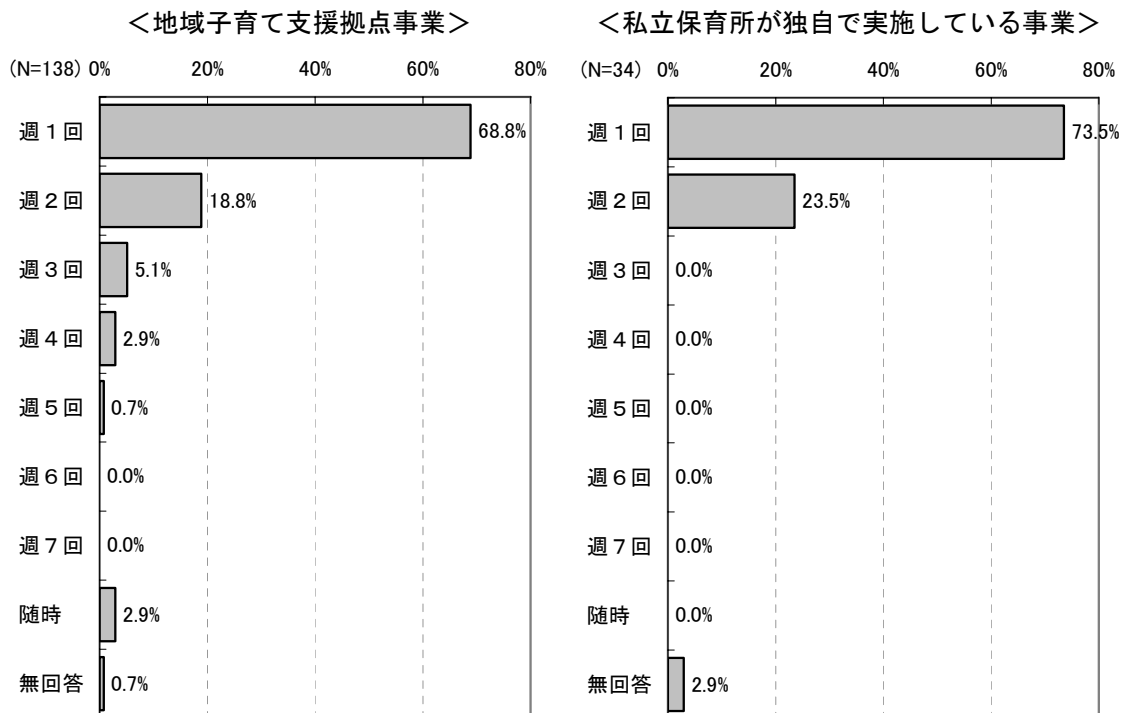
地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向については、「特にない」が 66.1%と 6 割以上を占めており、「地域子育て支援拠点事業」(14.0%) および「私立保育所が独自で実施している同様の事業」(3.5%) とともに 1 割程度の利用意向となっている。

また、希望する人の希望頻度については、ともに「週 1 回」が最も多くなっている。

【問 21 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向】



【問 21 地域子育て支援拠点事業の希望利用頻度】



問 21-1 【問 20 で「利用していない」と回答した人のみ】

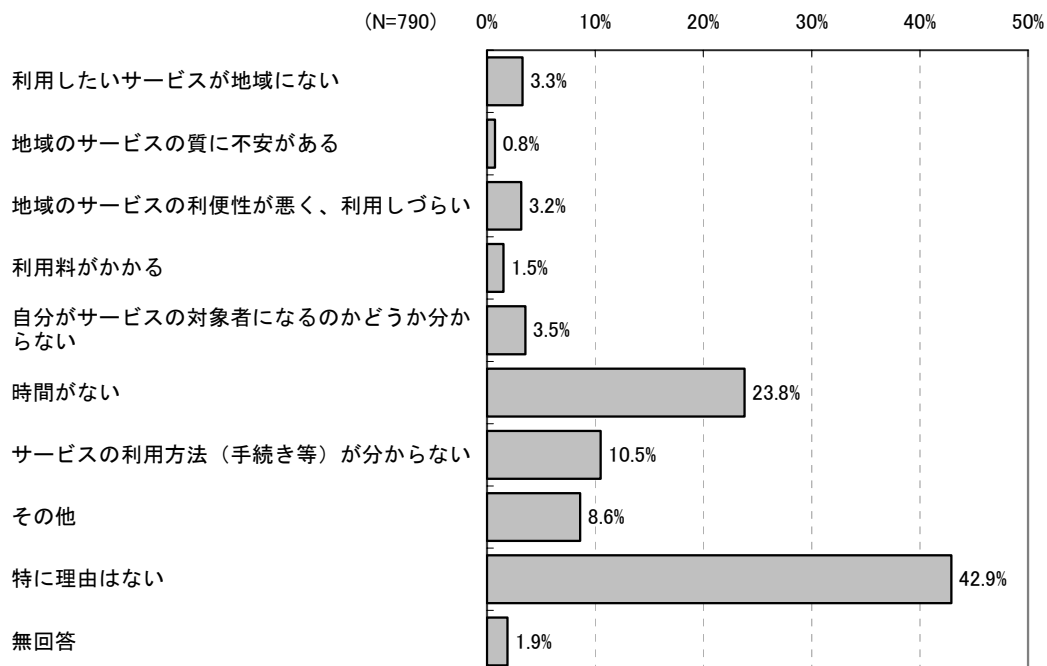
利用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

地域子育て支援拠点事業を利用していない理由については、「特に理由はない」が 42.9%と最も多くなっている。

具体的な理由については、「時間がない」が 23.8%と 2 割以上を占め最も多く、次いで「サービスの利用方法（手続き等）が分からない」（10.5%）の順となっている。

【問 21-1 地域子育て支援拠点事業を利用していない理由】



子育てサービスの認知度・利用意向について

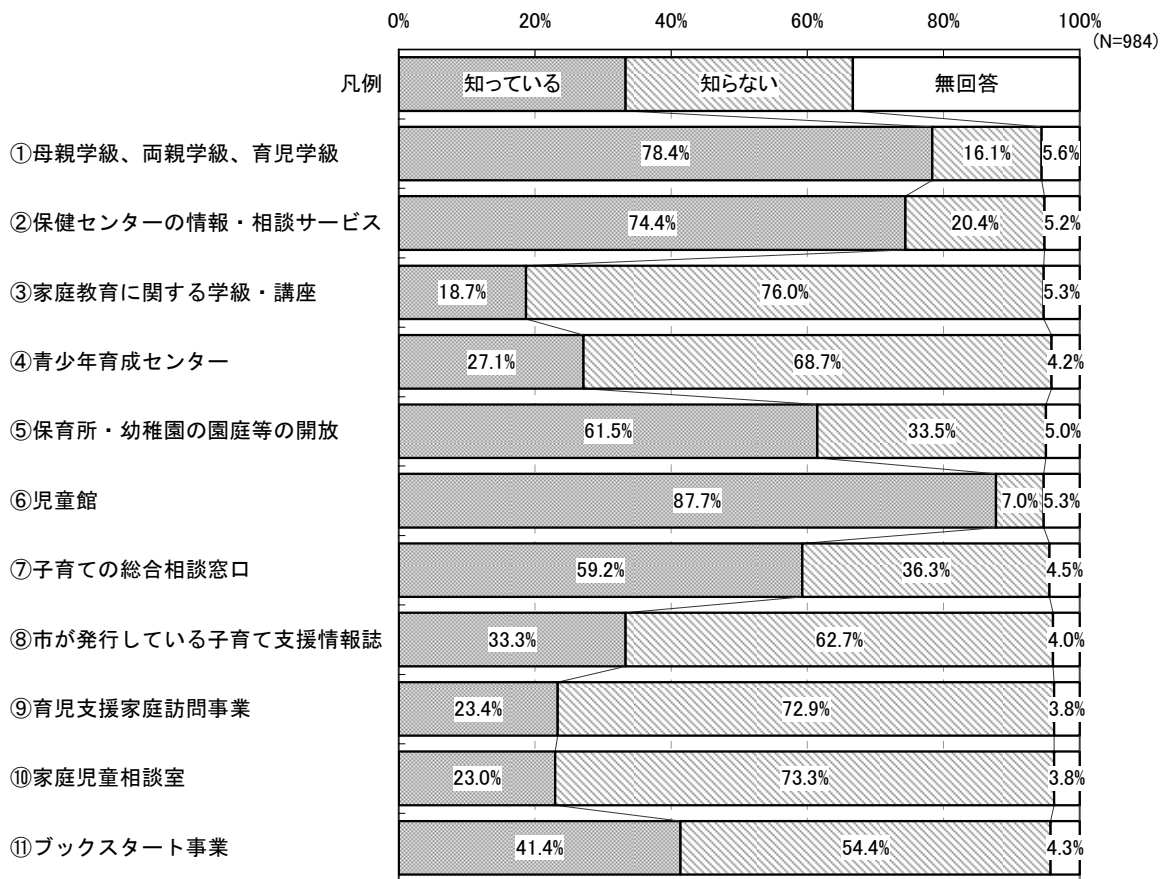
問 22 西条市で実施しているサービスについて、知っていたり、これまで利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。 (それぞれについて○は1つだけ)

(1) 認知度

西条市で実施しているサービスの認知度については、「知っている」が“児童館”で 87.7%と最も多く、“母親学級、両親学級、育児学級”においても 78.4%と8割近くを占め高い認知度となっている。次いで“保健センターの情報・相談サービス”(74.4%)、“保育所・幼稚園の園庭等の開放”(61.5%)、“子育ての総合相談窓口”(59.2%)の順となっている。

その他のサービスにおいては「知らない」が半数以上を占め、特に“家庭教育に関する学級・講座”、“青少年育成センター”、“育児支援家庭訪問事業”、“家庭児童相談室”では認知度は3割未満となっている。

【問 22 (1) 子育てサービスの認知度】

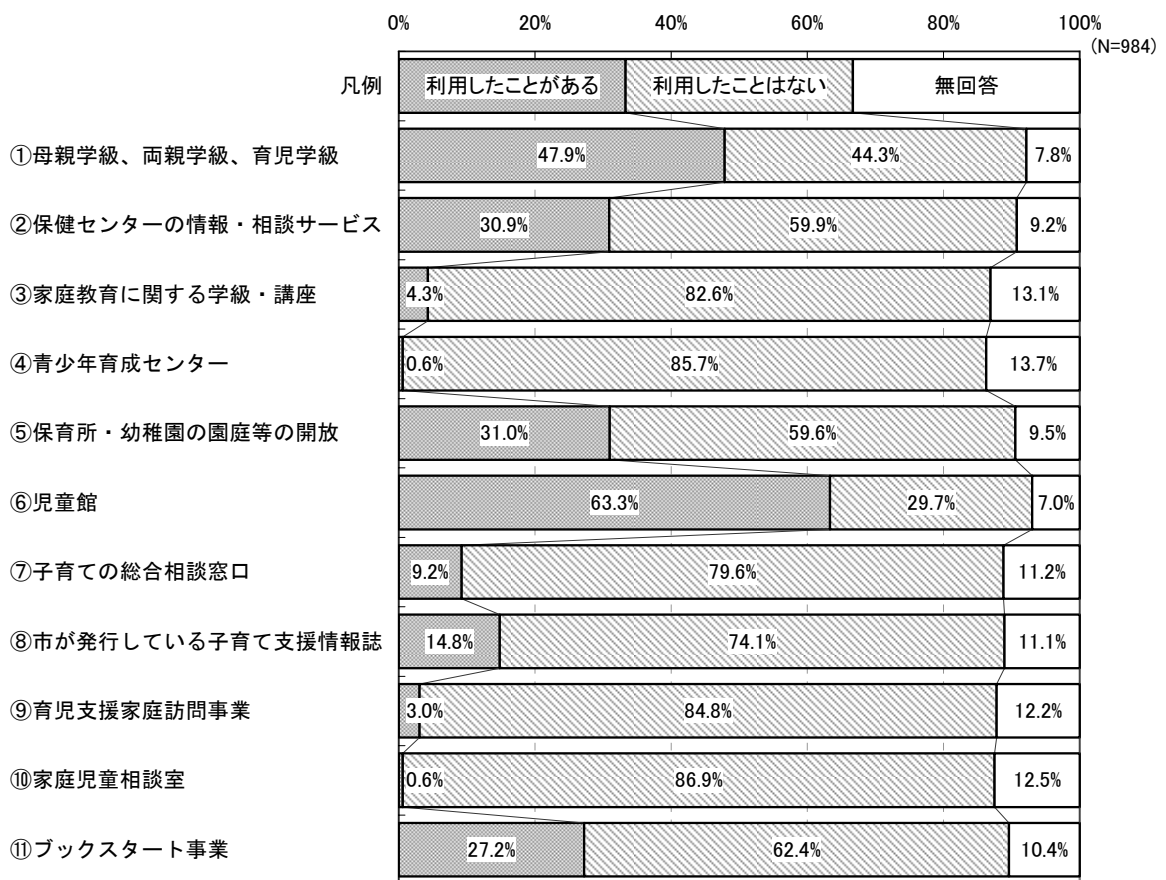


(2) 利用有無

西条市で実施しているサービスの利用有無については、「利用したことがある」が“児童館”で63.3%と6割以上を占め最も多く、“母親学級、両親学級、育児学級”においても47.9%と「利用したことはない」を上回る結果となっている。

その他の子育てサービスについては、「利用したことはない」が「利用したことがある」を上回る結果となっており、いずれも利用率は1割未満となっており、特に“家庭教育に関する学級・講座”、“青少年育成センター”、“育児支援家庭訪問事業”、“家庭児童相談室”においては極めて低い数値となっている。

【問 22 (2) 子育てサービスの利用有無】

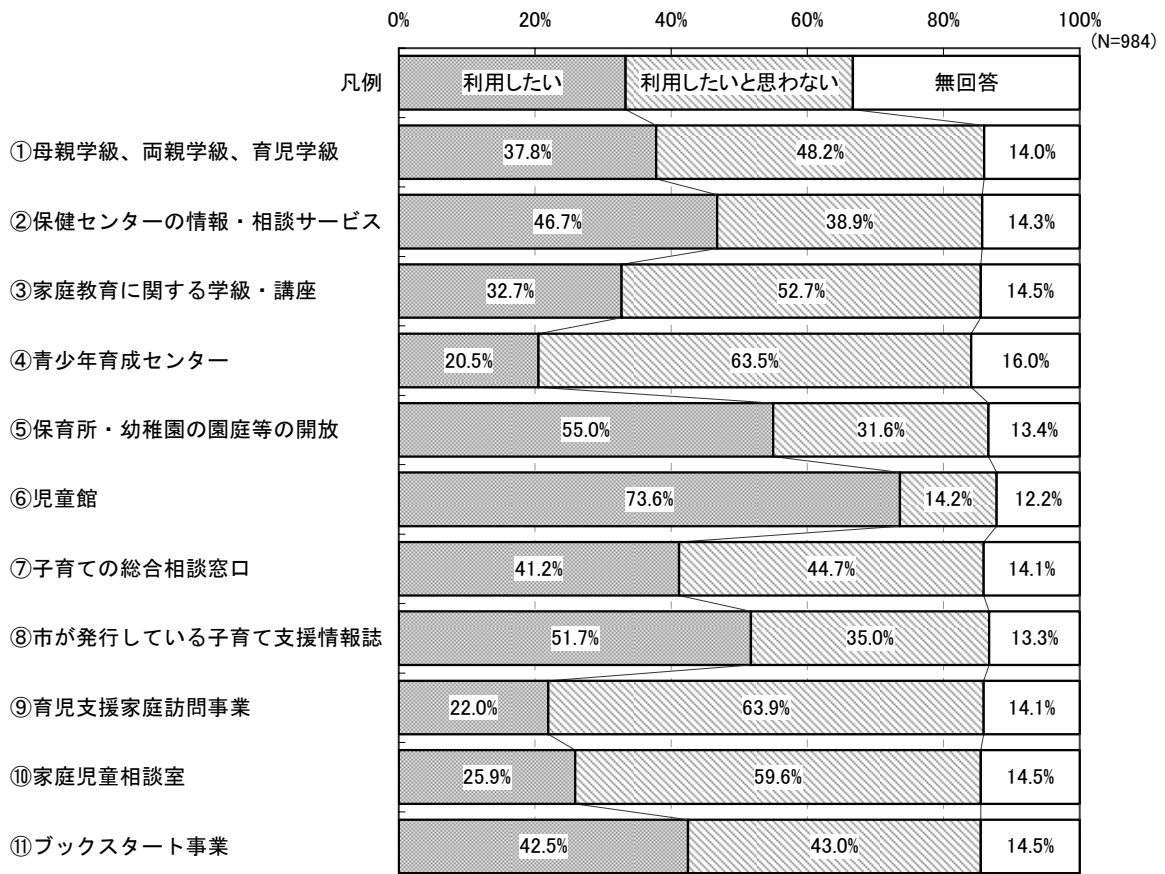


(3) 今後の利用意向

西条市で実施しているサービスの今後の利用意向については、「利用したい」が“児童館”で73.6%と7割以上を占め最も多く、次いで“保育所・幼稚園の園庭等の開放”(55.0%)、“市が発行している子育て支援情報誌”(51.7%)の順となっている。

全ての項目において2割以上の利用意向はあるものの、半数以上のサービスにおいて「利用したいと思わない」が「利用したい」を上回る結果となっている。

【問22(3) 子育てサービスの今後の利用意向】

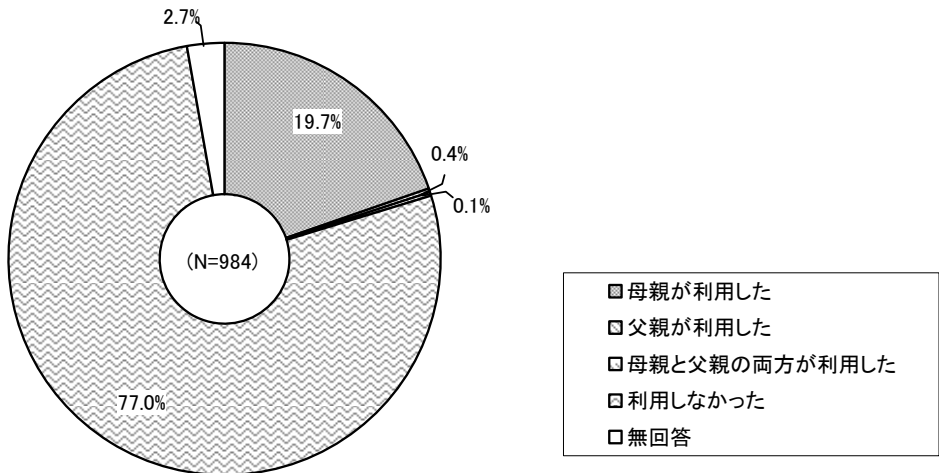


育児休業制度の利用について

問 23 お子さんについて、母親または父親が育児休業制度を利用されましたか。(○は1つだけ)

育児休業制度の利用については、「利用しなかった」が 77.0%と最も多く、8割近くを占めている。利用した人では「母親が利用した」が 19.7%となっており、父親の利用はわずか1割未満となっている。

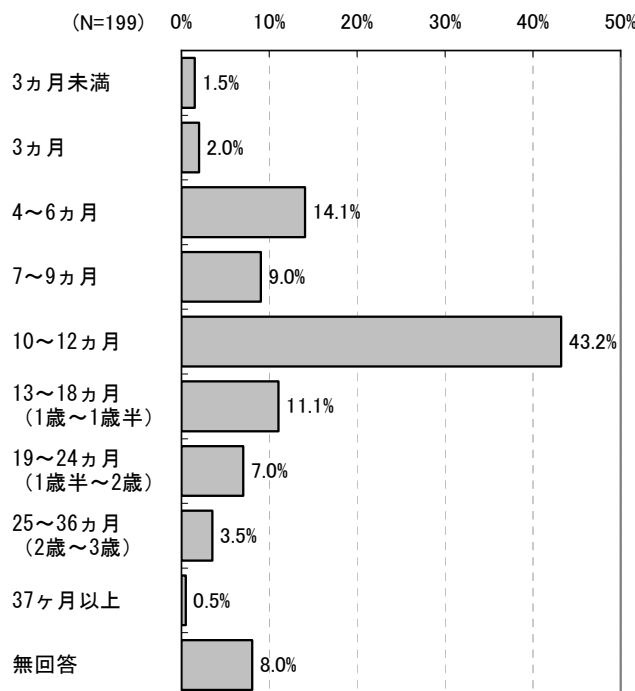
【問 23 母親または父親の育児休業制度の利用有無】



問 23-1 【問 23 で『利用した』と回答した人のみ】
育児休業から復帰したとき、お子さんの月齢は何ヵ月でしたか。

育児休業から復帰した時の子どもの月齢については、「10～12ヵ月」が 43.2%と最も多く、次いで「4～6ヵ月」(14.1%)、「13～18ヵ月（1歳～1歳半）」(11.1%)の順となっている。

【問 23-1 育児休業から復帰した時の子どもの月齢】

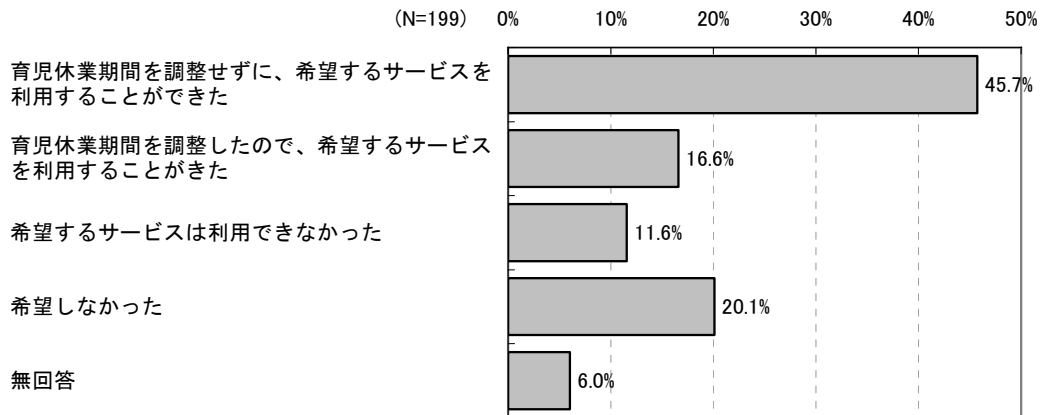


問 23-2 【問 23 で『利用した』と回答した人のみ】

育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐに利用できましたか。（○は1つだけ）

育児休業明けの希望する保育サービスの利用については、「育児休業制度を調整せずに、希望するサービスを利用することができた」が 45.7%と4割以上を占めて最も多くなっており、「育児休業制度を調整したので、希望するサービスを利用することができた」(16.6%)と合わせると6割以上の人が育児休業明けに希望する保育サービスが利用できたという結果となっている。

【問 23-2 育児休業明けの、希望する保育サービスの利用】

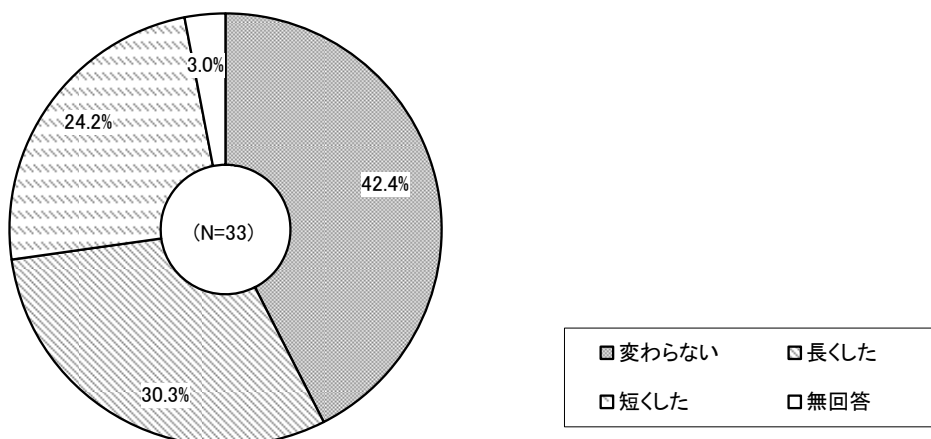


問 23-3 【問 23-2 で「育児休業期間を調整したので、希望するサービスを利用することができた」と回答した人のみ】

育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できるとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりますか。（○は1つだけ）

希望保育サービスが確実に利用できた場合の育児休業取得期間の変更については、「変わらない」が 42.4%と4割以上を占め最も多くなっているものの、「長くした」(30.3%)と「短くした」(24.2%)と合わせると半数以上の人々が、育児休業の期間を変更していたとの回答となっている。

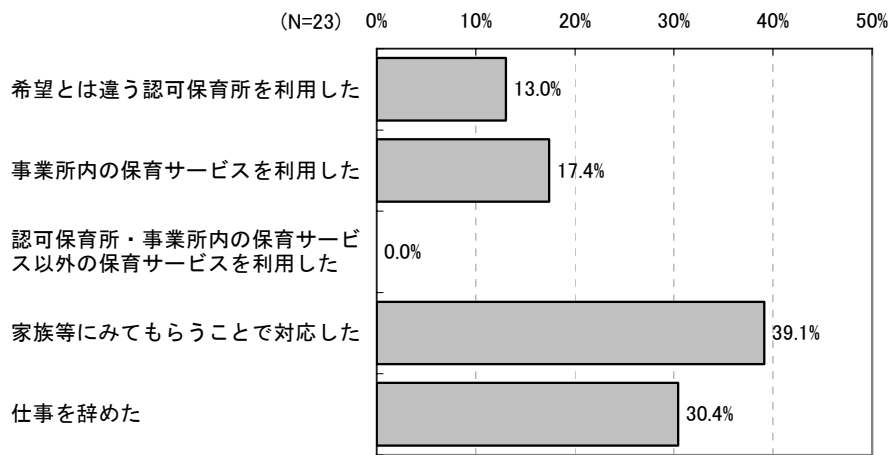
【問 23-3 希望保育サービスが確実に利用できた場合の育児休業期間の変更】



問 23-4 【問 23-2で「希望するサービスは利用できなかった」と回答した人のみ】
どのように対応されましたか。 (〇は1つだけ)

育児休業明けに希望するサービスは利用できなかったと回答した人の対応については、「家族等にみてもらうことで対応した」が 39.1%と最も多くなっているものの、次いで「仕事を辞めた」が 30.4%となっており、希望するサービスが利用できなかったことを理由に離職した人が約3割を占める結果となっている。

【問 23-4 育児休業明けにサービスを利用できなかった人の対応】



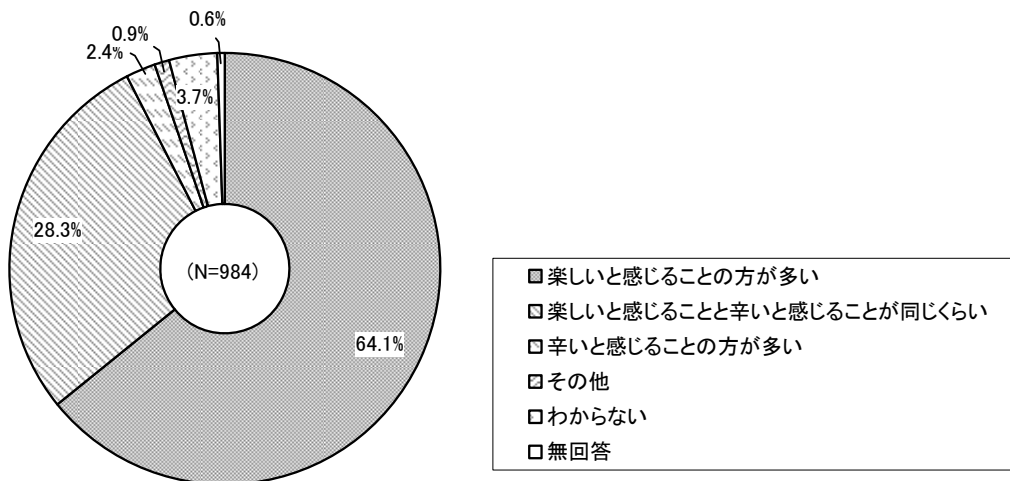
子育て全般について

問 24 子育てについてどのように感じていますか。

(○は1つだけ)

子育てについては、「楽しいと感じることの方が多い」が 64.1%と6割以上を占め最も多くなっているものの、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」(28.3%)と「辛いと感じることの方が多い」(2.4%)を合わせると、3割以上の人の子育てを辛いと感じることがあるという結果となっている。

【問 24 子育てについて】

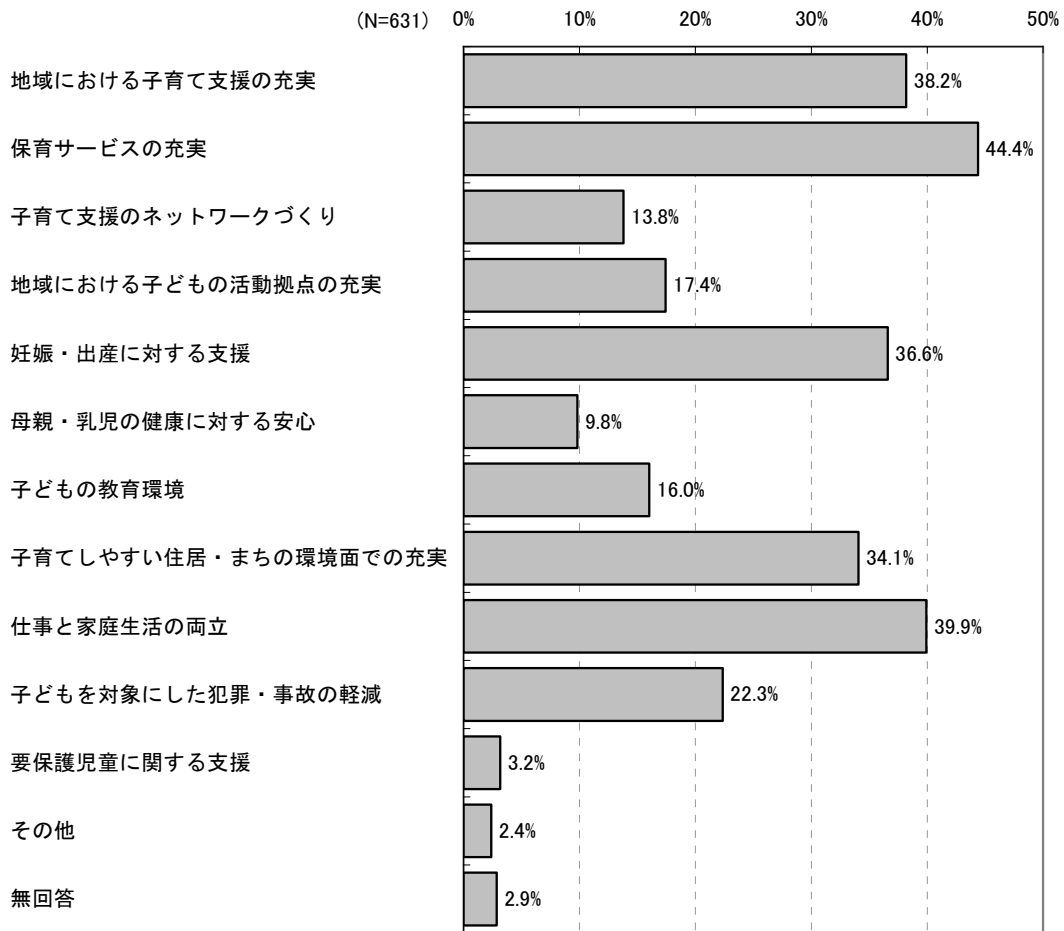


問 24-1 【問 24 で「楽しいと感じることの方が多い」と回答した人のみ】

子育てををする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。 (〇3つまで)

子育てを楽しいと感じることの方が多い人の、子育てをする上で有効だと思う支援・施策については、「保育サービスの充実」が 44.4%と4割以上と最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立」(39.9%)、「地域における子育て支援の充実」(38.2%)、「妊娠・出産に対する支援」(36.6%)、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(34.1%)の順となっている。

【問 24-1 子育てをする上で有効だと思う支援・対策】

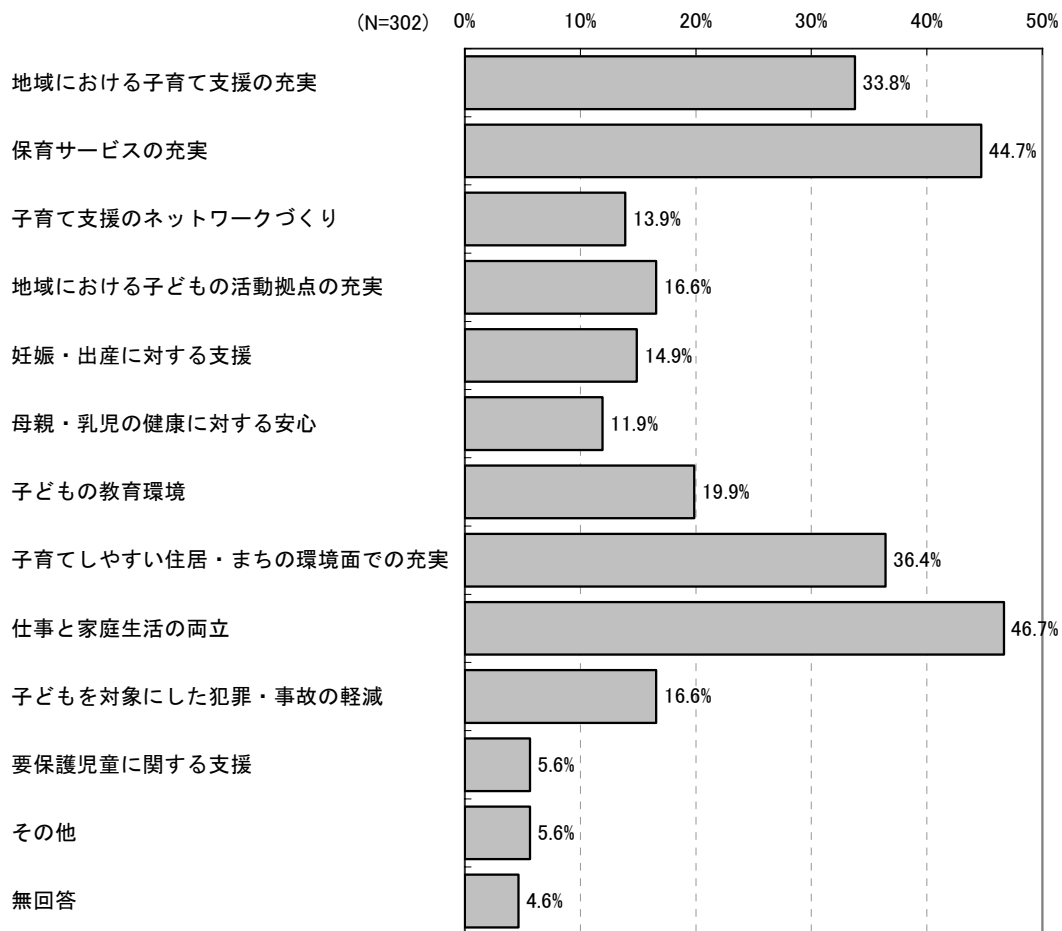


問 24-2 【問 24 で『辛いと感じることがある』と回答した人のみ】

自分にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは何ですか。 (〇3つまで)

子育てを辛いと感じることのある人の、子育ての辛さを解消するために必要だと思う支援・施策については、「仕事と家庭生活の両立」が46.7%と最も多く、次いで「保育サービスの充実」(44.7%)、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(36.4%)、「地域における子育て支援の充実」(33.8%)の順となっている。

【問 24-2 子育ての辛さを解消するために必要な支援・対策】

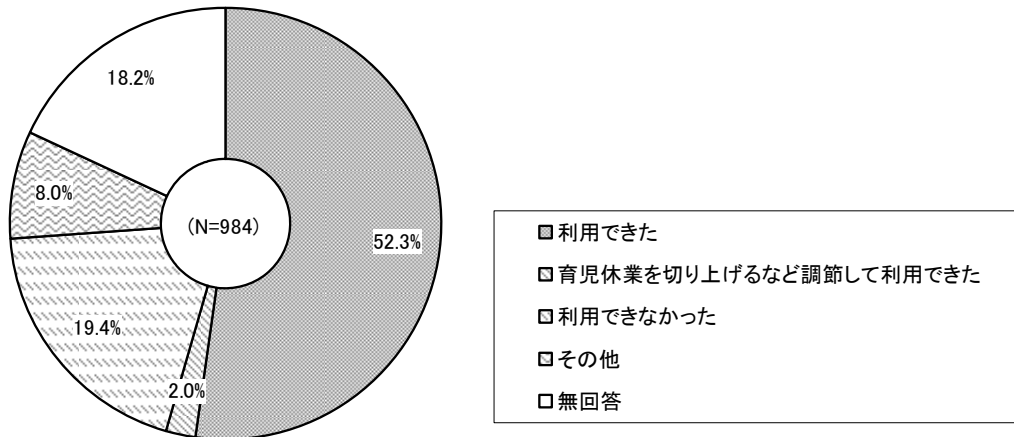


問 25 希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができましたか。(○は1つだけ)

希望した時期の希望した保育サービスの利用状況については、「利用できた」が 52.3%と半数以上を占め、最も多くなっている。

一方で、「利用できなかった」が 19.4%と次いで多くなっており、約2割の人が希望した時期に希望した保育サービスが利用できなかったという結果となっている。

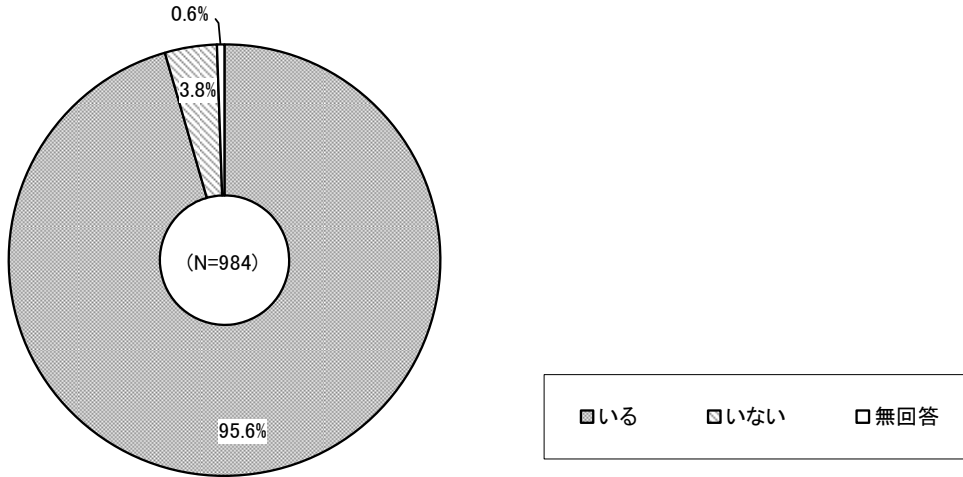
【問 25 希望した時期の希望した保育サービスの利用状況】



問 26 子育てについて、気軽に相談できる人（近所の人・友人）がいますか。（○は1つだけ）

子育てについて気軽に相談できる人については、「いる」が95.6%と大半を占めている。

【問 26 子育てについて相談できる人の有無】



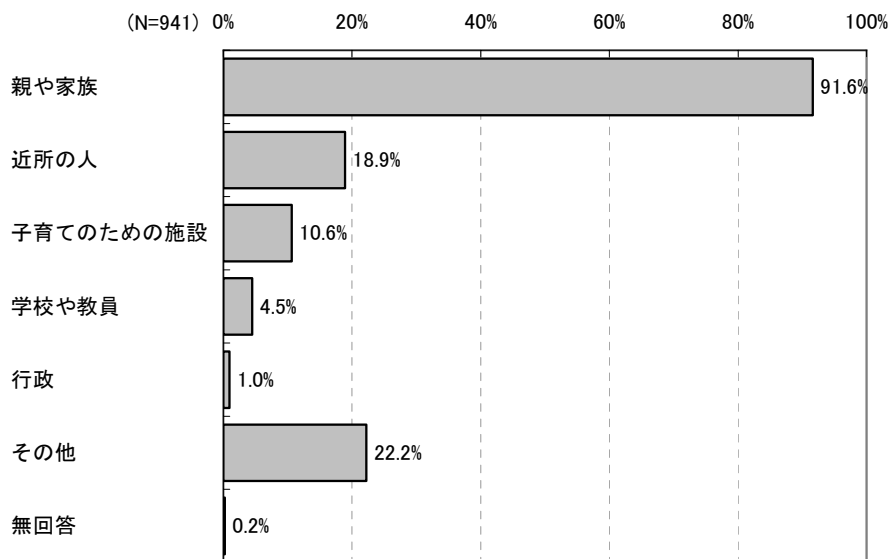
問 26-1 【問 26 で「いる」と回答した人のみ】

だれに相談していますか。

（あてはまるものすべてに○）

子育てについて気軽に相談できる人がいると回答した人の相談相手については、「親や家族」が91.6%と大半を占め最も多く、次いで「近所の人」（18.9%）、「子育てのための施設」（10.6%）となっており、身近な人への相談が多く、公的機関への相談は少ない結果となっている。

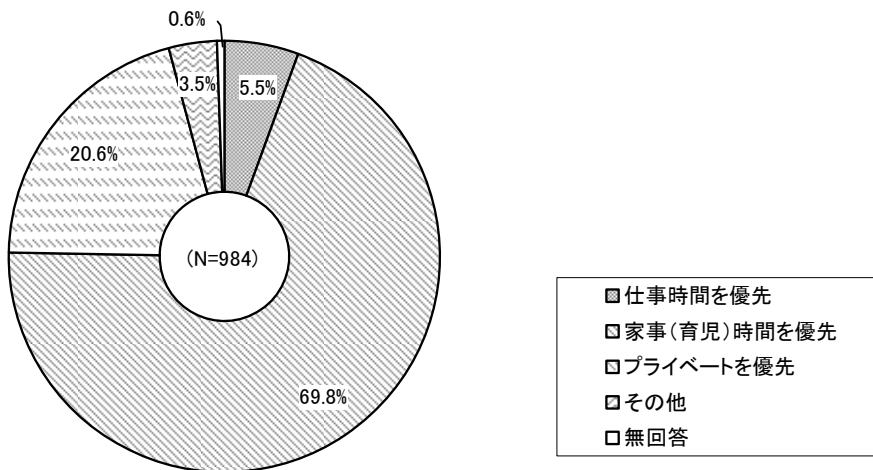
【問 26-1 子育てについての相談相手】



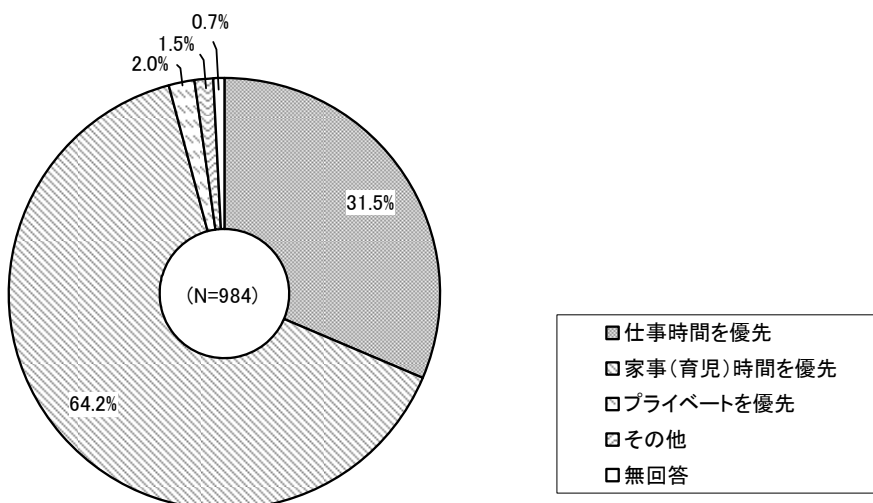
問 27 生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度について、『希望』と『現実』それぞれについて、お答えください。（それぞれ〇は1つだけ）

生活の中での優先度について、希望では「家事（育児）時間を優先」が69.8%と約7割を占め最も多く、次いで「プライベートを優先」（20.6%）となっているのに対し、現実では「家事（育児）時間を優先」が64.2%と最も多く、次いで「仕事時間を優先」（31.5%）となっており、「プライベートを優先」と回答した人はわずか2.0%となっている。

【問 27<希望> 仕事・家事（育児）・プライベートの優先度】



【問 27<現実> 仕事・家事（育児）・プライベートの優先度】



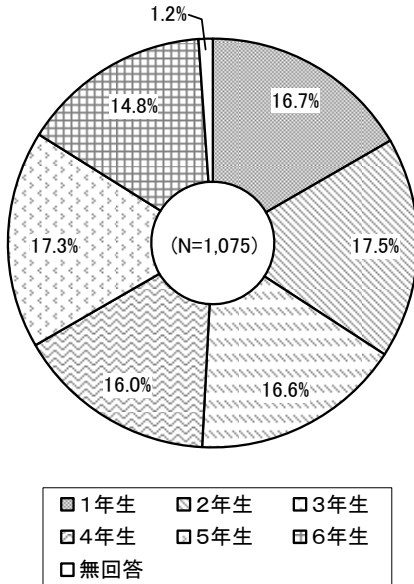
Ⅲ 調査結果

<就学児童>

子どもと家族の状況について

問1 子ども（調査対象児童）の学年

【問1 子ども（調査対象児童）の学年】



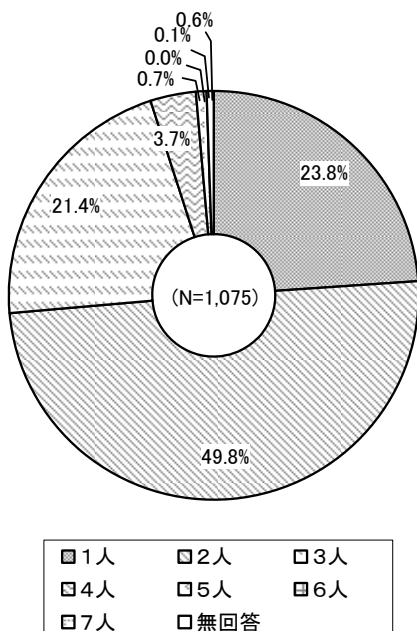
項目	回答数(人)	構成比(%)
1年生	179	16.7
2年生	188	17.5
3年生	178	16.6
4年生	172	16.0
5年生	186	17.3
6年生	159	14.8
無回答	13	1.2
計	1,075	100.0

問2 子どもの人数および一番小さい子の年齢（平成20年4月1日現在）

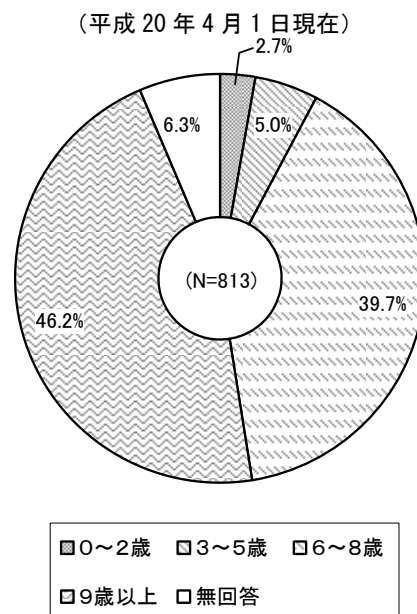
子どもの人数について、「2人」が49.8%と約半数を占め最も多く、次いで「1人」(23.8%)となっており、子どもの平均人数は2.07人となっている。

また、子どもが2人以上いる場合の一番小さい子の年齢（平成20年4月1日現在）について、「9歳以上」が46.2%と最も多く、一番小さい子の平均年齢は8.19歳となっている。

【問2 子どもの人数】



【問2 一番小さい子の年齢】



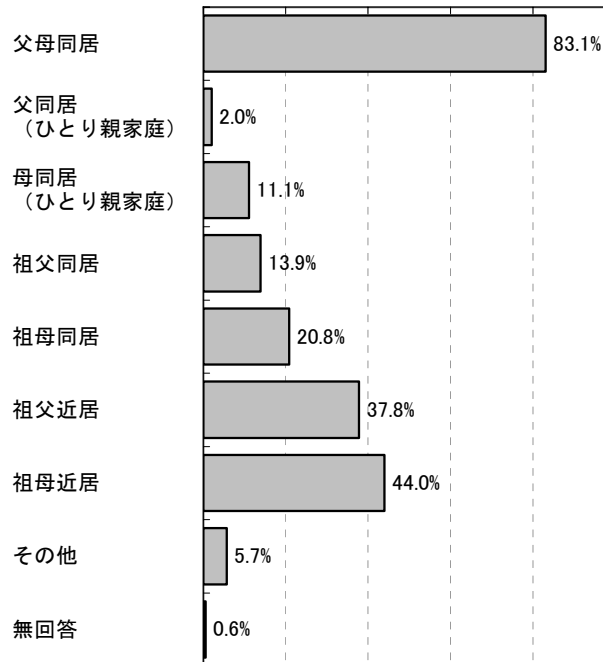
問3 同居・近居の状況

(あてはまるものすべてに○)

同居している家族については、「父母同居」が83.1%と最も多く、次いで「祖母近居」(44.4%)、「祖父近居」(37.8%)の順となっており、「祖父同居」および「祖母同居」等の回答は少なく、核家族化していることが分かる。

【問3 同居・近居の状況】

(N=1,075) 0% 20% 40% 60% 80% 100%



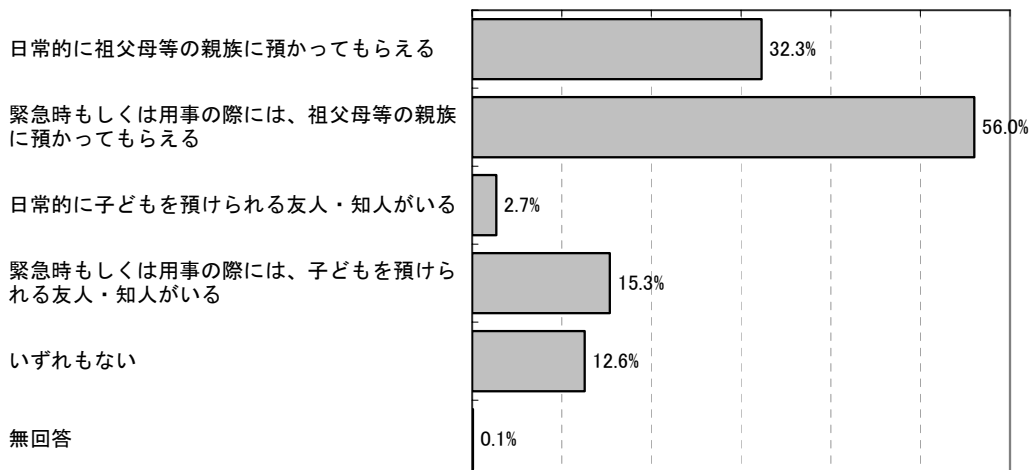
問4 日ごろ、お子さんを預かってもらえる人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

子どもを預かってもらえる人については、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が56.0%と半数を超え最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」(32.3%)となっており、祖父母等の親族に預かってもらう人が多いことが分かる。一方で、「いずれもない」と回答した人が12.6%と1割以上を占める結果となっている。

【問4 日ごろ、子どもを預かってもらえる人の有無】

(N=1,075) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%

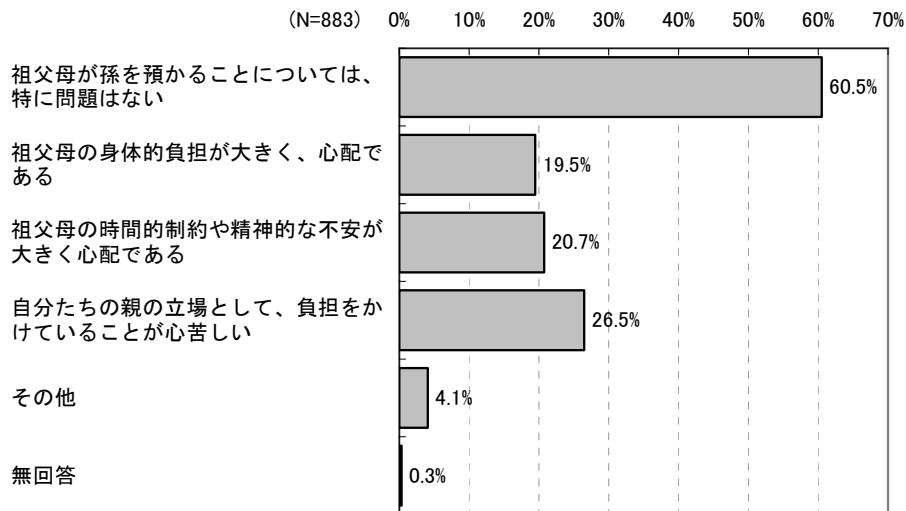


問4-1 【問4で『親族に預かってもらえる』と回答した人のみ】

祖父母等の親族に預かってもらっている状況について、あてはまることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもを祖父母等の親族に預かってもらえると回答した人の預かってもらっている状況については、「特に問題はない」が60.5%と最も多くなっているものの、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が26.5%と多くなっている。

【問4-1 祖父母等の親族に預かってもらっている状況について】

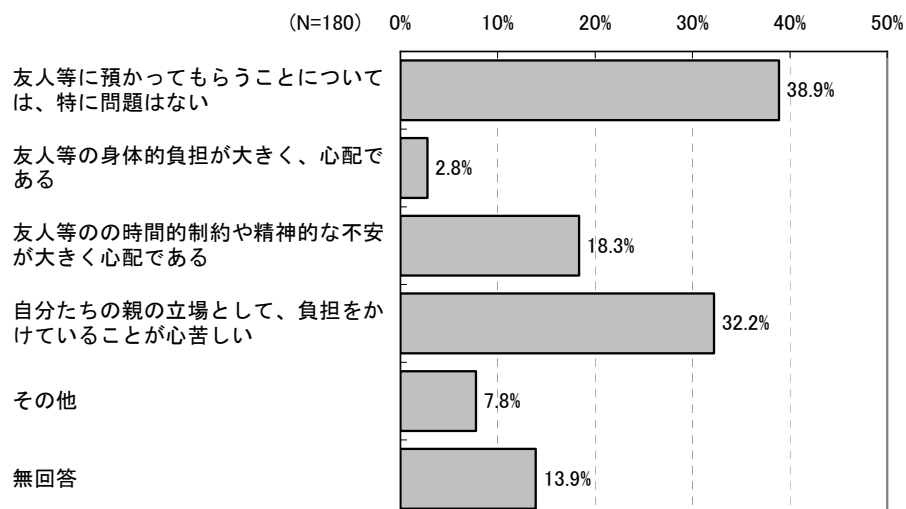


問4-2 【問4で『預けられる友人・知人がいる』と回答した人のみ】

友人や知人に預かってもらっている状況について、あてはまることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもを預けられる友人や知人がいると回答した人の預かってもらっている状況については、「特に問題はない」が38.9%と4割近くを占め最も多くなっているものの、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が32.2%と3割以上を占め多くなっている。

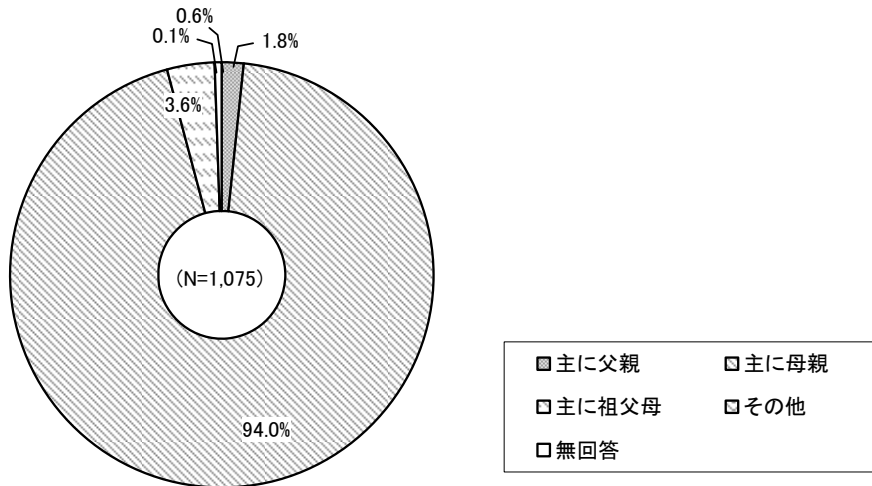
【問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について】



問5 お子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。 (○は1つだけ)

子どもの身の回りの世話を主にしている人については、「主に母親」が 94.0%と大半を占めている。

【問5 子ども身の回りの世話を主にしている人】

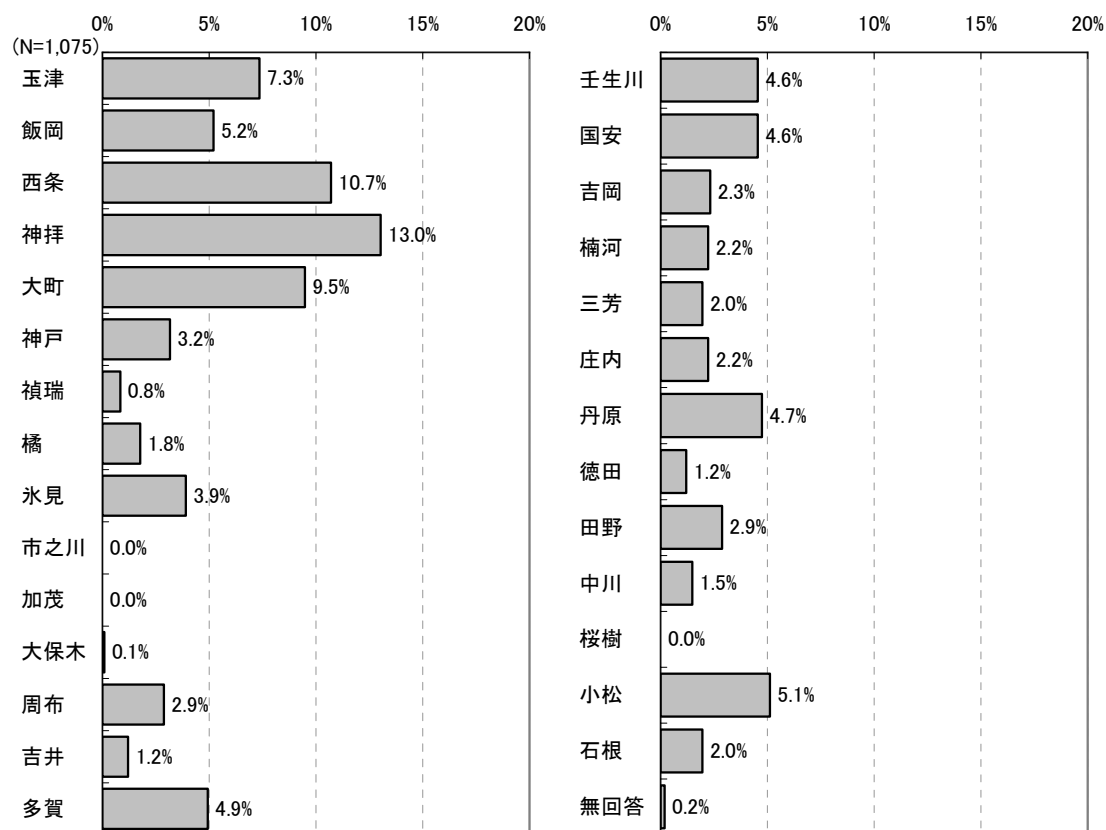


問6 お住まいの地区はどちらですか。

(○は1つだけ)

住まいの地区については、「神拝」が13.0%と最も多く、次いで「西条」(10.7%)、「大町」(9.5%)、「玉津」(7.3%)となっている。

【問5 住まいの地区】



項目	回答数(人)	構成比 (%)	項目	回答数(人)	構成比 (%)
玉津	79	7.3	壬生川	49	4.6
飯岡	56	5.2	国安	49	4.6
西条	115	10.7	吉岡	25	2.3
神拝	140	13.0	楠河	24	2.2
大町	102	9.5	三芳	21	2.0
神戸	34	3.2	庄内	24	2.2
禎瑞	9	0.8	丹原	51	4.7
橘	19	1.8	徳田	13	1.2
氷見	42	3.9	田野	31	2.9
市之川	0	0.0	中川	16	1.5
加茂	0	0.0	桜樹	0	0.0
大保木	1	0.1	小松	55	5.1
周布	31	2.9	石根	21	2.0
吉井	13	1.2	無回答	2	0.2
多賀	53	4.9	計	1,075	100.0

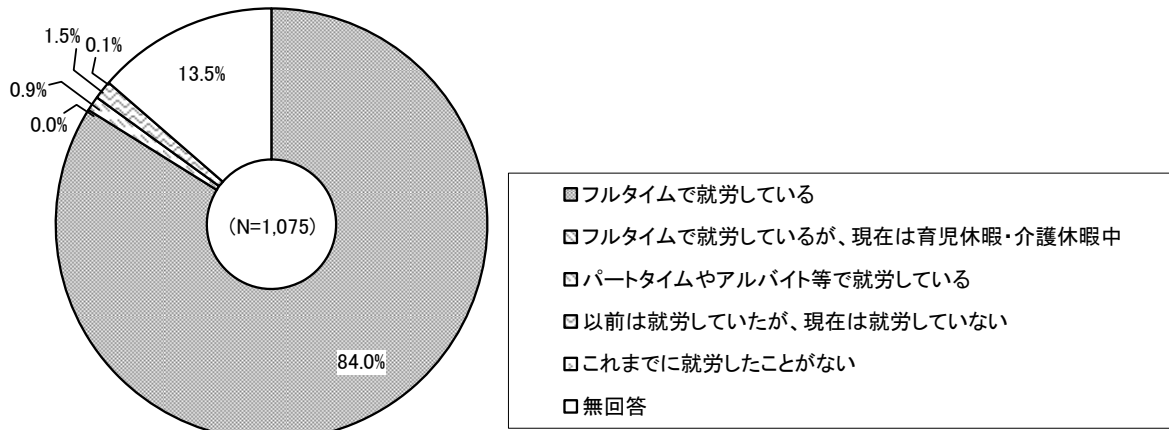
保護者の就労状況について

問7 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

（1）父親の就労状況

父親の就労状況については、「フルタイムで就労している」が84.0%と大半を占めている。

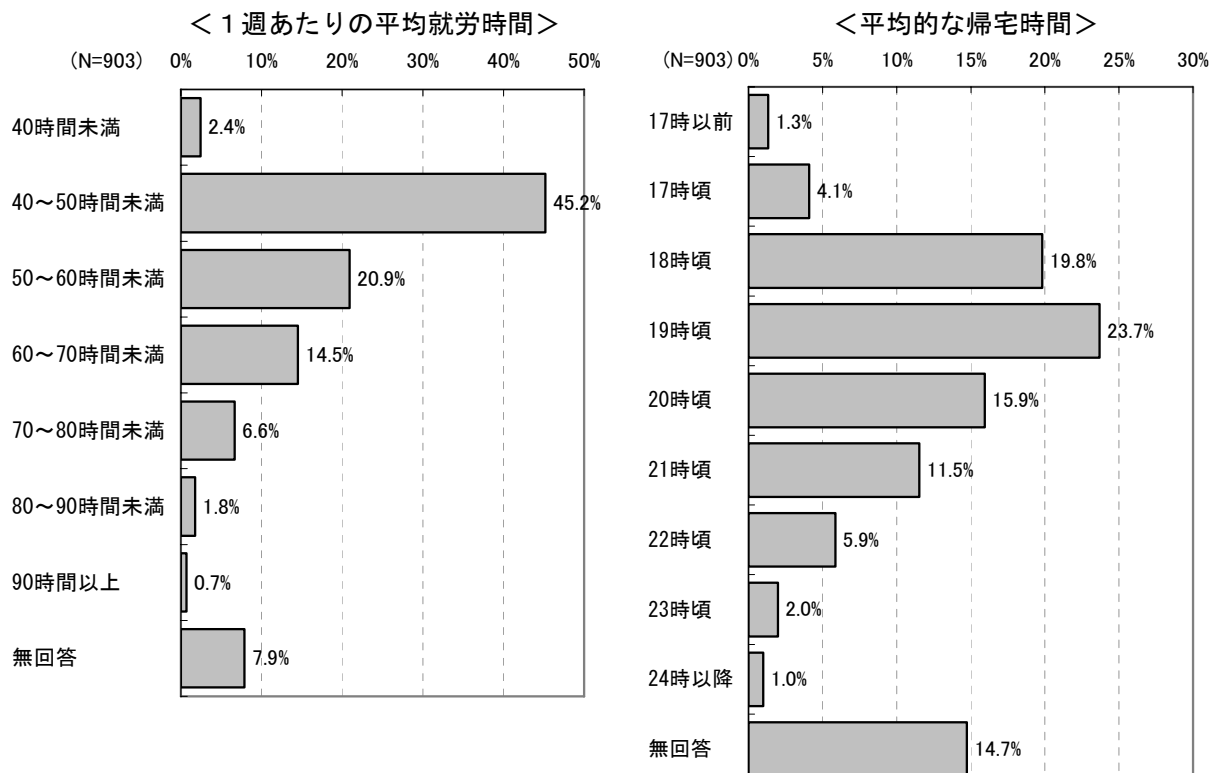
【問7（1） 父親の就労状況】



① フルタイム就労者の就労状況

フルタイムで就労している父親の、1週あたりの就労時間については、「40～50 時間未満」が45.2%と最も多く、次いで「50～60 時間未満」(20.9%)となっており、平均就労時間は 51.17 時間となっている。また、帰宅時間については、「19 時頃」が23.7%と最も多く、18～20 時頃との回答が約6割を占めており、平均帰宅時間は 19.30 時となっている。

【問7（1）① フルタイム就労者の就労状況】

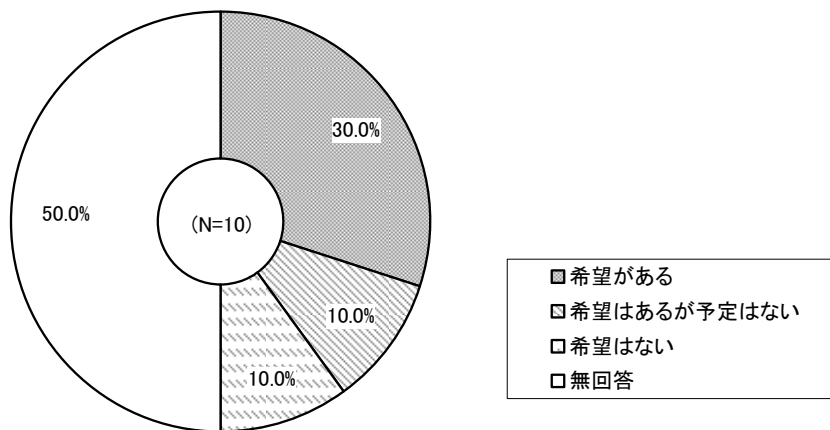


② パートタイム・アルバイト就労者の就労状況

パートタイム・アルバイトで就労しているとの回答があったのは10人となっており、1週あたりの就労日数については、「週5日」が6人と最も多く、次いで「週6日」(2人)との回答となっており、平均就労日数は週4.60日となっている。また、1日あたりの勤務時間については、「8時間」が6人と最も多く、平均就労時間は7.44時間となっている。

フルタイムへの転換希望については、「希望がある」が30.0%と3割を占め最も多く、「希望はあるが予定はない」(10.0%)と合わせると、パートタイム・アルバイトで就労している父親の4割がフルタイムへの転換を希望しているという結果となっている。

【問7(1)② パートタイム・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望】

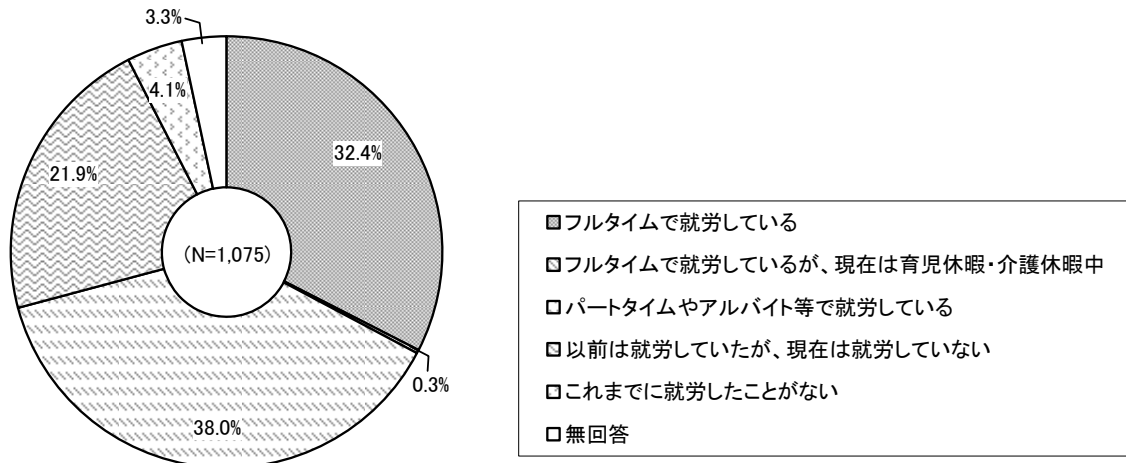


(2) 母親の就労状況

母親の就労状況については、「パートタイムやアルバイト等で就労している」が38.0%と4割近くを占め、「フルタイムで就労している」(32.4%)と合わせると、現在就労している人は約7割となっている。

一方で、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が21.9%と次いで多くなっている。

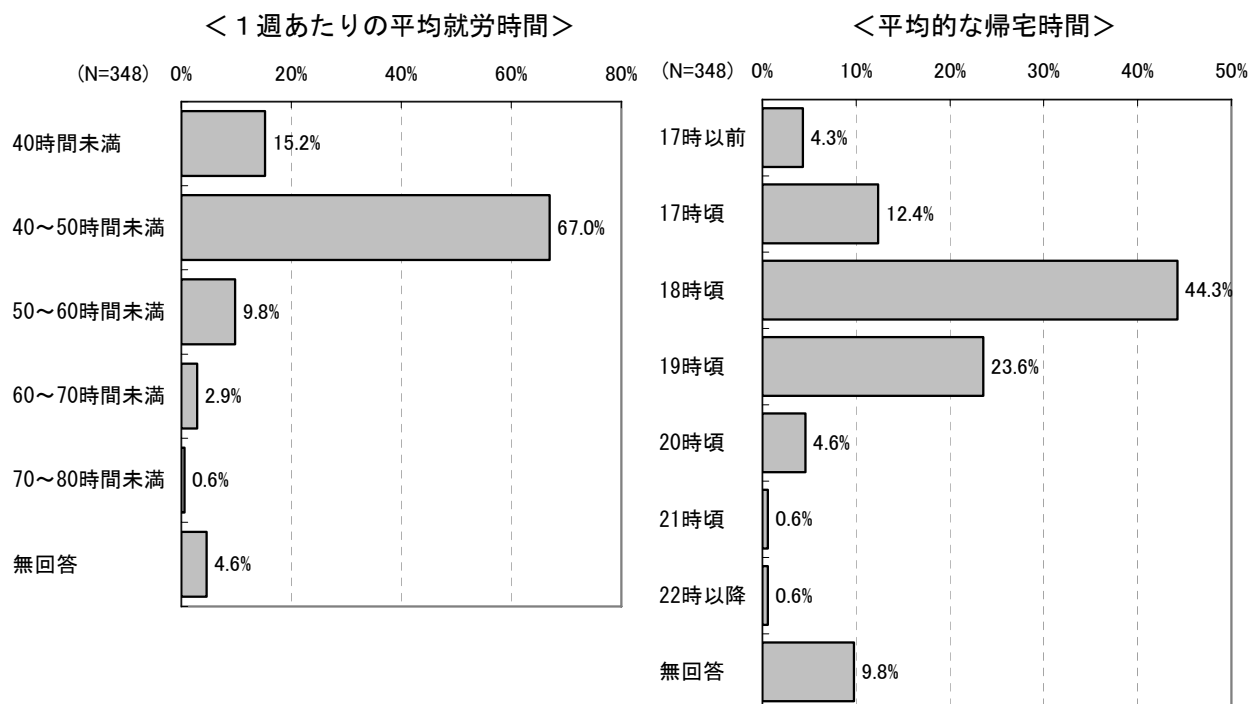
【問7(2) 母親の就労状況】



① フルタイム就労者の就労状況

フルタイムで就労している母親の、1週あたりの就労時間については、「40～50 時間未満」が67.0%と大半を占めており、平均就労時間は42.22 時間となっている。また、帰宅時間については、「18 時頃」が44.3%と最も多く、次いで「19 時頃」(23.6%)となっており、平均帰宅時間は18.09 時となっている。

【問7(2)① フルタイム就労者の就労状況】

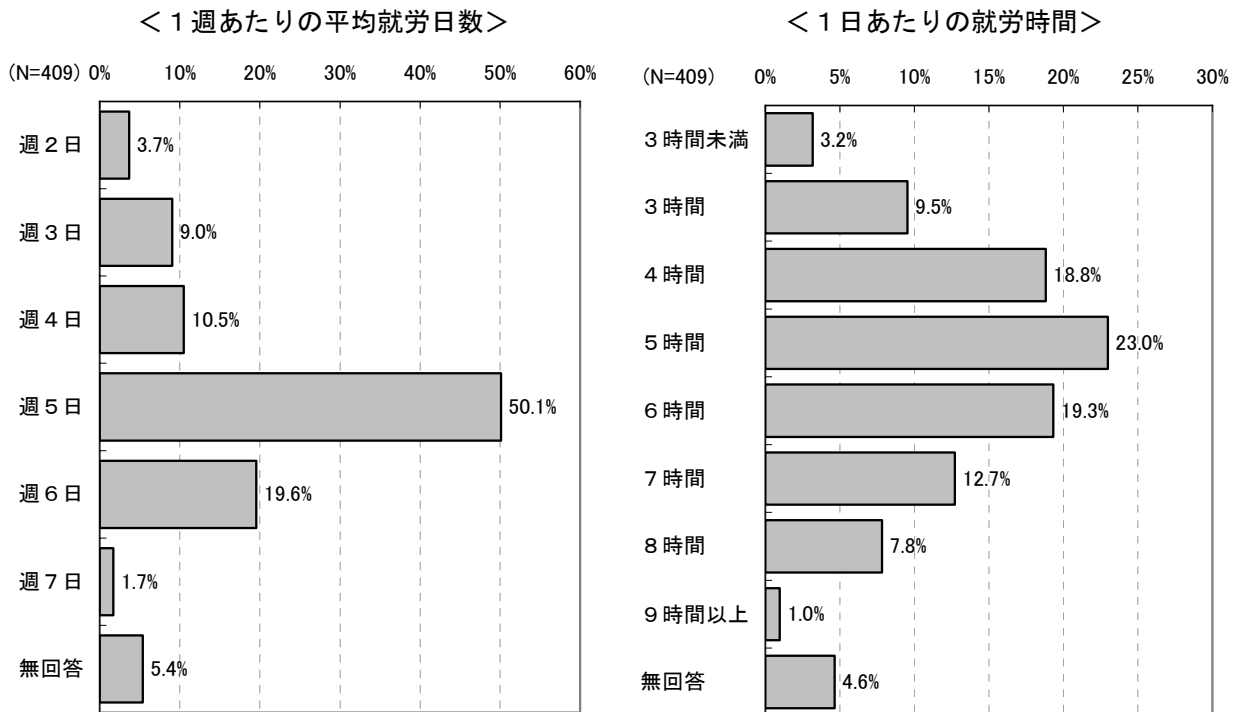


② パートタイム・アルバイト就労者の就労状況

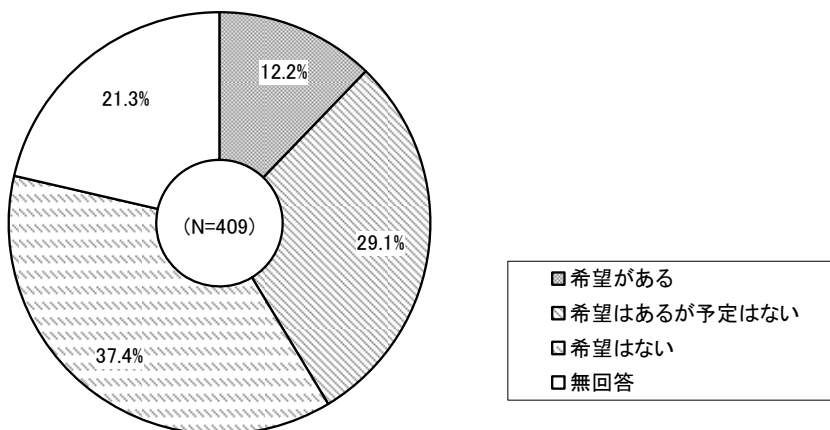
パートタイム・アルバイトで就労している母親の、1週あたりの就労日数については、「週5日」が50.1%と最も多く、次いで「週6日」(19.6%)となっており、平均就労日数は週4.82日となっている。また、1日あたりの勤務時間については、「5時間」が23.0%と最も多く、次いで「6時間」(19.3%)となっており、平均就労時間は5.27時間となっている。

フルタイムへの転換希望については、「希望はない」が37.4%と4割近くを占め最も多くなっているものの、「希望がある」(12.2%)と「希望はあるが予定はない」(29.1%)を合わせると、パートタイム・アルバイト就労の母親の4割以上がフルタイムへの転換を希望しているとの結果となっている。

【問7(2)② パートタイム・アルバイト就労者の就労状況】



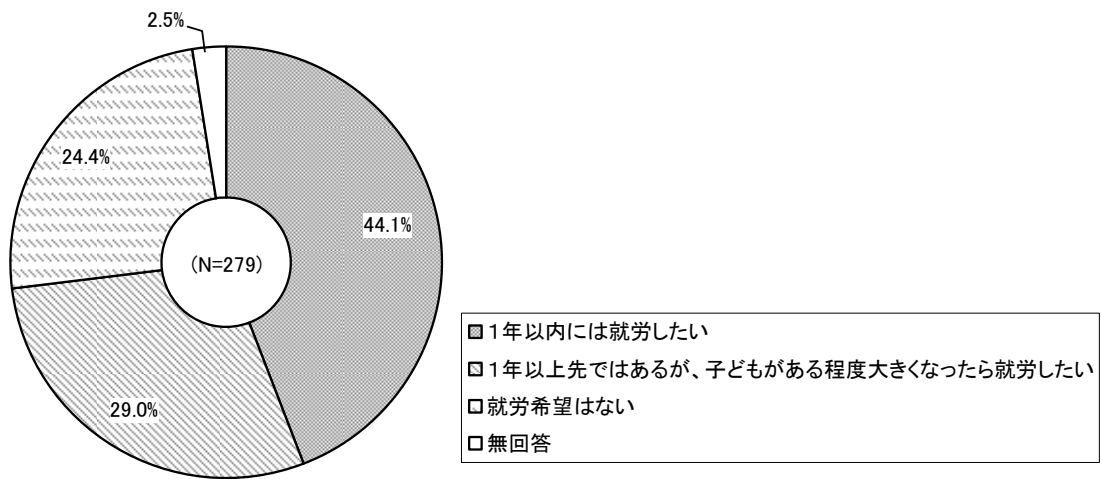
【問7(2)② パートタイム・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望】



問8 【問7(2)で「現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」と回答した人のみ】
 今後の就労希望はありますか。 (○は1つだけ)

以前は就労していたが現在は就労していない、またはこれまでに就労したことがない母親の今後の就労希望については、「1年以内には就労したい」が44.1%と4割以上を占めており、「1年以上先ではあるが、子どもがある程度大きくなったら就労したい」(29.0%)と合わせると、7割以上の人が就労を希望しているという結果となっている。

【問8 現在働いていない母親の今後の就労希望】



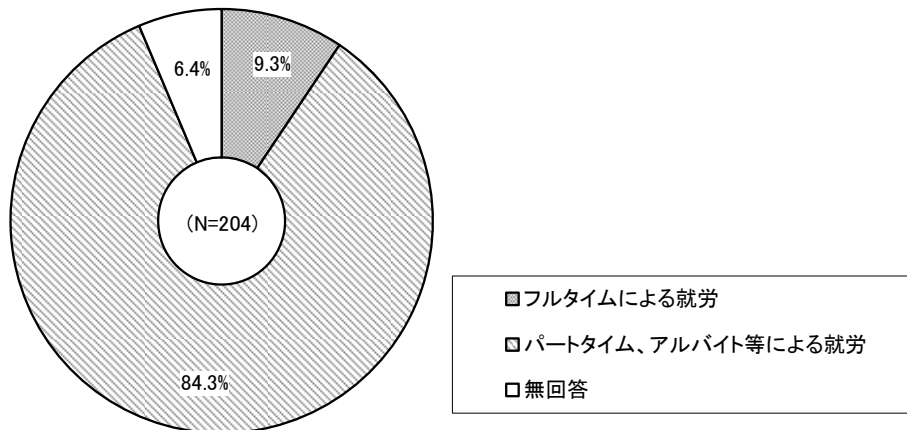
問8-1 【問8で『就労したい』と回答した人のみ】

希望する就労形態はどのようなものですか。

(○は1つだけ)

今後の就労希望があると回答した母親の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等による就労」が84.3%と大半を占めている。

【問8-1 今後の就労希望がある母親の希望就労形態】



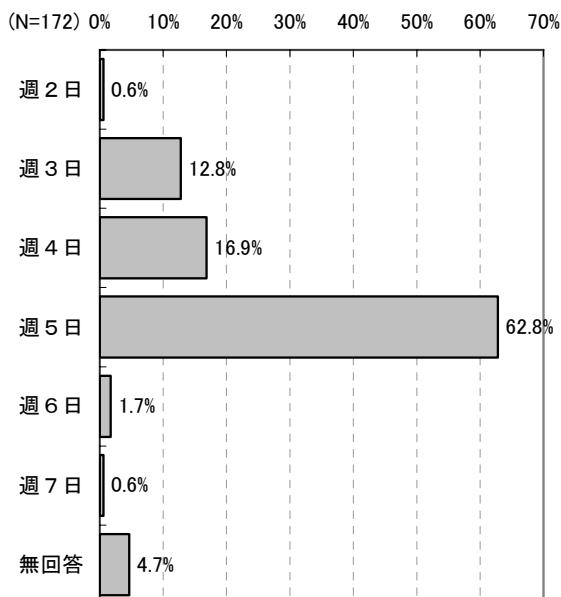
◇ パートタイム・アルバイト等による就労希望者の希望条件

今後、パートタイム・アルバイト等で就労したいと回答した母親の、1週あたりの希望就労日数については、「週5日」が62.8%と6割以上を占め最も多く、平均希望就労日数は週4.57日となっている。

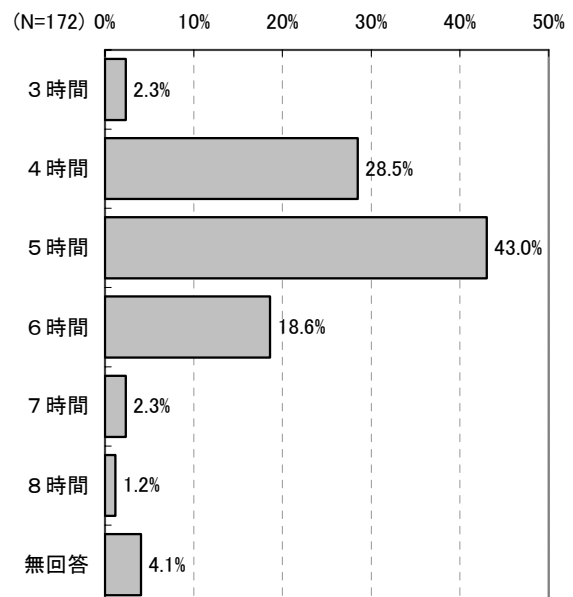
また、1日あたりの希望就労時間については、「5時間」が43.0%と最も多く、次いで「4時間」(28.5%)となっており、平均希望就労時間は4.93時間となっている。

【問8-1 パートタイム・アルバイト就労希望者の就労条件】

<1週あたりの希望就労日数>



<1日あたりの希望就労時間>

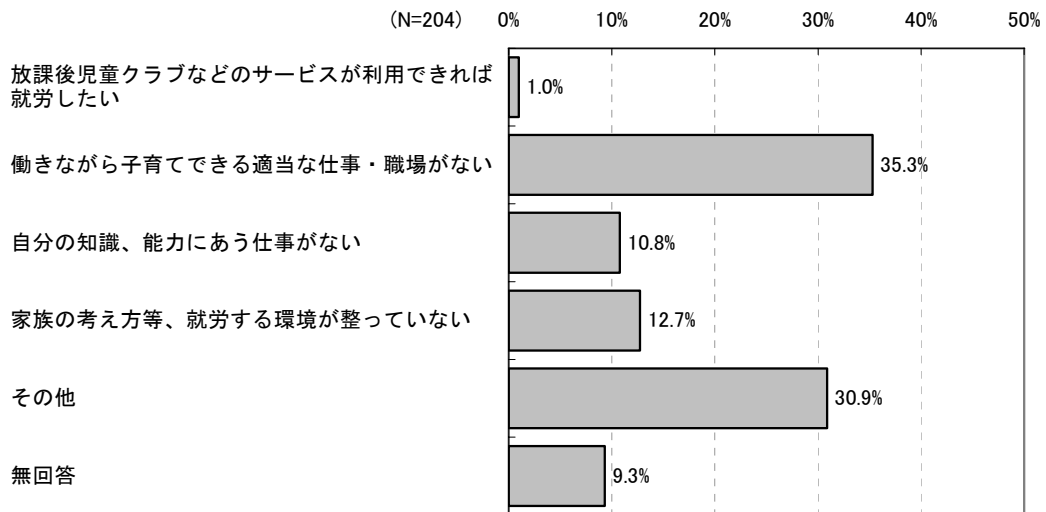


問8-2 【問8で『就労したい』と回答した人のみ】

就労希望がありながら、現在働いていない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つだけ)

今後の就労希望があると回答した母親の、就労希望がありながら現在働いていない理由については、「働きながら子育てできる適当な仕事・職場がない」が35.3%と最も多く、次いで「家族の理解が得られないなど、就労する環境が整っていない」(12.7%)の順となっている。

【問8-2 就労希望がありながら現在働いていない最も大きな理由】

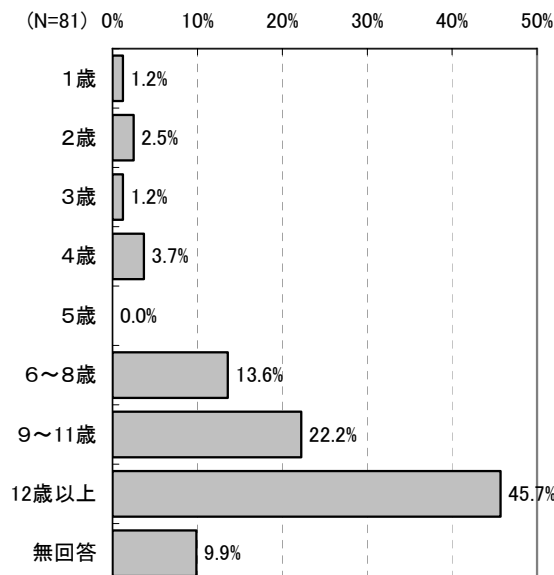


問8-3 【問8で「子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した人のみ】

子どもが何歳になったときに、就労を希望されますか。

子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人の就労希望時期については、一番小さい子の年齢が「12歳以上」になった時が45.7%と最も多く、次いで「9～11歳」(22.2%)となっており、平均では一番小さい子の年齢が10.55歳になった時となっている。

【問8-3 就労を希望する時期（一番小さい子どもの年齢）】

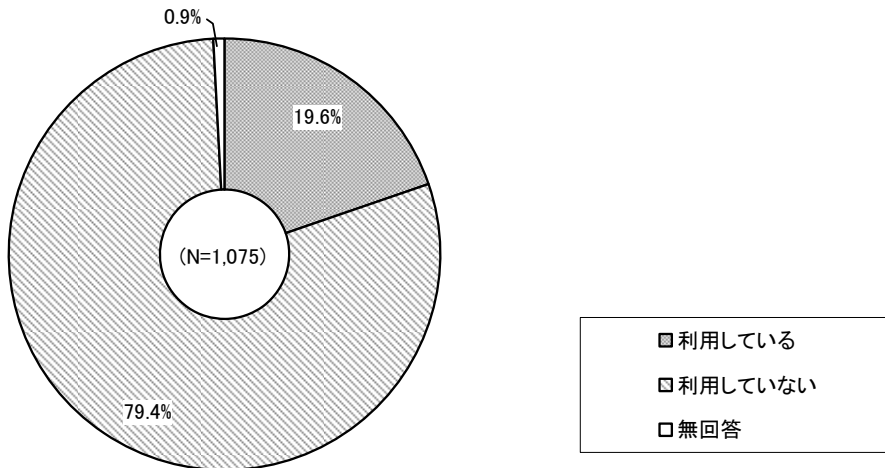


放 課 後 児 童 ク ラ ブ の 利 用 状 況 に つ い て

問9 現在、放課後児童クラブを利用していますか。 (○は1つだけ)

放課後児童クラブの利用については、「利用していない」が79.4%と大半を占めており、「利用している」(19.6%)を59.8ポイント上回る結果となっている。

【問9 放課後児童クラブの利用有無】

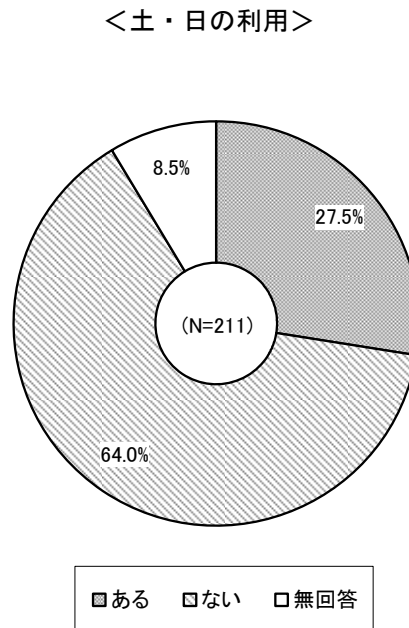
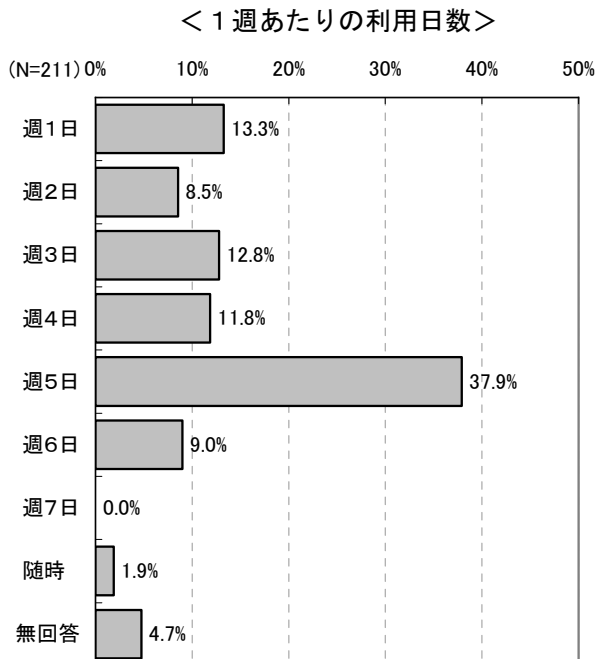


問9-1 【問9で「利用している」と回答した人のみ】
放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。

放課後児童クラブの利用状況については、1週あたりの利用日数は、「週5日」が37.9%と最も多く、ついで「週1日」(13.3%)、「週3日」(12.8%)となっている。

また、土・日の利用については、「ない」が64.0%となっており、「ある」(27.5%)を16.5ポイント上回っている。

【問9-1 放課後児童クラブの利用頻度】



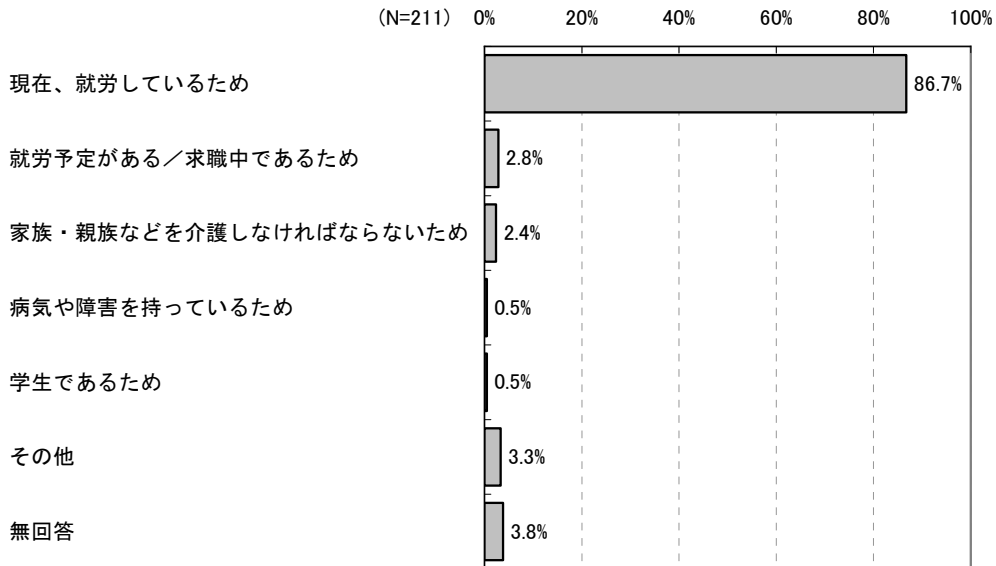
問9-1 【問9で「利用している」と回答した人のみ】

放課後児童クラブを利用している理由は何ですか。

(○は1つだけ)

放課後児童クラブを利用している理由については、子どもの身の回りの世話を主にしている人が「現在就労しているため」が86.7%と大半を占めており、「就労予定がある／求職中であるため」(2.8%)と合わせると、9割近くの人が就労を理由に放課後児童クラブを利用しているとの結果となっている。

【問9-1 放課後児童クラブを利用している理由】



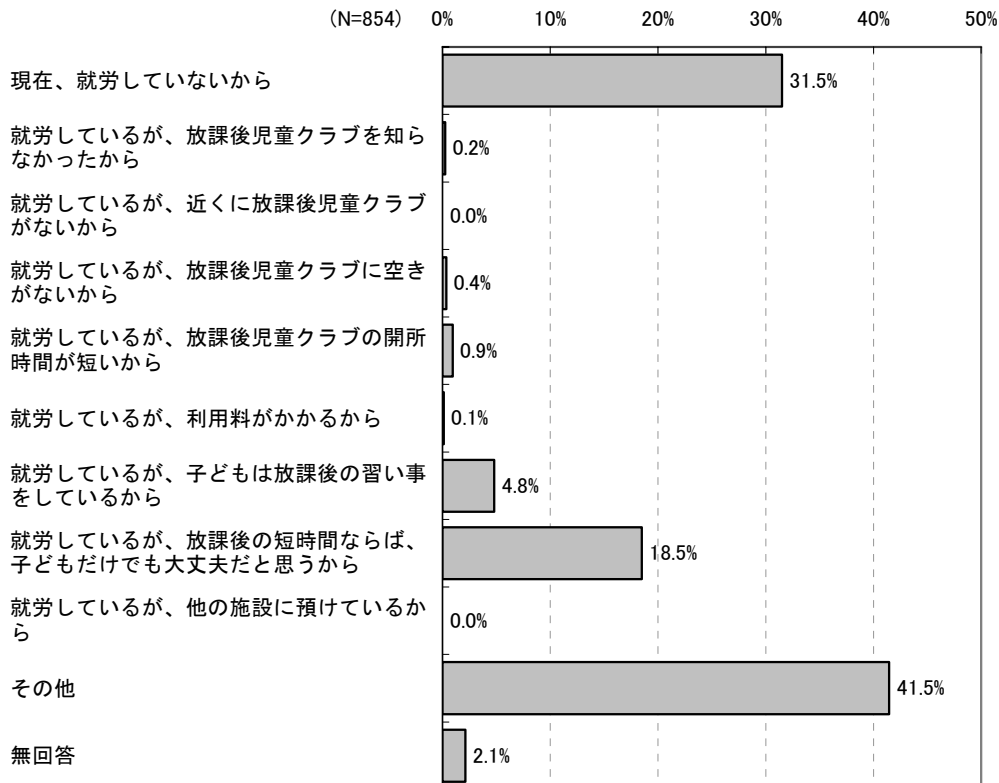
問9-2 【問9で「利用していない」と回答した人のみ】

放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。

(○は1つだけ)

放課後児童クラブを利用していない理由については、子どもの身の回りの世話を主にしている人が「現在、就労していないから」が31.5%と3割以上を占め多く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけで大丈夫だと思うから」(18.5%)、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」(4.8%)の順となっている。

【問9-2 放課後児童クラブを利用していない理由】



問9-3 【問9で「利用していない」と回答した人のみ】

今後、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。

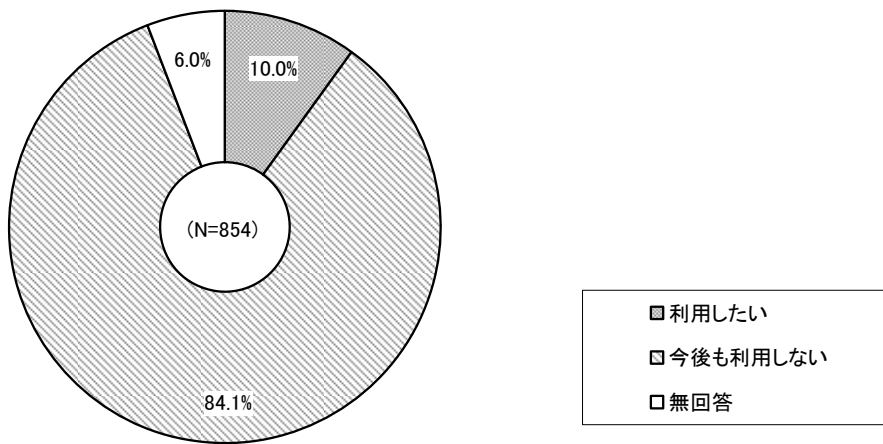
(○は1つだけ)

現在、放課後児童クラブを利用していない人の今後の利用希望については、「今後も利用しない」が84.1%と大半を占めており、「利用したい」(10.0%)を74.1ポイント上回る結果となっている。

また、利用したいと回答した人の希望利用頻度については、1週あたりの利用希望日数は、「週5日」が31.8%と最も多く、次いで「週3日」(20.0%)、「週2日」(17.6%)となっている。

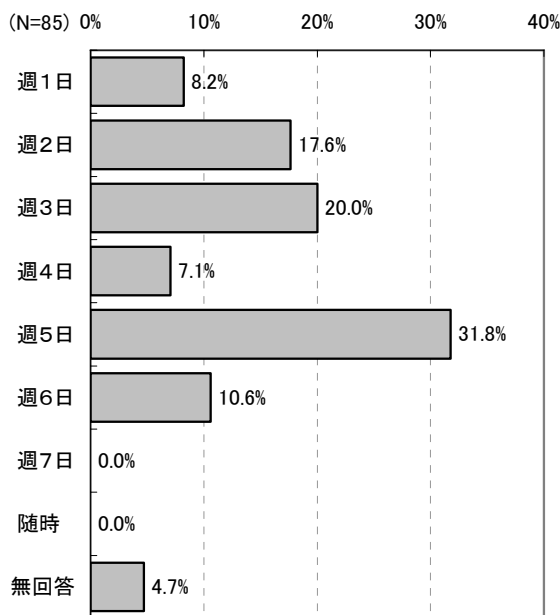
土・日の利用希望については、「ない」が47.1%と、「ある」(43.5%)を3.6ポイント上回る結果となっている。

【問9-3 放課後児童クラブの今後の利用意向】

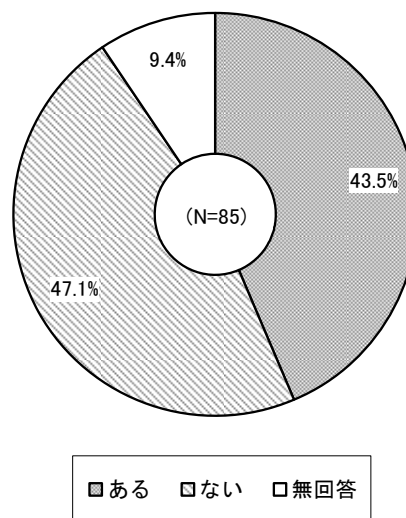


【問9-3 放課後児童クラブの今後の希望利用頻度】

< 1週あたりの希望利用日数 >



< 土・日の利用希望 >



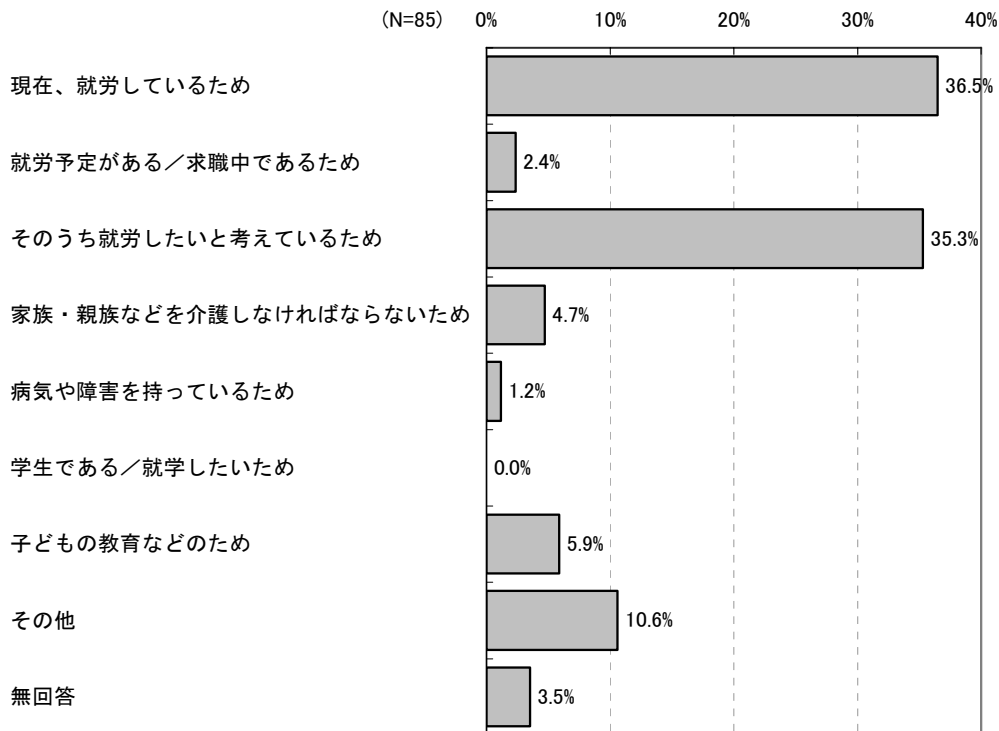
問9-4 【問9-3で「利用したい」と回答した人のみ】

今後、放課後児童クラブを利用したい理由は何ですか。

(〇は1つだけ)

放課後児童クラブを現在利用していないが、今後は利用したい理由については、子どもの身の回りの世話を主にしている人が「現在、就労しているため」が36.5%と最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えているため」(35.3%)となっており、「就労予定がある／求職中であるため」(2.4%)と合わせると、7割以上の人々が就労を理由にした利用意向があることが分かる。

【問9-4 放課後児童クラブを今後利用したい理由】

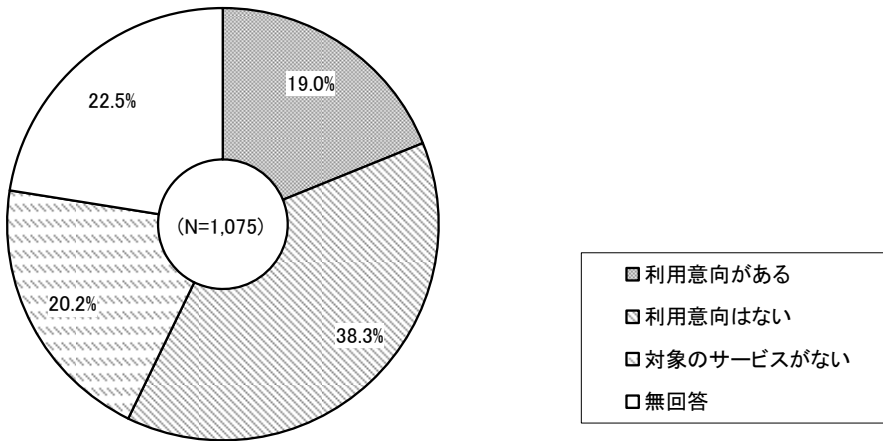


問9-5 地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして「放課後子ども教室」がありますが、その利用意向はありますか。(〇は1つだけ)

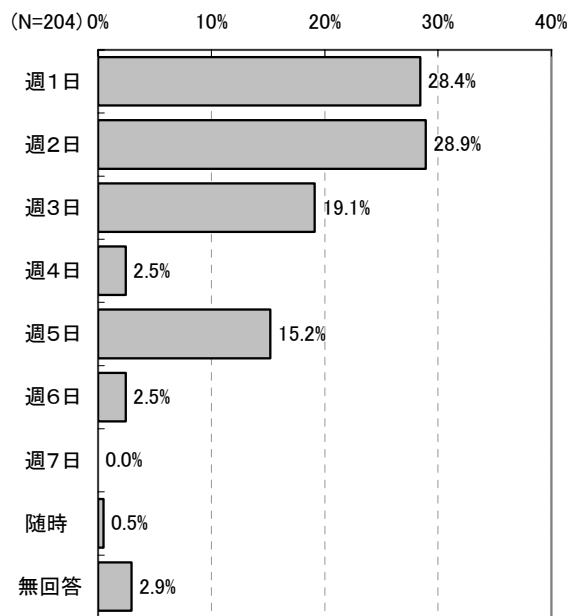
放課後子ども教室の利用意向について、「利用意向はない」が38.3%と4割近くを占め、「利用意向がある」(19.0%)を19.3ポイント上回る結果となっている。

また、放課後子ども教室の1週あたりの利用希望日数は、「週2日」が28.9%と最も多く、次いで「週1日」(28.4%)、「週3日」(19.1%)、「週5日」(15.2%)となっている。

【問9-5 「放課後子ども教室」の利用意向】



【問9-5 「放課後子ども教室」の希望利用頻度】

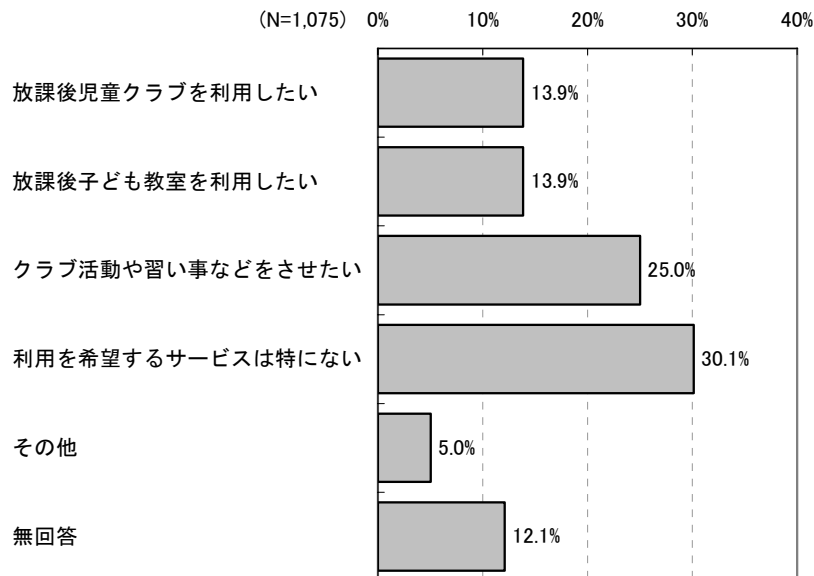


問 10 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。

(○は1つだけ)

小学4年生以降の放課後の過ごし方については、「利用を希望するサービスは特にない」が30.1%と約3割を占め最も多くなっているものの、「放課後児童クラブを利用したい」(13.9%)と「放課後子ども教室を利用したい」(13.9%)を合わせると、2割以上の方が子育てサービスへの利用意向があるとの結果となっている。

【問 10 小学4年生以降の放課後の過ごし方】

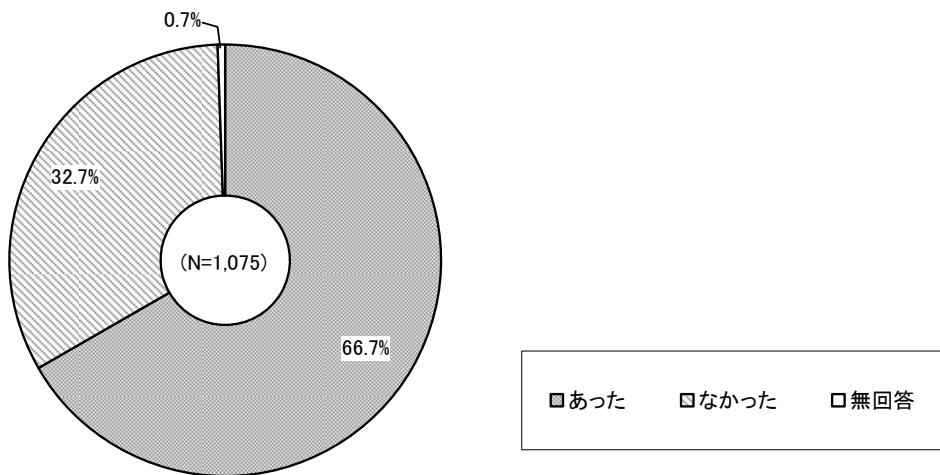


病児・病後児保育について

問 11 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。
(○は1つだけ)

この1年間で、子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことについては、「あった」が66.7%と6割以上を占め、「なかった」(32.7%)を34.0ポイント上回る結果となっている。

【問 11 子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったこと】



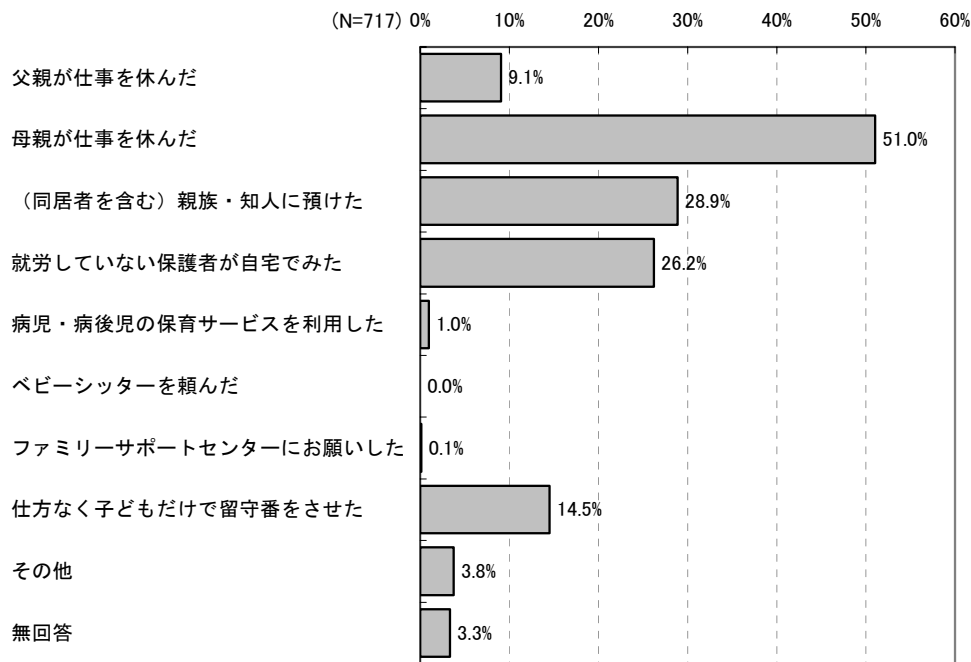
問 11-1 【問 11 で「あった」と回答した人のみ】

この1年間の対処方法はどうされましたか。

(あてはまるものすべてに○)

この1年間で、子どもが病気やケガで学校を休んだことがあったと回答した人の対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が51.0%と半数以上を占め最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」(28.9%)、「就労していない保護者が自宅でみた」(26.2%)の順となっている。

【問 11-1 病気やケガで学校を休んだ時の対処方法】

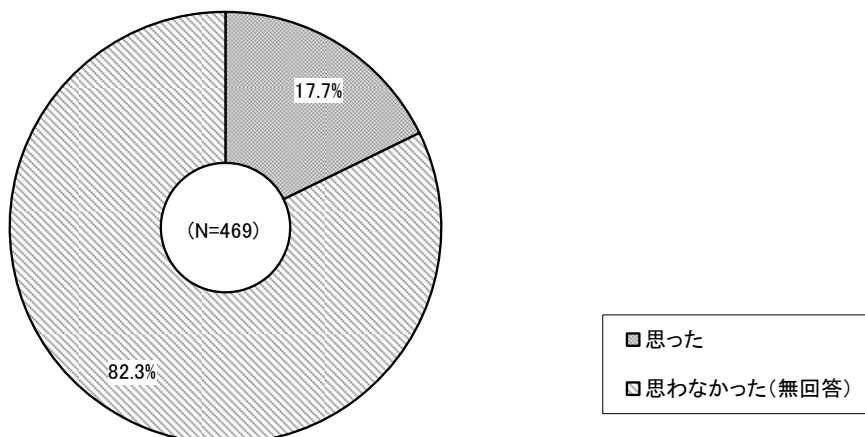


問 11-2 【問 11-1 で「父親・母親が仕事を休んだ」または「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」と回答した人のみ】

その際、病児・病後児保育サービス対応の専門施設を利用したいと思われましたか。

この1年間で、子どもが病気やケガで学校を休んだ時に、父親または母親が仕事を休んだ、もしくは親族・知人に預けた人の専門施設への利用意向については、2割近くの人が専門施設への要望があるという結果となっている。

【問 11-2 病児・病後児保育サービス対応の専門施設の利用意向】



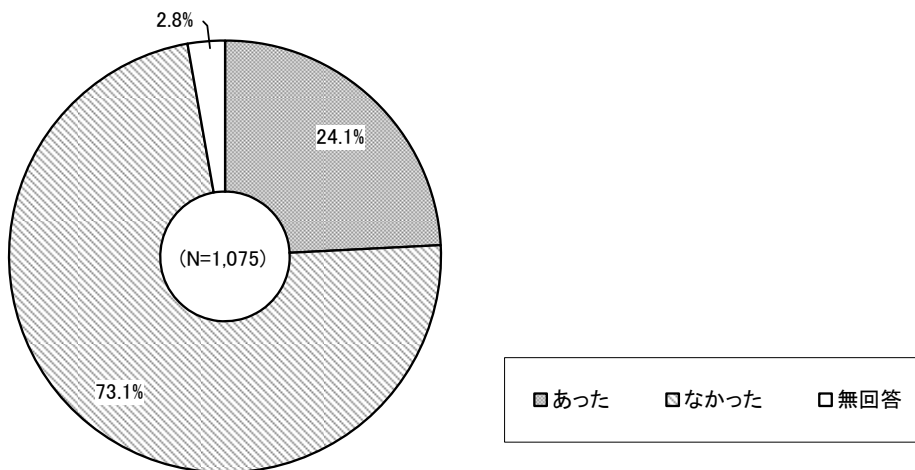
一 時 預 かり に つ い て

問 12 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。 (〇は1つだけ)

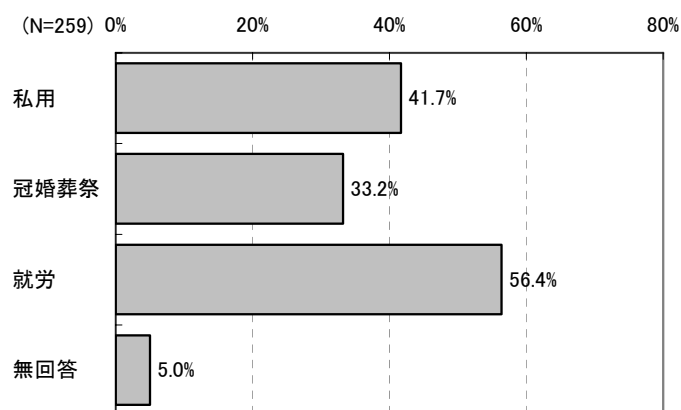
この1年間で、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことについては、「なかった」が73.1と大半を占めており、「あった」(24.1%)を49.0ポイント上回る結果となっている。

また、その理由については、「就労」を理由とした一時預かりが56.4%と最も長く、次いで「私用」(41.7%)、「冠婚葬祭」(33.2%)の順となっている。

【問 12 子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無】



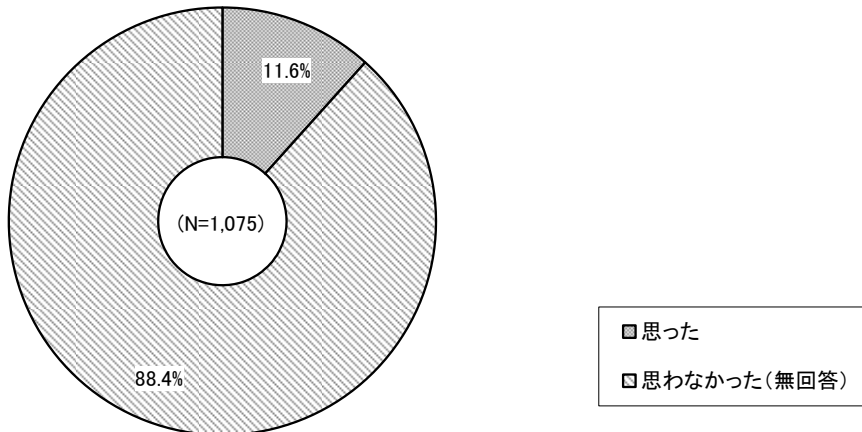
【問 12 子どもを家族以外の誰かに一時的に預けた理由】



問 13 今は利用していないが今後は利用したい、あるいは利用日数や回数を増やしたいと思いませんか。その場合、月に何日くらい利用したいですか。

また、今後利用したい、もしくは利用日数や回数を増やしたいと回答した人は11.6%と、「(今後は利用したい、あるいは利用日数や回数を増やしたい) 思わなかった」が大半を占める結果となっている。

【問 13 一時預かりの今後の利用意向】

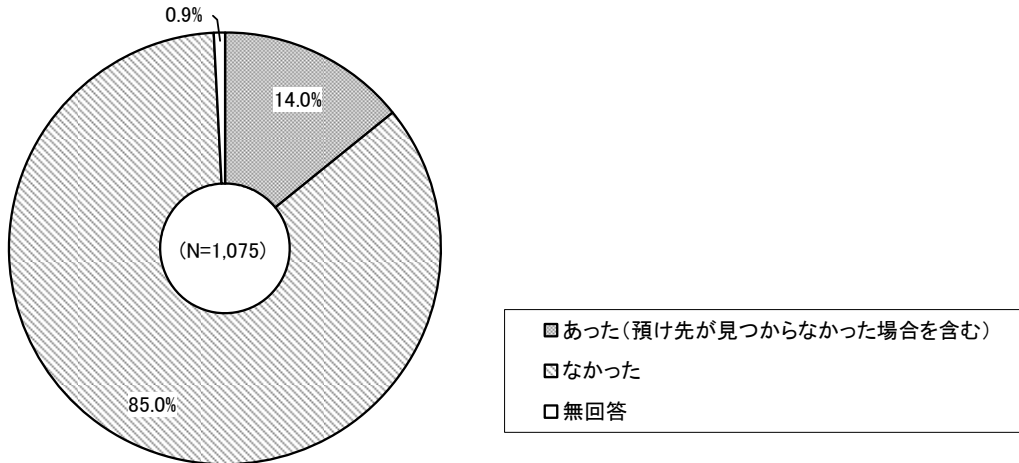


宿泊を伴う一時預かりについて

問 14 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。 (○は1つだけ)

この1年間に子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったことについては、「なかった」が85.0%と大半を占めており、「あった」(14.0%)を71.0ポイント上回る結果となっている。

【問 14 子どもを泊りがけで家族以外の誰かに預けたことの有無】



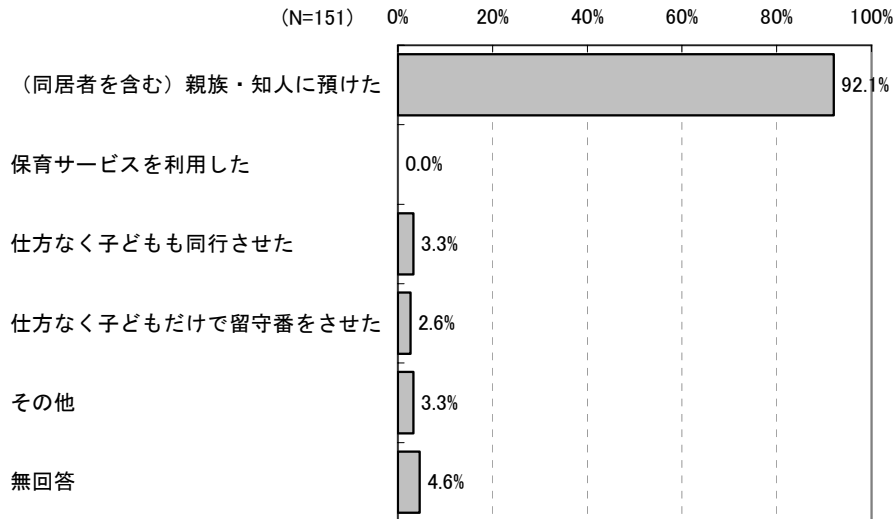
問 14-1 【問 14 で「あった」と回答した人のみ】

この1年間の対処方法とどうされましたか。

(あてはまるものすべてに○)

子どもを泊りがけで家族以外に預けた場合の対処方法について、「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」が 92.1%と大半を占め最も多く、次いで多い回答の「仕方なく子どもも同行させた」は 3.3%と1割未満にとどまっており、ほとんどの人が身近な人に預けているという結果となっている。

【問 14-1 子どもを泊りがけで家族以外の誰かに預けた時の対処方法】



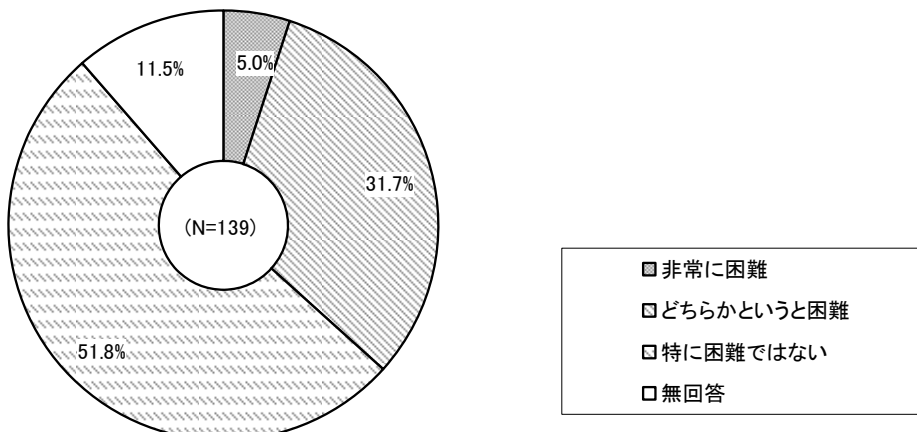
問 14-2 【問 14-1 で「親族・知人に預けた」と回答した人のみ】

親族や知人に預けた場合の困難度はどの程度でしたか。

(○は1つだけ)

子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかった時の対処方法として、親族や知人に預けた場合の困難度については、「特に困難でもない」が 51.8%と半数以上を占め最も多くなっているものの、「非常に困難」(5.0%)と「どちらかという困難」(31.7%)を合わせると 36.7%と、3割以上の方が親族や知人に預けることについて『困難である』という結果となっている。

【問 14-2 親族や知人に預けた場合の困難度】



ベビーシッターを利用している人のみ【無回答を除いた有効回答のみの集計】

ベビーシッターの利用について

問 15 どのような目的でベビーシッターを利用していますか。 (あてはまるものすべてに○)

ベビーシッターの利用について回答のあった3人の利用目的については、「祖父母や友人等に預かってもらえない時に利用している」、「子どもの病気等緊急時に利用している」となっている。

問 15-1 どのくらいの頻度で利用していますか。

月の利用日数については、有効回答が1人となっており、そのひと月の利用日数については「随時」1回あたりの利用時間については、「4時間」となっている。

問 16 今は利用していないが今後は利用したい、あるいは利用日数や回数を増やしたいと思いませんか。その場合、月に何日くらい利用したいですか。

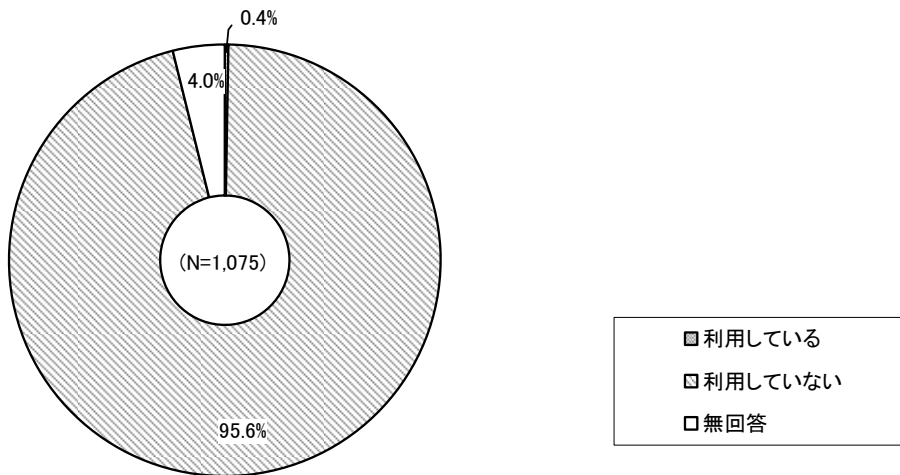
また、今後利用したい、もしくは利用日数や回数を増やしたいと回答した人の月の希望利用日数は、希望平均利用日数は月に2.50日程度となっている。

ファミリー・サポート・センターの利用について

問 17 ファミリー・サポート・センターを利用していますか。 (○は1つだけ)

ファミリー・サポート・センターの利用については、「利用していない」が95.6%と大半を占め、「利用したい」はわずか0.4% (4人) となっている。

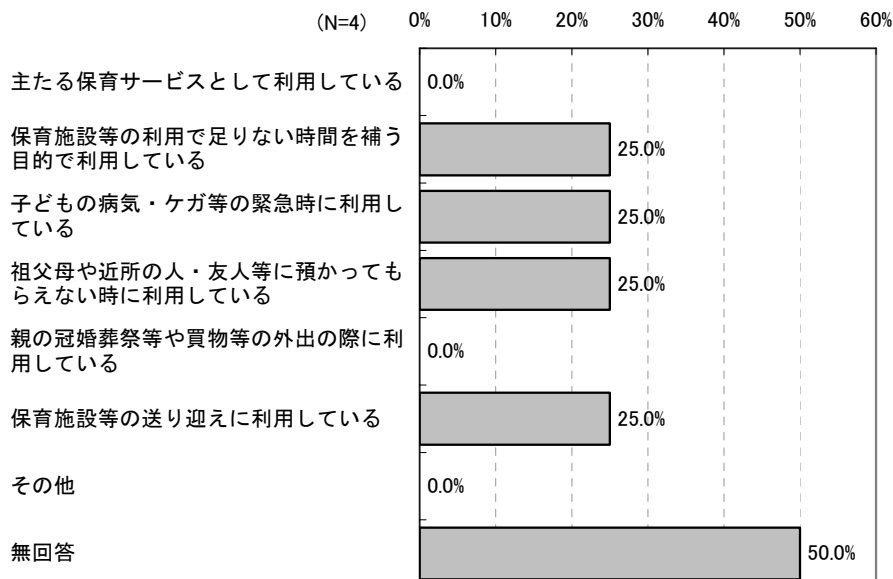
【問 17 ファミリー・サポート・センターの利用意向】



問 17-1 【問 17で「利用している」と回答した人のみ】
 どのような目的で利用していますか。 (あてはまるものすべてに○)

ファミリー・サポート・センターの利用目的については、「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している」、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している」、「保育施設等の送り迎えに利用している」の回答となっている。

【問 17-1 ファミリー・サポート・センターの利用目的】



問 17-2 【問 17で「利用している」と回答した人のみ】

どのくらいの頻度で利用していますか。

ファミリー・サポート・センターの利用頻度については、平均利用日数は月 2.00 日、平均利用時間は 1 回あたり 1.50 時間となっている。

問 17-3 【問 17で「利用している」と回答した人のみ】

利用日数・回数を増やしたいと思いますか。

ファミリー・サポート・センターの利用日数および回数の増加希望については、有効回答はなかった。

問 17-4 【問 17で「利用していない」と回答した人のみ】

今は利用していないが、できれば利用したいと思いますか。

ファミリー・サポート・センターを利用していない人の利用希望については、月に平均 8.08 時間となっている。

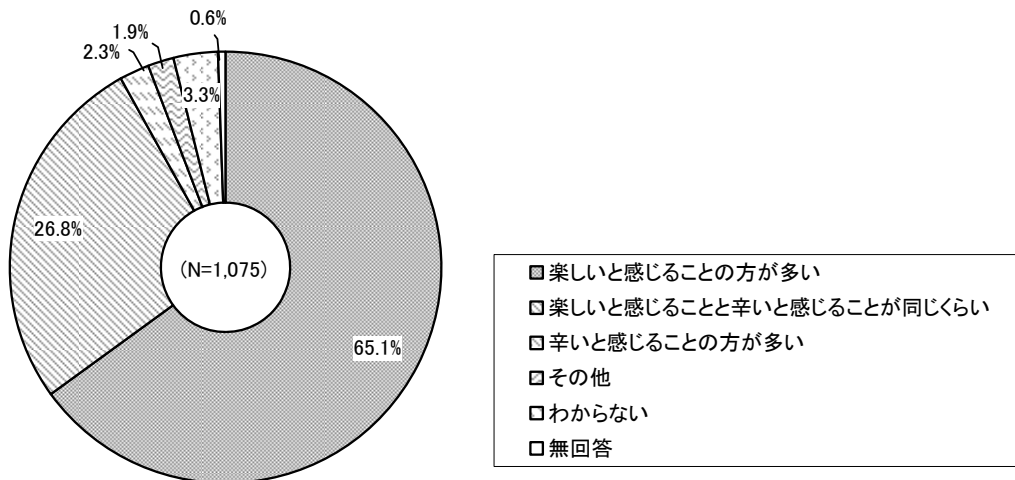
子育て全般について

問 18 子育てについてどのように感じていますか。

(○は1つだけ)

子育てについては、「楽しいと感じることの方が多い」が 65.1%と6割以上を占め最も多くなっているものの、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」(26.8%)と「辛いと感じることの方が多い」(2.3%)を合わせると、約3割の人が子育てを辛いと感じることがあるという結果となっている。

【問 18 子育てについて】

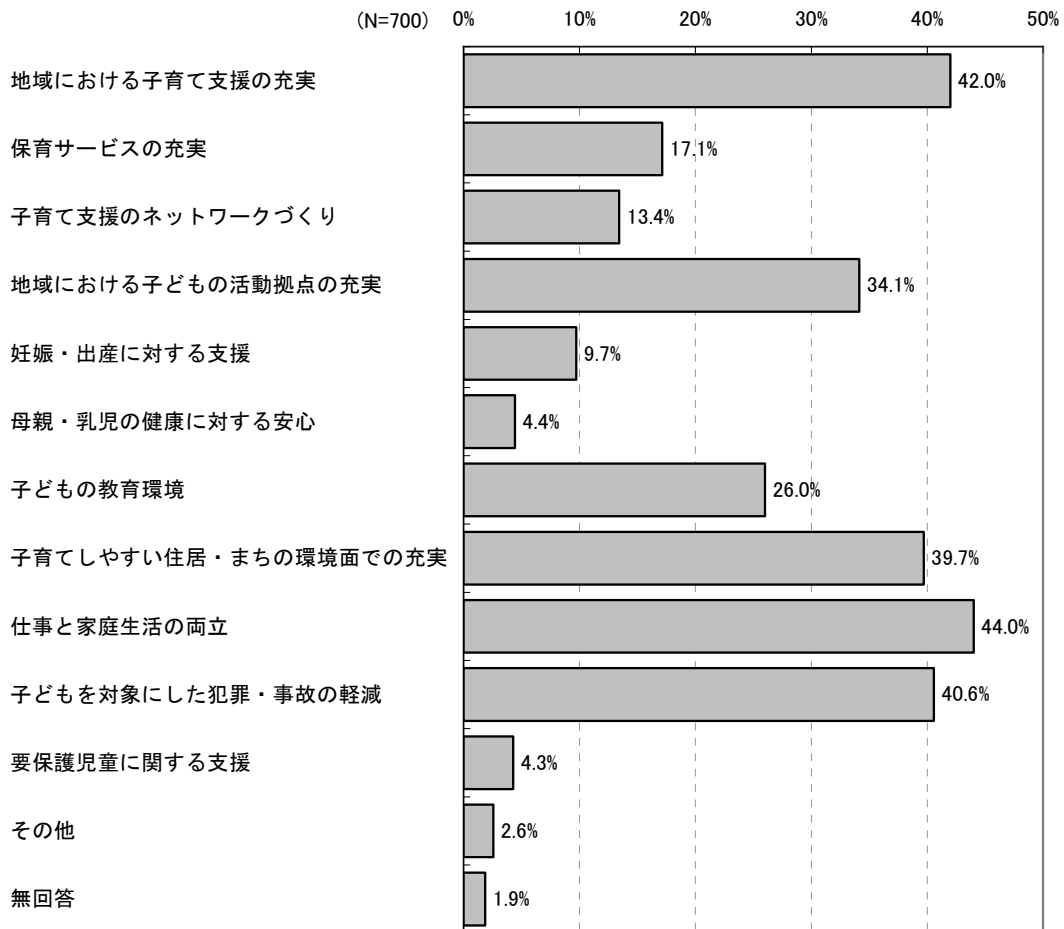


問 18-1 【問 18 で「楽しいと感じることの方が多い」と回答した人のみ】

子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。 (〇3つまで)

子育てを楽しいと感じることの方が多い人の、子育てをする上で有効だと思う支援・施策については、「仕事と家庭生活の両立」が 44.0%と 4 割以上と最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」(42.0%)、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(40.6%)、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(39.7%)、「地域における子どもの活動拠点の充実」(34.1%) の順となっている。

【問 18-1 子育てをする上で有効だと思う支援・対策】

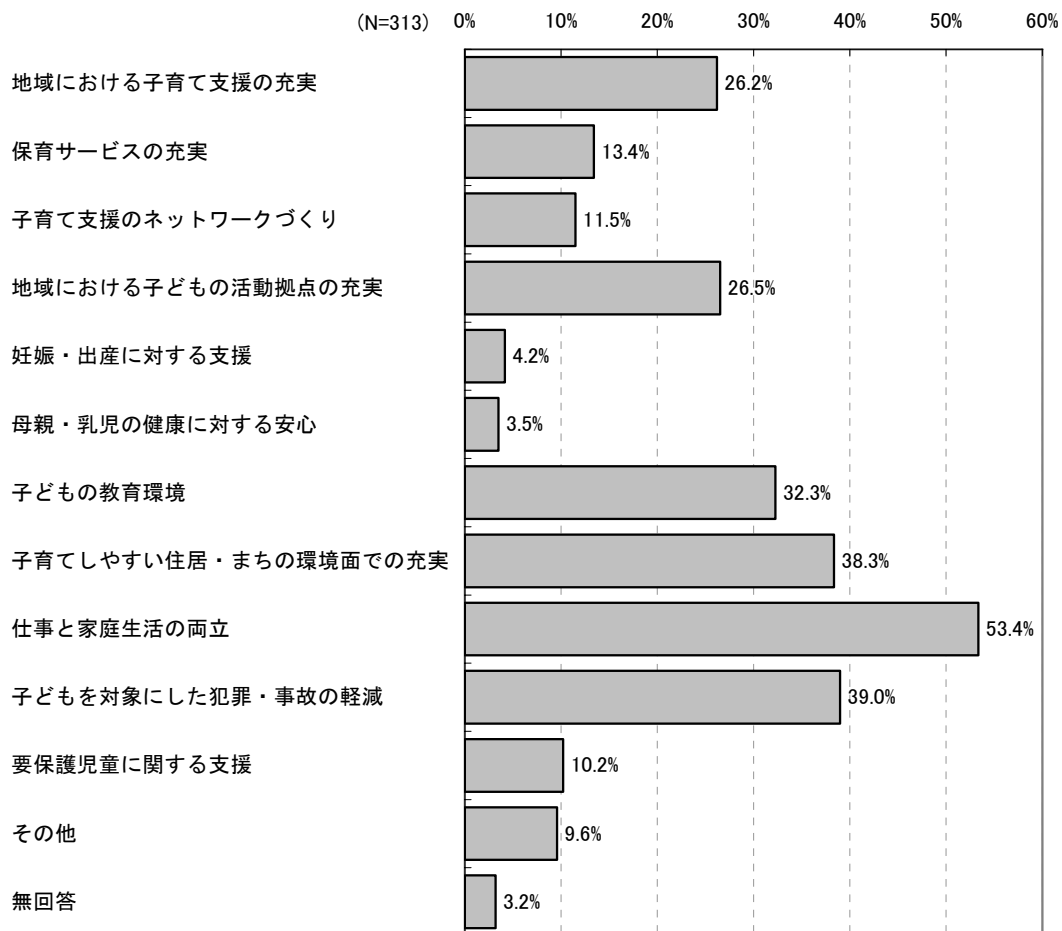


問 18-2 【問 18 で『辛いと感じることがある』と回答した人のみ】

自分にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは何ですか。 (〇3つまで)

子育てを辛いと感じることのある人の、子育ての辛さを解消するために必要だと思う支援・施策については、「仕事と家庭生活の両立」が 53.4%と半数以上を占め最も多く、次いで「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(39.0%)、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(38.3%)、「子どもの教育環境」(32.3%)の順となっている。

【問 18-2 子育ての辛さを解消するために必要な支援・対策】

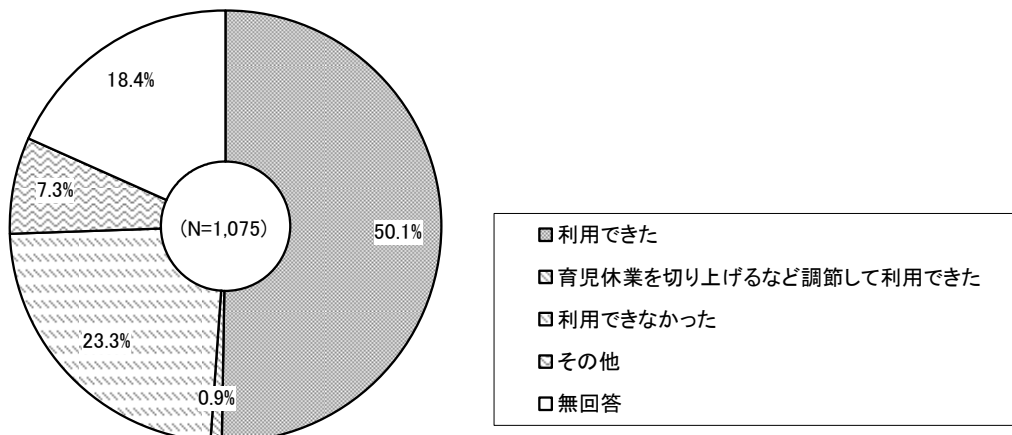


問 19 希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができましたか。(〇は1つだけ)

希望した時期の希望した保育サービスの利用状況については、「利用できた」が 50.1%と約半数を占め、最も多くなっている。

一方で、「利用できなかった」が 23.3%と次いで多くなっており、2割以上の人希望した時期に希望した保育サービスが利用できなかったという結果となっている。

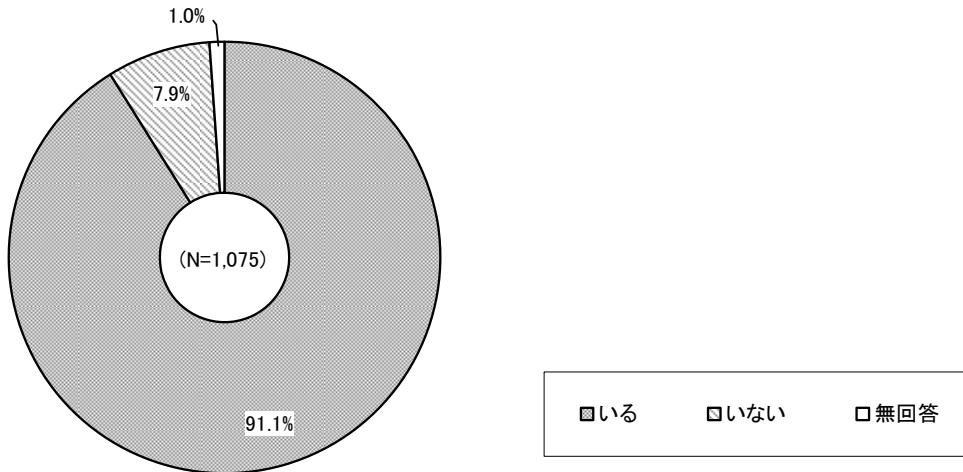
【問 19 希望した時期の希望した保育サービスの利用状況】



問 20 子育てについて、気軽に相談できる人（近所の人・友人）がいますか。（○は1つだけ）

子育てについて気軽に相談できる人については、「いる」が91.1%と大半を占めている一方で、「いない」が7.9%と1割近くを占める結果となっている。

【問 20 子育てについて相談できる人の有無】



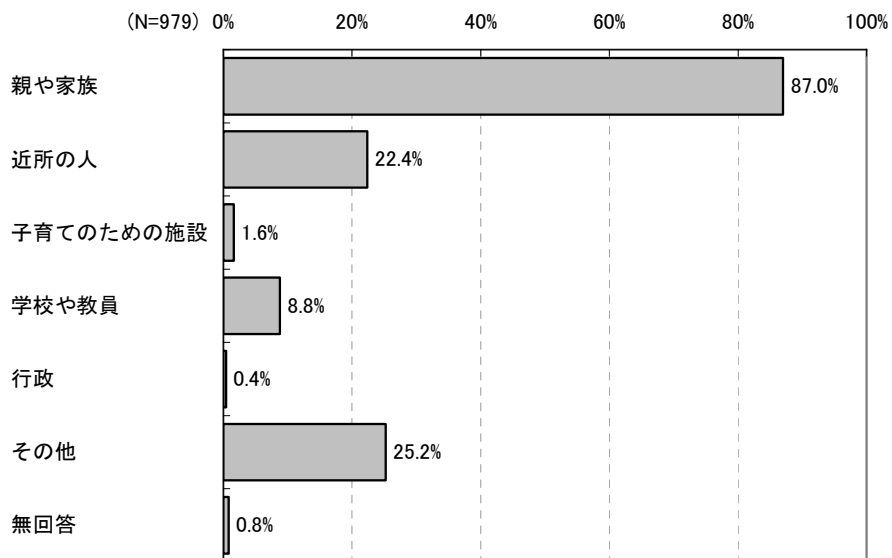
問 20-1 【問 20で「いる」と回答した人のみ】

だれに相談していますか。

（あてはまるものすべてに○）

子育てについて気軽に相談できる人がいると回答した人の相談相手については、「親や家族」が87.0%と大半を占め最も多く、次いで「近所の人」(22.4%)、「学校や教員」(8.8%)となっており、身近な人への相談が多く、公的機関への相談は少ない結果となっている。

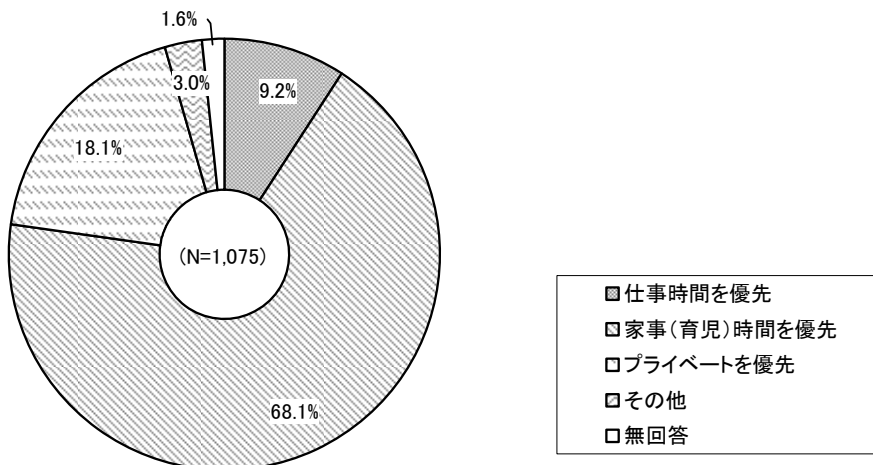
【問 20-1 子育てについての相談相手】



問 21 生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度について、『希望』と『現実』それぞれについて、お答えください。（それぞれ〇は1つだけ）

生活の中での優先度について、希望では「家事（育児）時間を優先」が68.1%と7割近くを占め最も多く、次いで「プライベートを優先」（18.1%）となっているのに対し、現実では「家事（育児）時間を優先」が47.4%、「仕事時間を優先」が47.3%と多くなっており、「プライベートを優先」と回答した人はわずか1.1%となっている。

【問 21<希望> 仕事・家事（育児）・プライベートの優先度】



【問 21<現実> 仕事・家事（育児）・プライベートの優先度】

